

滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-01	建築改修工事特記仕様書（1）	no, scale	A-26	【環境科学部棟】矩計図【B0棟（中央棟）】	S=1/30	E-01	電気設備工事特記仕様書	no, scale
A-02	建築改修工事特記仕様書（2）	no, scale	A-27	【環境科学部棟】部分詳細図-2【B0棟（中央棟）】	S=1/20	E-02	【環境科学部棟】現況 電灯設備1階平面図-1	S=1/200
A-03	建築改修工事特記仕様書（3）	no, scale	A-28	【環境科学部棟】部分詳細図-3【B0棟（中央棟）】	S=1/15, 20	E-03	【環境科学部棟】現況 電灯設備1階平面図-2	S=1/200
A-04	建築改修工事特記仕様書（4）	no, scale	A-29	【環境科学部棟】平面図・部分詳細図【コア棟】	S=1/20, 30, 100	E-04	【環境科学部棟】現況 電灯設備2階平面図-1	S=1/200
A-05	全体配置図・付近見取図	S=1/1500	A-30	【環境科学部棟】立面図【コア棟】	S=1/150	E-05	【環境科学部棟】現況 電灯設備2階平面図-2	S=1/200
A-06	【環境科学部棟】1階平面図-1	S=1/200	A-31	【環境科学部棟】断面詳細図-1【コア-1棟】	S=1/50	E-06	【環境科学部棟】現況 電灯設備3・R階平面図-1	S=1/200
A-07	【環境科学部棟】1階平面図-2	S=1/200	A-32	【環境科学部棟】断面詳細図-2【コア-2棟】	S=1/50	E-07	【環境科学部棟】現況 電灯設備3階平面図-2	S=1/200
A-08	【環境科学部棟】2階平面図-1	S=1/200	A-33	【環境科学部棟】立面図【渡り廊下】	S=1/150	E-08	【環境科学部棟】改修 電灯設備1階平面図-1	S=1/200
A-09	【環境科学部棟】2階平面図-2	S=1/200	A-34	【環境科学部棟】矩計図【渡り廊下-1・渡り廊下-2】	S=1/30	E-09	【環境科学部棟】改修 電灯設備1階平面図-2	S=1/200
A-10	【環境科学部棟】3階平面図-1	S=1/200	A-35	【環境科学部棟】立面図【実験棟】【廃液保管庫】	S=1/100	E-10	【環境科学部棟】改修 電灯設備2階平面図-1	S=1/200
A-11	【環境科学部棟】3階平面図-2	S=1/200	A-36	【環境科学部棟】平面図・断面詳細図【コモンスペース（共通）】	S=1/30, 100	E-11	【環境科学部棟】改修 電灯設備2階平面図-2	S=1/200
A-12	【環境科学部棟】R階平面図	S=1/200	A-37	【環境科学部棟】立面図【コモンスペース（共通）】	S=1/150	E-12	【環境科学部棟】改修 電灯設備3・R階平面図-1	S=1/200
A-13	【環境科学部棟】立面図【学科棟（B-1棟）】	S=1/150	A-38	【環境科学部棟】建具詳細図【カバー工法詳細図】	S=1/2, 100	E-13	【環境科学部棟】改修 電灯設備3階平面図-2	S=1/200
A-14	【環境科学部棟】立面図【学科棟（B-2棟）】	S=1/150	A-39	【環境科学部棟】電気錠設備仕様外形（1）	no, scale	E-14	【園場棟】現況・改修 電灯設備1階平面図	S=1/200
A-15	【環境科学部棟】立面図【学科棟（B-3棟）】	S=1/150	A-40	【環境科学部棟】電気錠設備仕様外形（2）	no, scale	E-15	【環境科学部棟】現況・改修 拡声設備1階平面図-1	S=1/200
A-16	【環境科学部棟】立面図【学科棟（B-4棟）】	S=1/150				E-16	【環境科学部棟】改修 電気錠設備1階平面図	S=1/200
A-17	【環境科学部棟】立面図【学科棟（B-5棟）】	S=1/150				E-17	【環境科学部棟】改修 電気錠設備2階平面図	S=1/200
A-18	【環境科学部棟】立面図【学科棟（B-6棟）】	S=1/150				E-18	【環境科学部棟】改修 電気錠設備3階平面図-1	S=1/200
A-19	【環境科学部棟】矩計図【学科棟】	S=1/30				E-19	【環境科学部棟】改修 電気錠設備3階平面図-2	S=1/200
A-20	【環境科学部棟】断面詳細図【学科棟】	S=1/50						
A-21	【環境科学部棟】部分詳細図-1【学科棟】	S=1/20, 30, 100						
A-22	【環境科学部棟】部分詳細図-2【学科棟】	S=1/20, 30						
A-23	【環境科学部棟】屋上平面図・部分詳細図-1【B0棟（中央棟）】	S=1/20, 150						
A-24	【環境科学部棟】立面図-1【B0棟（中央棟）】	S=1/150						
A-25	【環境科学部棟】立面図-2【B0棟（中央棟）】	S=1/30, 150						

株式会社片淵建築事務所

令和 6 年 1 月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			

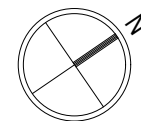
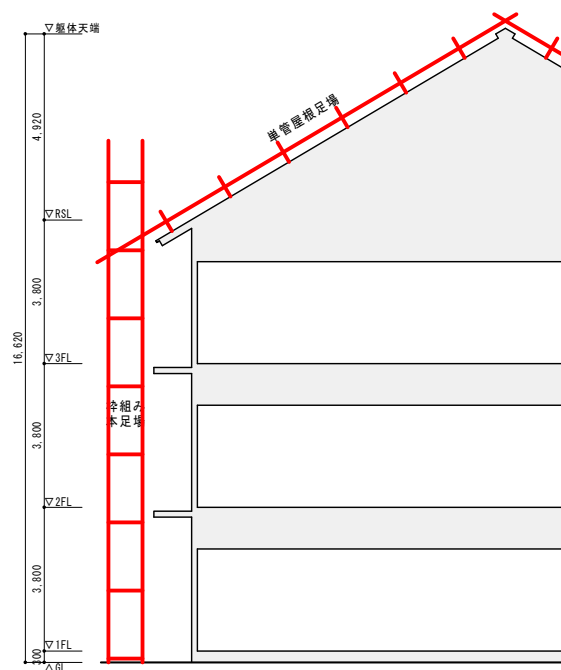
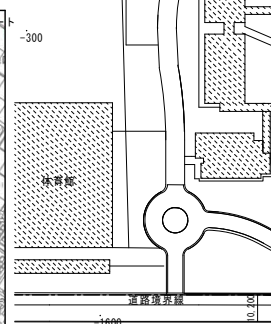
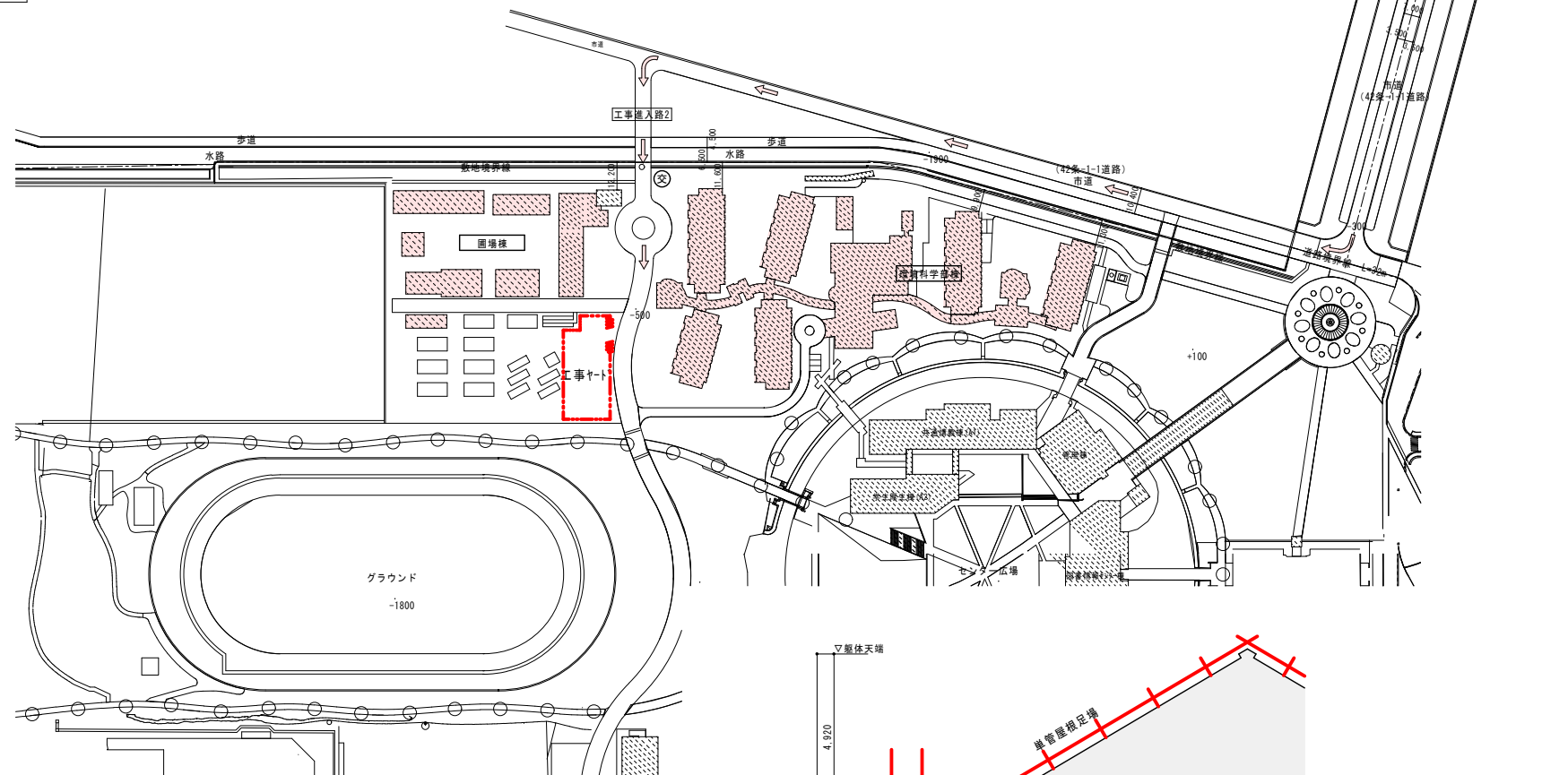


KATABUCHI ARCHITECTS OFFICE
株式会社 片淵建築事務所
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 ラー244
一級建築士 第247417号 野田 昌生

工事名 滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事	NO.			
DATE R6.01				

Architectural specification form for exterior wall repair and tile laying. The form is divided into four main vertical sections: 1. General Information and Materials (including waterproofing, insulation, and structural details), 2. Exterior Wall Repair Work (covering waterproofing, insulation, and reinforcement), 3. Tile Laying and Exterior Wall Finishing (including tile selection, laying methods, and grouting), and 4. Exterior Wall Painting and Finishing. Each section contains detailed tables for material specifications, construction methods, and quality control measures. The form also includes a header for project information and a footer for company details and contact information.

[illegible]



凡 例	
	工事対象建物を示す
	改修対象外建物を示す
	工事用車両動線を示す
	仮囲い ガード・フリス H=1800を示す
	ネット・ゲート W=3000 H=1800を示す
	交通誘導員 (100人程度)

■工事上の諸注意事項

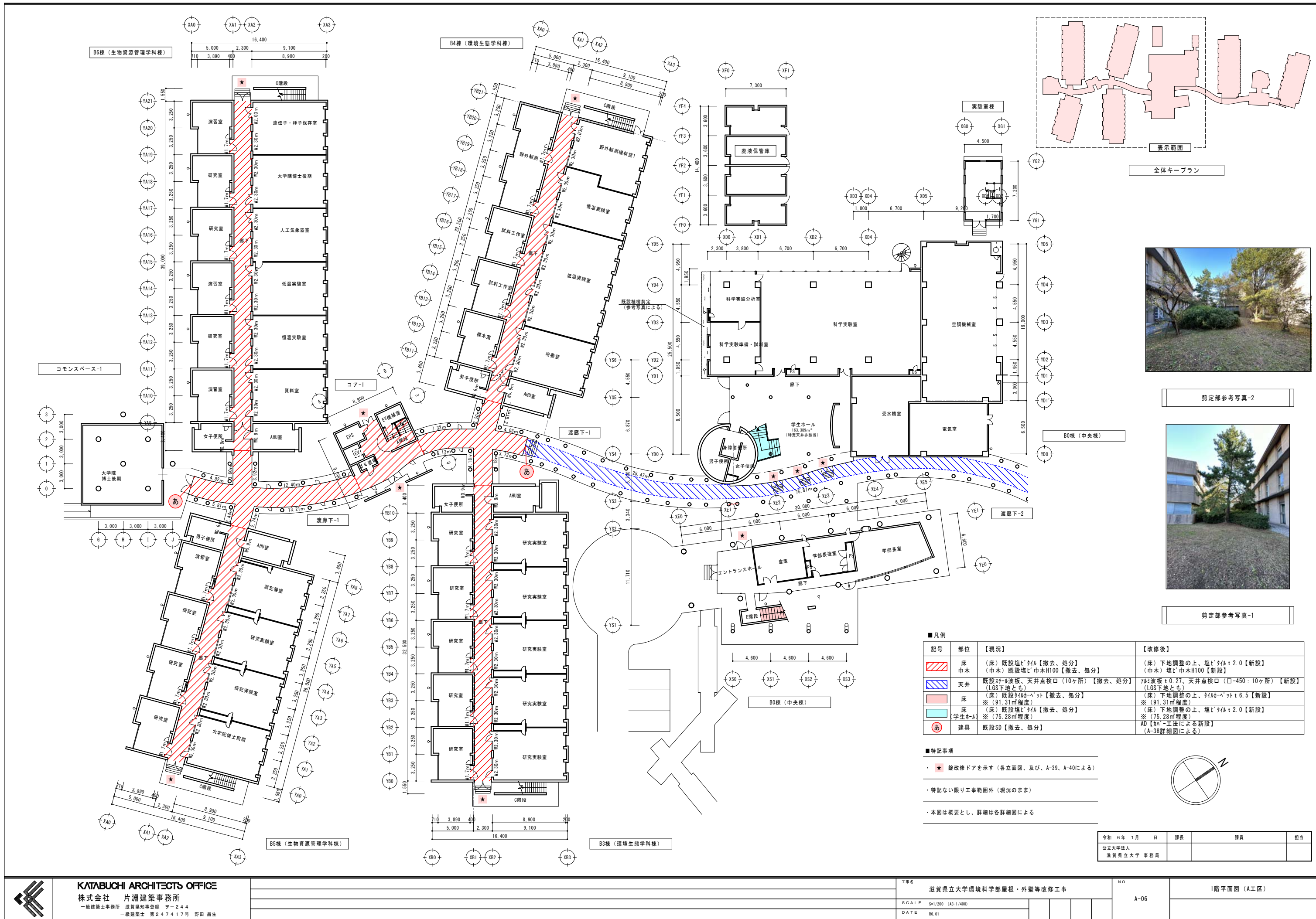
- ・本工事は施設を使用した中での安全となるため安全には十分配慮すること。
- ・工事着手に先立ち、施設管理者、監督職員と協議した上で工事施工計画書を作成提出し、関係者と十分に協議調整の上、工事に着手すること。
- ・施設管理者、監督職員と工法、安全管理対策、騒音振動対策等について十分に協議すること。
- ・特に、近隣マンション、住宅への騒音・粉塵・臭気を伴う作業については細心の注意を払うこと。
- ・図面に示す仮設計画については参考であり、現在の状況、要望等、協議の上適切な仮設計画を立案し、監督職員の承認を得て施工を行うこと。
- ・屋外階段については、仮設囲幕を設置し、夕方の施設利用者への安全対策に努めること。
- ・工事の施工に際し、作業日・作業開始時間・終了時間等について監督職員と十分打ち合わせを行い作業計画を行う事。
- ・資機材の搬出入時など工事車両通行時には必要に応じて交通誘導員を配置し安全対策に努めること。
- ・本工事により、既設設備・舗装等に損傷を与えた場合、本工事内において、現状復旧を行うこと。
- ・外部階段改修時については、非常時における利用は可能とする。
- ・工事ヤードを参考程度とし、着工時に施設管理者と協議の上、決定すること。
- ・備品、変換装置の移設等がある場合は施設管理者と協議の上、決定すること。

令和 6 年 1 月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



KATABUCHI ARCHITECTS OFFICE
株式会社 片淵建築事務所
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 ワー244
一級建築士 第247417号 野田 昌生

工事名					No.		全体配置図	
滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事					A-05			
SCALE 5=1/1500 (A2:1/3000)							付近見取図	
DATE R6.01								



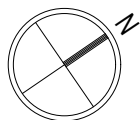
剪定部参考写真-2



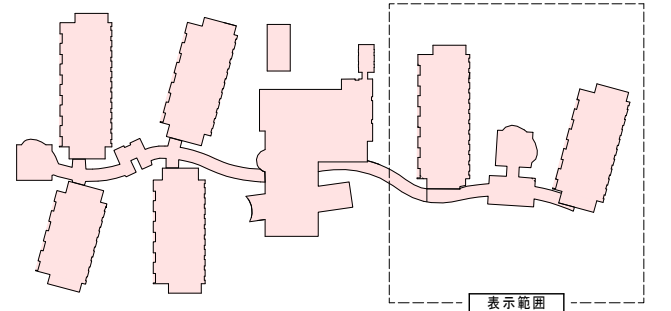
剪定部参考写真-1

■凡例			
記号	部位	【現況】	【改修後】
	床	(床) 既設塩ビタイル【撤去、処分】	(床) 下地調整の上、塩ビタイル t 2.0 【新設】
	天井	(天井) 既設塩ビ巾木 H100 【撤去、処分】	(天井) 塩ビ巾木 H100 【新設】
	床	既設スチール波板、天井点検口 (10ヶ所) 【撤去、処分】 (LGS下地とも)	スチール波板 t 0.27、天井点検口 (口-450 : 10ヶ所) 【新設】 (LGS下地とも)
	床	(床) 既設タイルカベット【撤去、処分】 ※ (91.31㎡程度)	(床) 下地調整の上、タイルカベット t 6.5 【新設】 ※ (91.31㎡程度)
	床	(床) 既設塩ビタイル【撤去、処分】 ※ (75.28㎡程度)	(床) 下地調整の上、塩ビタイル t 2.0 【新設】 ※ (75.28㎡程度)
	建具	既設SD【撤去、処分】	AD【カベ-工法による新設】 (A-38詳細図による)

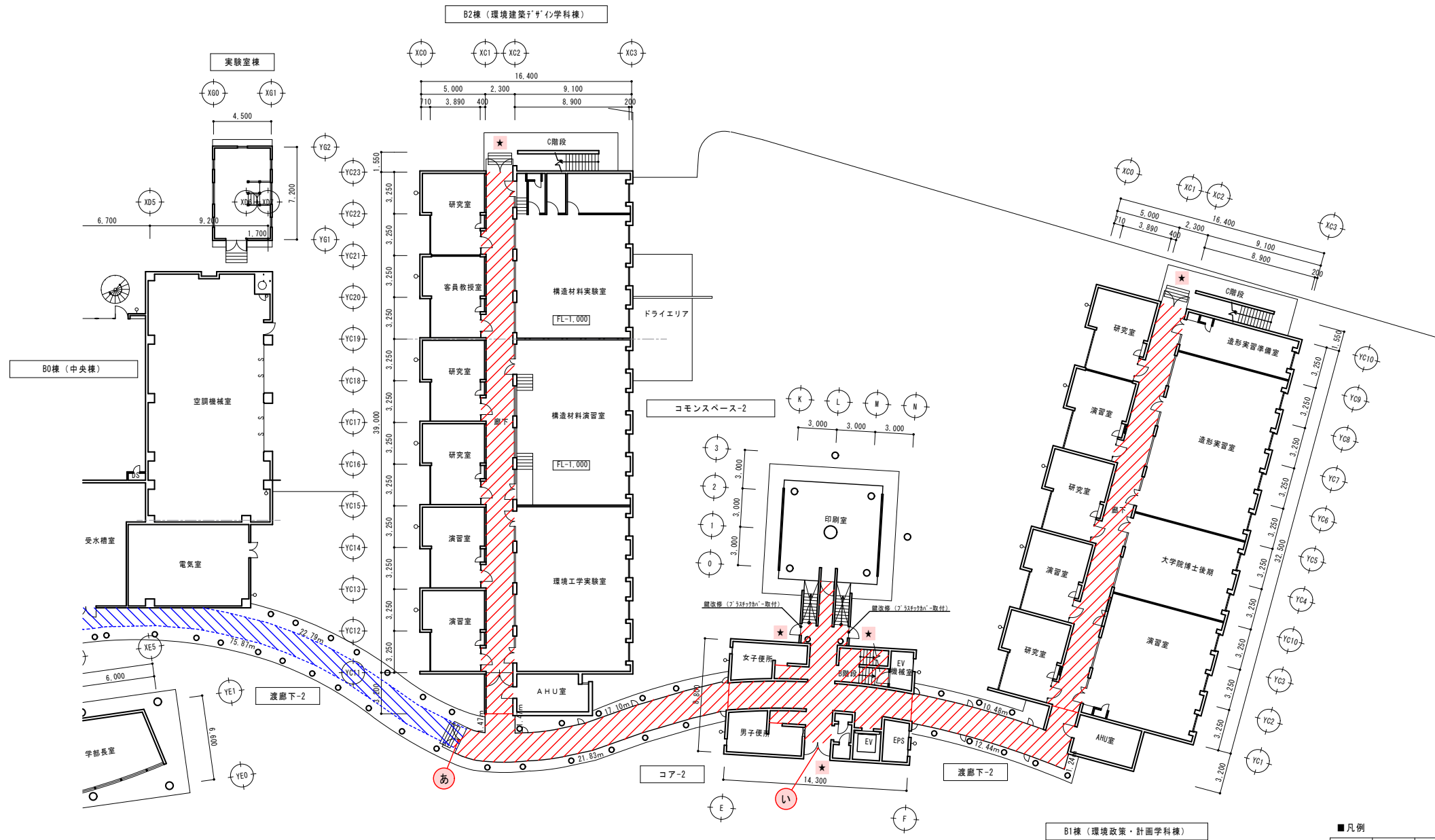
- 特記事項
- ★ 鋭角ドアを示す (各立面図、及び、A-39、A-40による)
 - ・ 特記ない限り工事範囲外 (現況のまま)
 - ・ 本図は概要とし、詳細は各詳細図による



令和 6 年 1 月 日	課長	課員	担当
公立大学法人			
滋賀県立大学 事務局			



全体キープラン

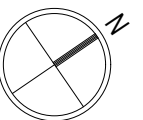


■凡例

記号	部位	【現況】	【改修後】
	床 巾木	(床) 既設塩ビタイル【撤去、処分】 (巾木) 既設塩ビ巾木H100【撤去、処分】	(床) 下地調整の上、塩ビタイル2.0【新設】 (巾木) 塩ビ巾木H100【新設】
	天井	既設スチール波板、天井点検口(10ヶ所)【撤去、処分】 (LGS下地とも)	7 波板t0.27、天井点検口(口-450:10ヶ所)【新設】 (LGS下地とも)
	建具	既設SD【撤去、処分】	AD【7 -工法による新設】 (A-38詳細図による)
	建具	既設SD【撤去、処分】	AD【7 -工法による新設】 (A-38詳細図による)

■特記事項

- ★ 錠改修ドアを示す(各立面図、及び、A-39、A-40による)
- ・ 特記ない限り工事範囲外(現況のまま)
- ・ 本図は概要とし、詳細は各詳細図による



令和 6年 1月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			

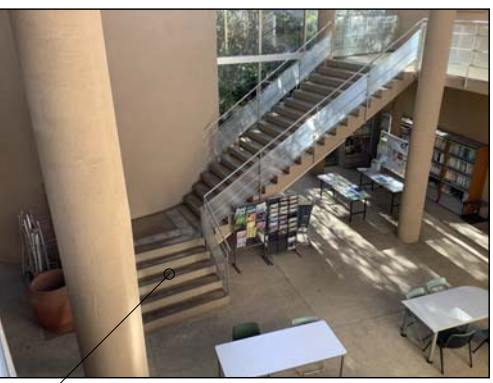
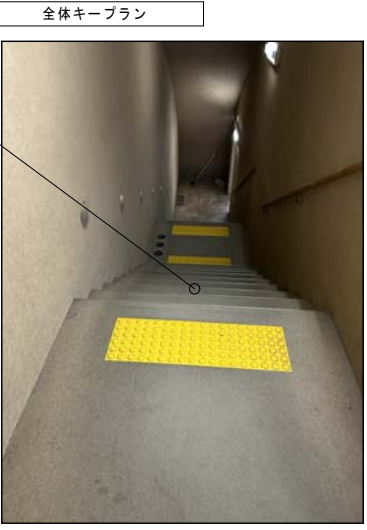
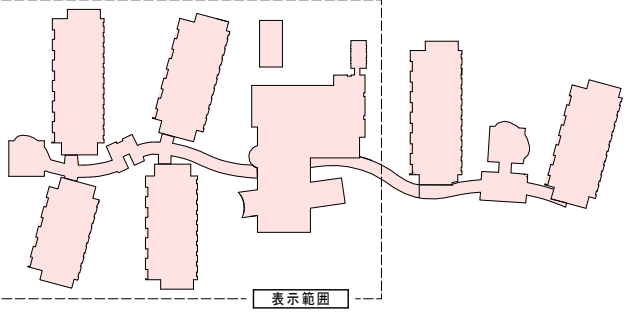
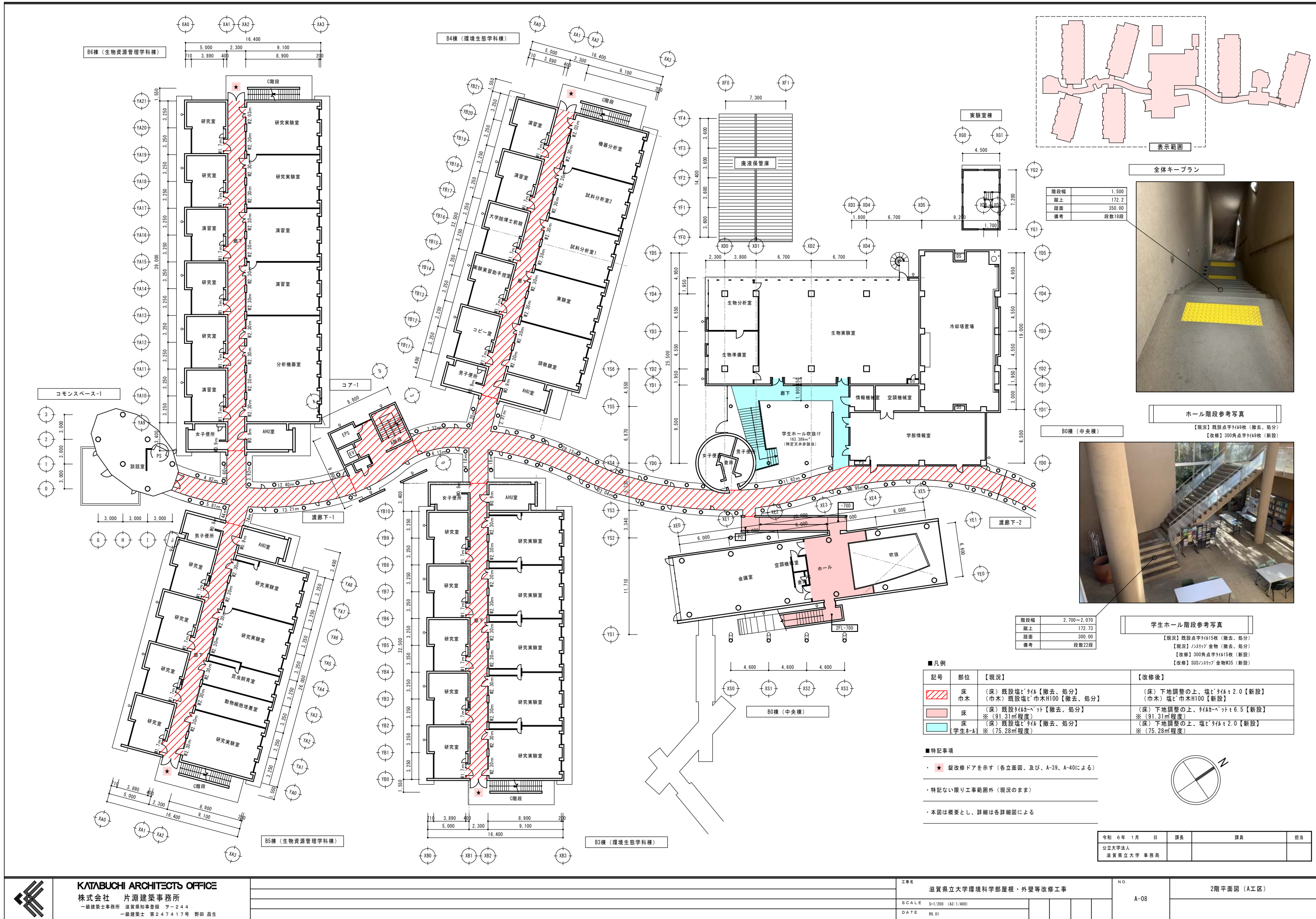


KATABUCHI ARCHITECTS OFFICE
株式会社 片淵建築事務所
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第244号
一級建築士 第247417号 野田 昌生

工事名 滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事
SCALE S1/200 (A3:1/400)
DATE R6.01

NO.
A-07

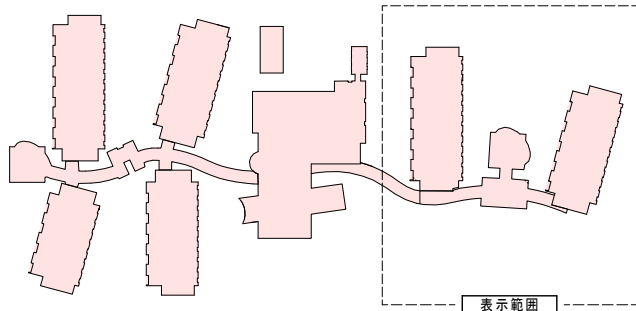
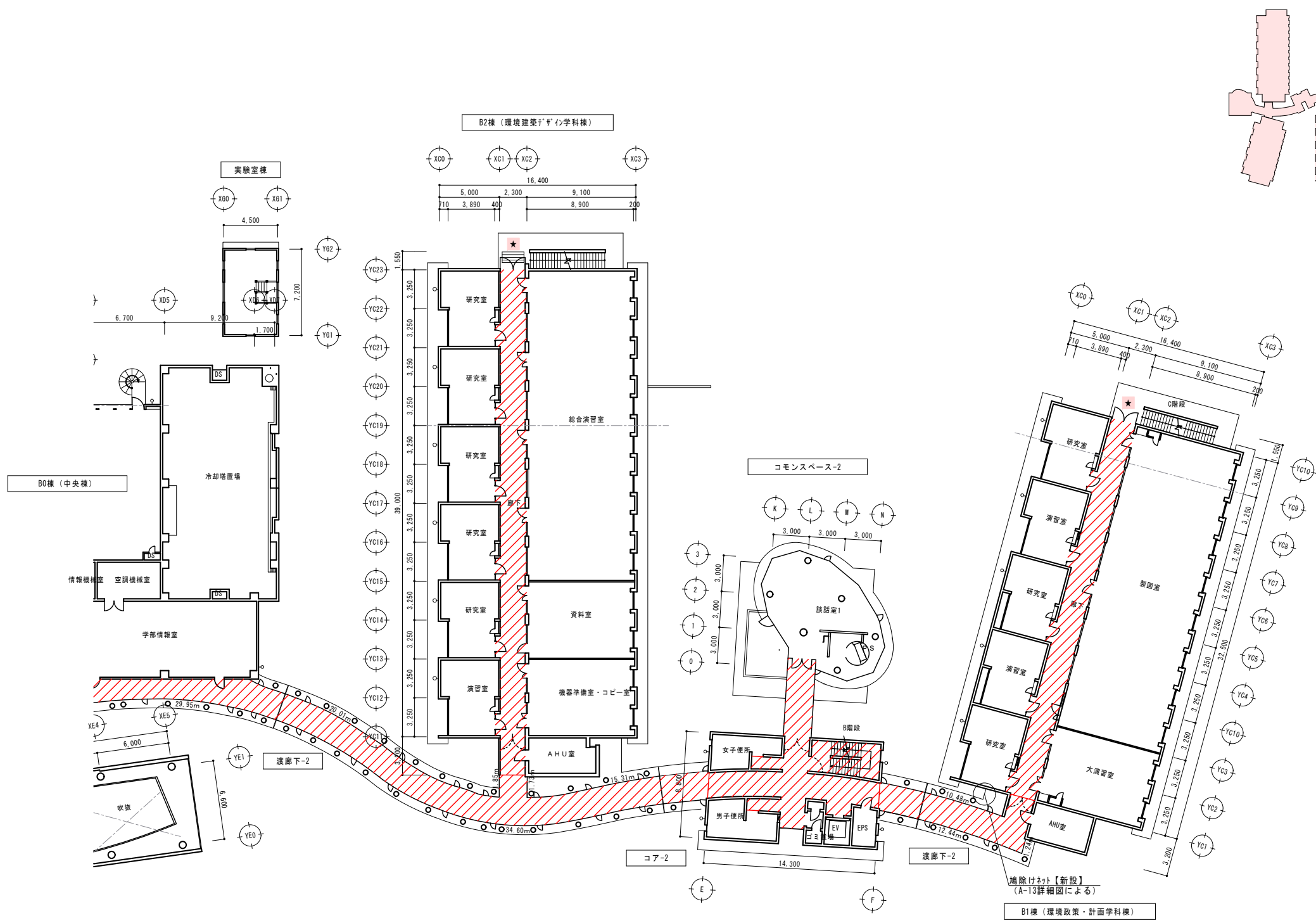
1階平面図 (B工区)



記号	部位	【現況】	【改修後】
	床 巾木	(床) 既設塩ビタイル【撤去、処分】 (巾木) 既設塩ビ巾木H100【撤去、処分】	(床) 下地調整の上、塩ビタイルt2.0【新設】 (巾木) 塩ビ巾木H100【新設】
	床	(床) 既設タイルカーペット【撤去、処分】 ※(91.31㎡程度)	(床) 下地調整の上、タイルカーペット6.5【新設】 ※(91.31㎡程度)
	床 (学生ホール)	(床) 既設塩ビタイル【撤去、処分】 ※(75.28㎡程度)	(床) 下地調整の上、塩ビタイルt2.0【新設】 ※(75.28㎡程度)

- 特記事項
- ★ 鋭改修ドアを示す(各立面図、及び、A-39、A-40による)
 - ・ 特記限り工事範囲外(現況のまま)
 - ・ 本図は概要とし、詳細は各詳細図による

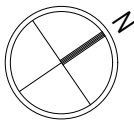
令和 6 年 1 月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



全体キープラン

■凡例			
記号	部位	【現況】	【改修後】
	床 巾木	(床) 既設塩ビタイル【撤去、処分】 (巾木) 既設塩ビ巾木H100【撤去、処分】	(床) 下地調整の上、塩ビタイル2.0【新設】 (巾木) 塩ビ巾木H100【新設】

- 特記事項
- ★ 鋭改修ドアを示す（各立面図、及び、A-39、A-40による）
 - 特記ない限り工事範囲外（現況のまま）
 - 本図は概要とし、詳細は各詳細図による



令和 6年 1月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



KATABUCHI ARCHITECTS OFFICE
株式会社 片淵建築事務所
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第244号
一級建築士 第247417号 野田 昌生

工事名	滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事
SCALE	S=1/200 (A3:1/400)
DATE	R6.01

NO.
A-09

2階平面図 (B工区)

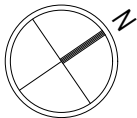


【改修】300角点字（新設）

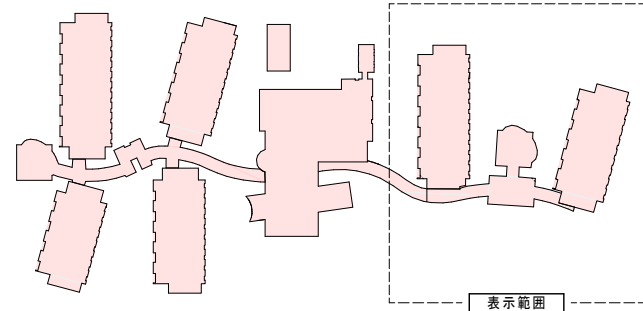
■ 凡例			
記号	部位	【現況】	【改修後】
	床 巾木	(床) 既設塩ビタイル【撤去、処分】 (巾木) 既設塩ビ巾木H100【撤去、処分】	(床) 下地調整の上、塩ビタイル2.0【新設】 (巾木) 塩ビ巾木H100【新設】
	屋上	【現況】既設軽量コンクリート60【存置】	ケレン、清掃及び樹脂ベスト塗布の上、 改質アスファルト防水【新設】
	屋根	【現況】SUS垂箔メッキ鋼板0.4【存置】	ケレン、清掃の上、特殊ふっ素樹脂トリートメント屋根用塗料【新設】
	屋上	【現況】コンクリート押えの上、アスファルト防水【存置】	ケレン、清掃及び樹脂ベスト塗布の上、 改質アスファルト防水【新設】
	屋上	【現況】コンクリート押えの上、塗膜防水【存置】	水洗い、清掃及び下地処理 (C-1)の上、 塗膜防水 (X-2)【新設】
	庇	【現況】コンクリート押えの上、塗膜防水【存置】	水洗い、清掃及び下地処理 (C-1)の上、 塗膜防水 (X-2)【新設】
	屋根	【現況】和瓦【一部撤去、処分】	和瓦【一部新設】(別紙詳細図による)

- ★ 錠改修ドアを示す（各立面図、及び、A-39、A-40による）

- ・ **★** 錠改修ドアを示す（各立面図、及び、A-39、A-40による）
- ・ 電気錠配線に伴う、防火区画貫通ヶ所天井仕上げ1m程度「取り外し、復旧」を見込むこと（16ヶ所）
- ・ 特記ない限り工事範囲外（現況のまま）
- ・ 本図は概要とし、詳細は各詳細図による



令和 6 年 1 月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



全体キープラン



コア-2 EV前参考写真（各階共通）

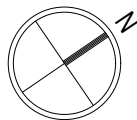
【現況】既設点字タイル（撤去、処分）
【改修】300角点字タイル（新設）

■凡例

記号	部位	【現況】	【改修後】
	床 巾木	（床）既設塩ビタイル【撤去、処分】 （巾木）既設塩ビ巾木H100【撤去、処分】	（床）下地調整の上、塩ビタイルt2.0【新設】 （巾木）塩ビ巾木H100【新設】
	屋上	【現況】既設軽量コンクリート60【存置】	ケレン、清掃及び樹脂ベスト塗布の上、 改質アスファルト防水【新設】
	屋根	【現況】SUS亜鉛メッキ鋼板t0.4【存置】	ケレン、清掃の上、特殊ふっ素樹脂タイル屋根用塗料【新設】
	屋上	【現況】コンクリート打押えの上、アスファルト防水【存置】	ケレン、清掃及び樹脂ベスト塗布の上、 改質アスファルト防水【新設】
	屋上	【現況】コンクリート打押えの上、塗膜防水【存置】	水洗い、清掃及び下地処理（C-1）の上、 塗膜防水（X-2）【新設】

■特記事項

- ・ 錠改修ドアを示す（各立面図、及び、A-39、A-40による）
- ・ 電気錠配線に伴う、防火区画貫通ヶ所天井仕上り1m程度「取り外し、復旧」を見込むこと（16ヶ所）
- ・ 特記ない限り工事範囲外（現況のまま）
- ・ 本図は概要とし、詳細は各詳細図による

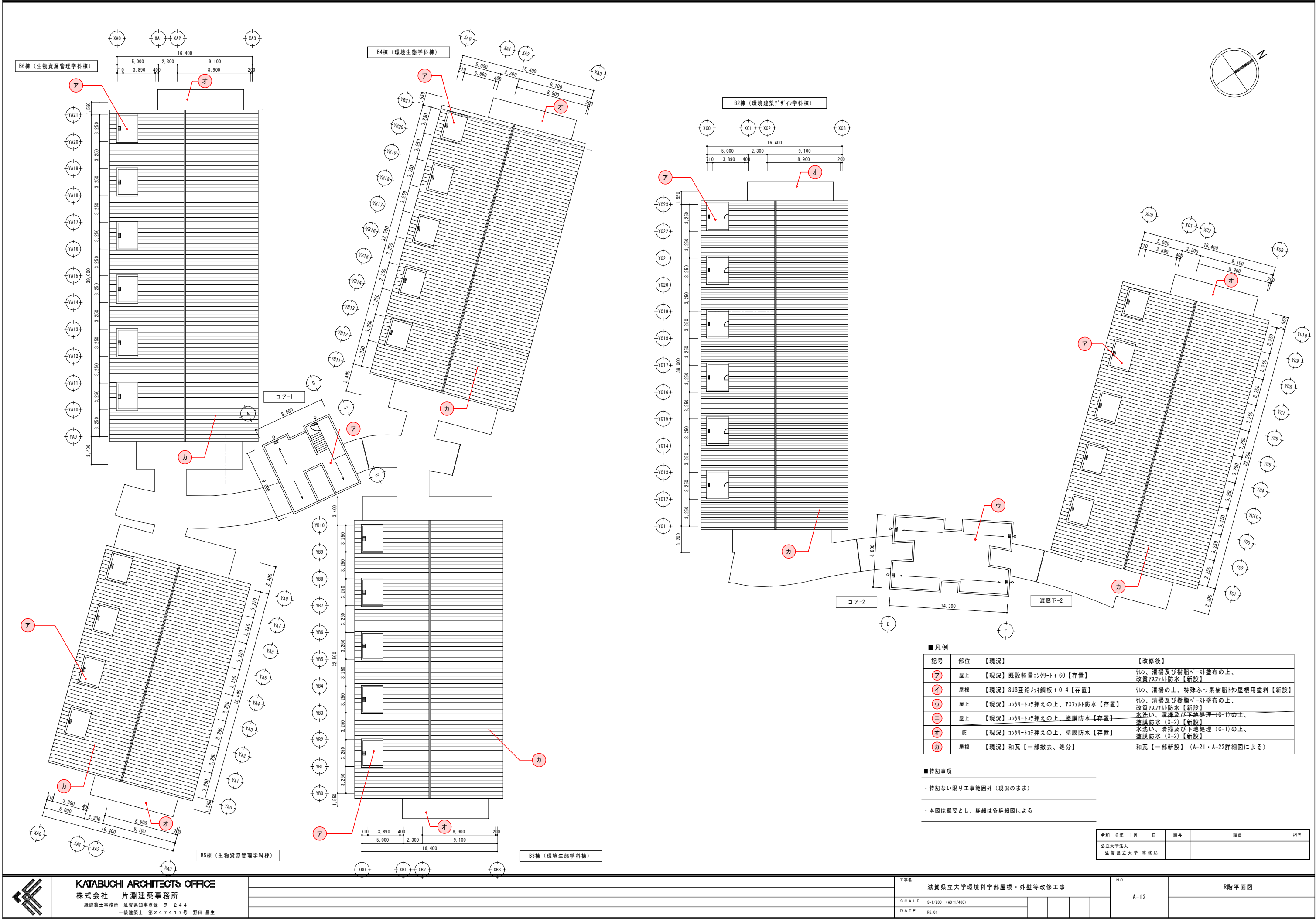


令和 6 年 1 月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



KATABUCHI ARCHITECTS OFFICE
株式会社 片淵建築事務所
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第 2444
一級建築士 第 247417 号 野田 昌生

工事名	滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事	NO.	A-11	3階平面図（B工区）
SCALE	S=1/200 (A3:1/400)			
DATE	R6.01			



■凡例

記号	部位	【現況】	【改修後】
ア	屋上	【現況】既設軽量コンクリート60【存置】	ケレン、清掃及び樹脂ベスト塗布の上、改質アスファルト防水【新設】
イ	屋根	【現況】SUS垂鉛板t0.4【存置】	ケレン、清掃の上、特殊ふっ素樹脂トリシロキサン塗料【新設】
ウ	屋上	【現況】コンクリート押えの上、アスファルト防水【存置】	ケレン、清掃及び樹脂ベスト塗布の上、改質アスファルト防水【新設】
エ	屋上	【現況】コンクリート押えの上、塗膜防水【存置】	水洗い、清掃及び下地処理（C-1）の上、塗膜防水（X-2）【新設】
オ	庇	【現況】コンクリート押えの上、塗膜防水【存置】	水洗い、清掃及び下地処理（C-1）の上、塗膜防水（X-2）【新設】
カ	屋根	【現況】和瓦【一部撤去、処分】	和瓦【一部新設】（A-21・A-22詳細図による）

■特記事項

・特記しない限り工事範囲外（現況のまま）

・本図は概要とし、詳細は各詳細図による

令和 6 年 1 月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			

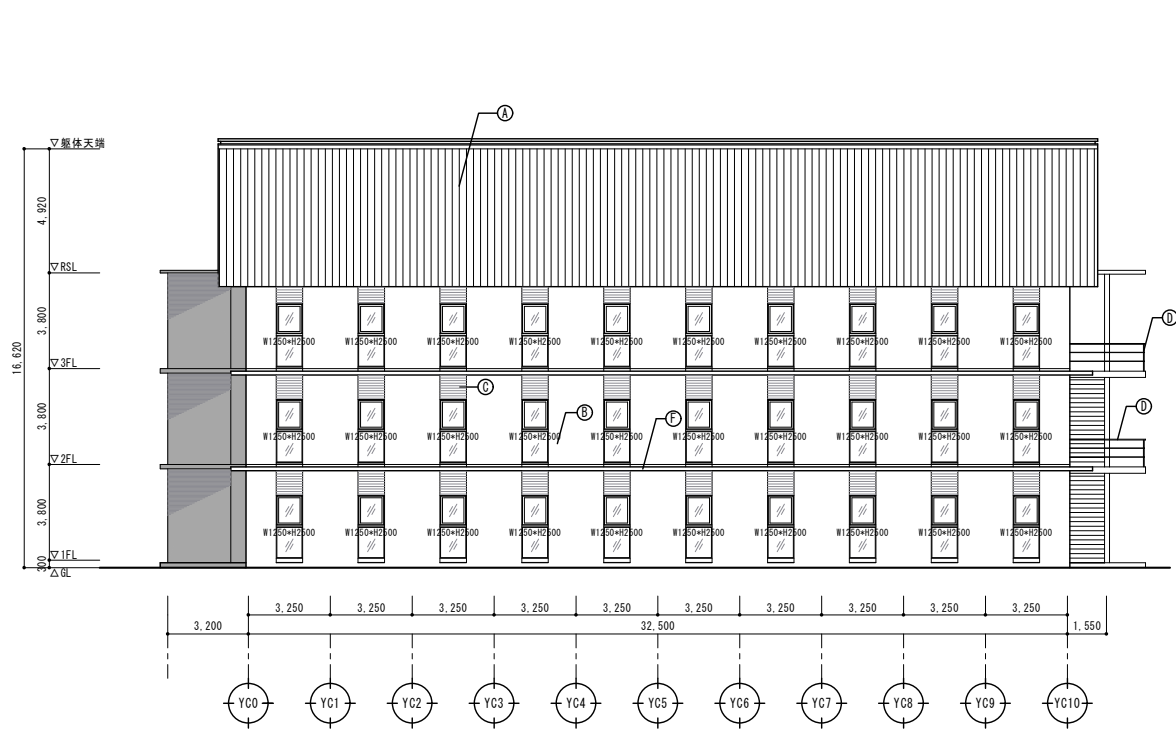


KATABUCHI ARCHITECTS OFFICE
株式会社 片淵建築事務所
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第244号
一級建築士 第247417号 野田 昌生

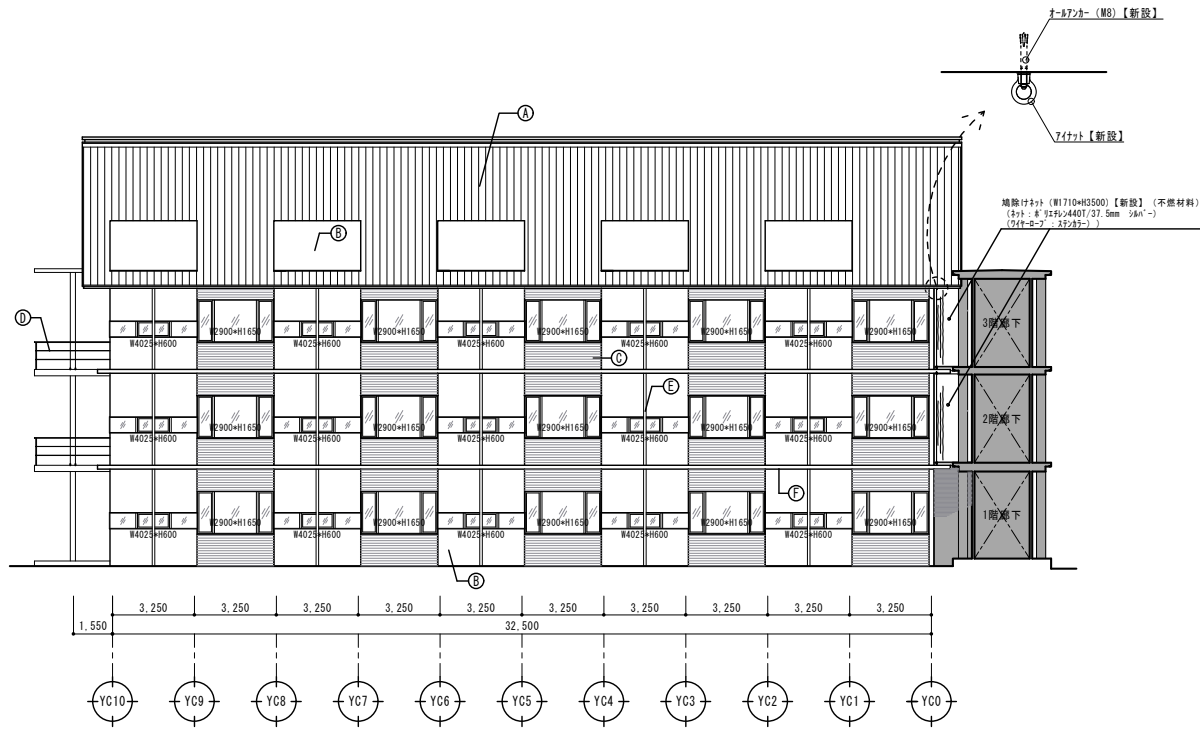
工事名 滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事
SCALE S-1/200 (A3:1/400)
DATE 2024.01

NO. A-12

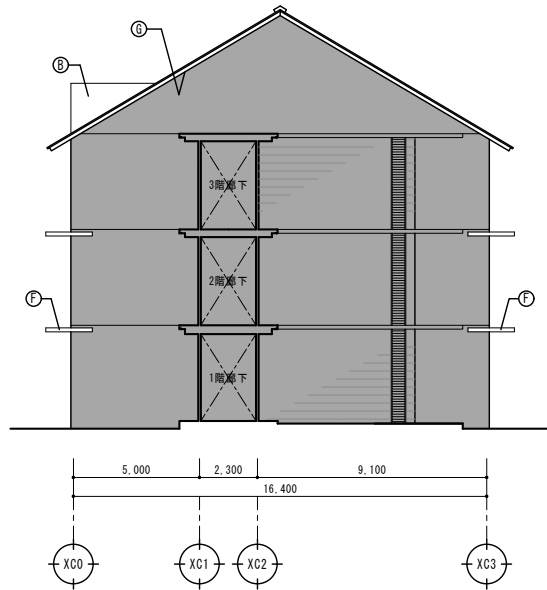
R階平面図



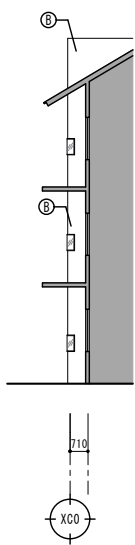
北一立面図 S=1/150



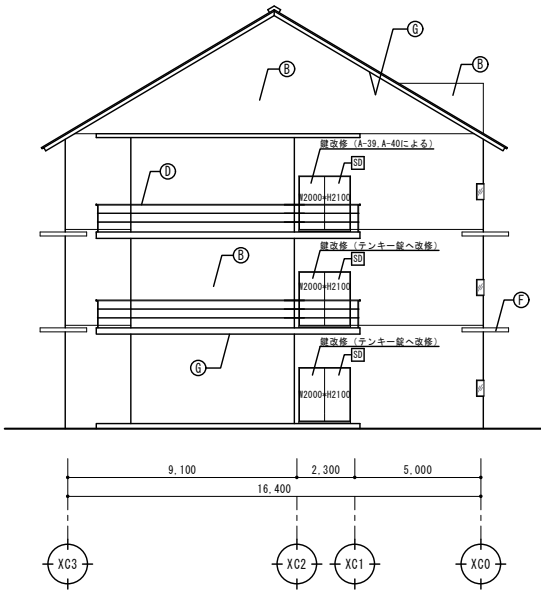
南一立面図 S=1/150



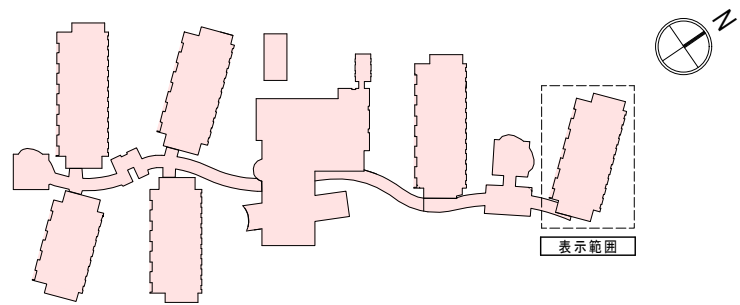
東一立面図 S=1/150



東(西)一立面図 S=1/150



西一立面図 S=1/150



全体キープラン

■仕上表

記号	部位	【現況】	【改修後】
A	屋根	和瓦【一部撤去、処分】	和瓦53A型【一部新設】(A-21・A-22詳細図による)
B	外壁	砂壁状複層塗材吹付【存置】	水洗い・清掃の上、特殊セメント珪砂樹脂系塗替え用仕上材【新設】
C	外壁	せっき質セーラー貼【存置】	水洗い・清掃
D	手摺	ステンパイプ加工 34.0φ、27.2φ【撤去、処分】	ステン【新設】(A-20詳細図による)
E	堅種	ステンφ76.3 SOP【存置】	ケレン処理の上、DP塗(ケレン3級)【新設】(上部塙除け剣山 設置)
F	庇	金で押えの上、塗膜防水【存置】	水洗い・清掃の上、下地処理(C-1)及び、塗膜防水(X-2)【新設】
G	軒裏	コンクリート打放し補修の上、珪砂吹付【存置】	水洗い・清掃の上、下地処理(C-1)及び、外装薄塗材E【新設】

【特記事項】
・外部サッシのクリーニング(ガラス面含む)及び周囲のシール打替えを行うこと。※水切り下シールも含む
・ガラス面は遮熱フィルム【新設】とする。(既設ガラスが網入りの場合、ガラス破損の恐れがあるため、フィルム施工は無しとする)
・躯体打継目地のシール打替えを行うこと。
・軒先、ケラバ、鼻隠し改修についてはA-21・A-22詳細図による。
・[B] は工事範囲外、現況のままの部分を示す。(改修済み範囲)
・[C] はケレン処理の上、DP塗(ふっ素1級)【新設】とする。
・外壁クラック処理は全体面積の3%程度見込むこと。(24m程度)
・軒天クラック処理は全体面積の5%程度見込むこと。(11m程度)
・和瓦撤去、処分及び、新設は全体の10%程度見込むこと。(70㎡程度)
・北面壁軸回転窓は、ロック不良箇所調査の上、修理(交換)を見込むこと。(10ヶ所程度)

令和 6 年 1 月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			

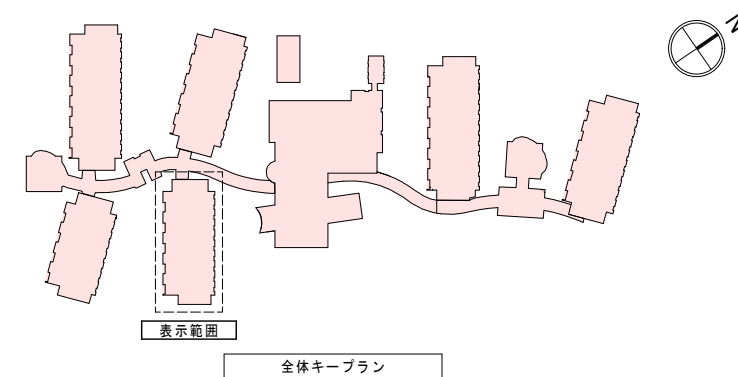
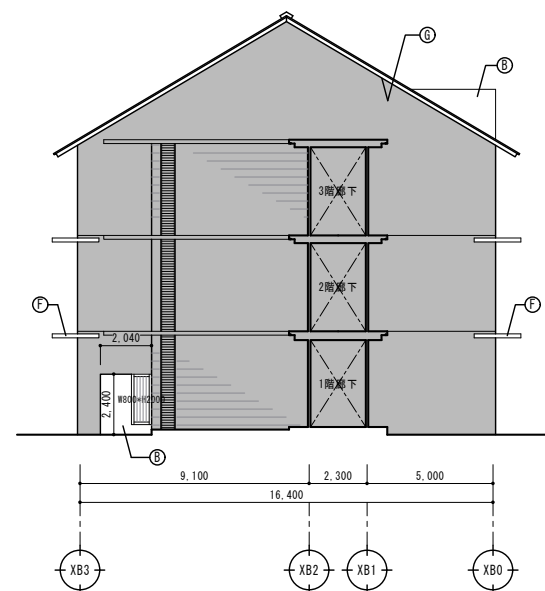
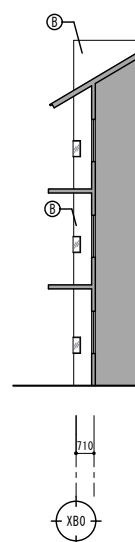
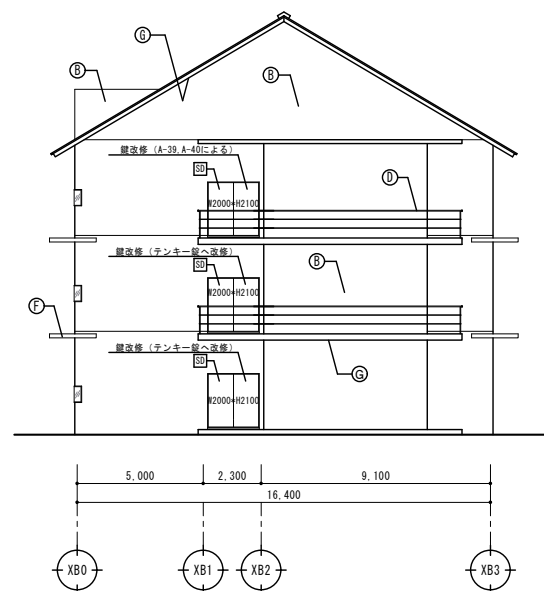
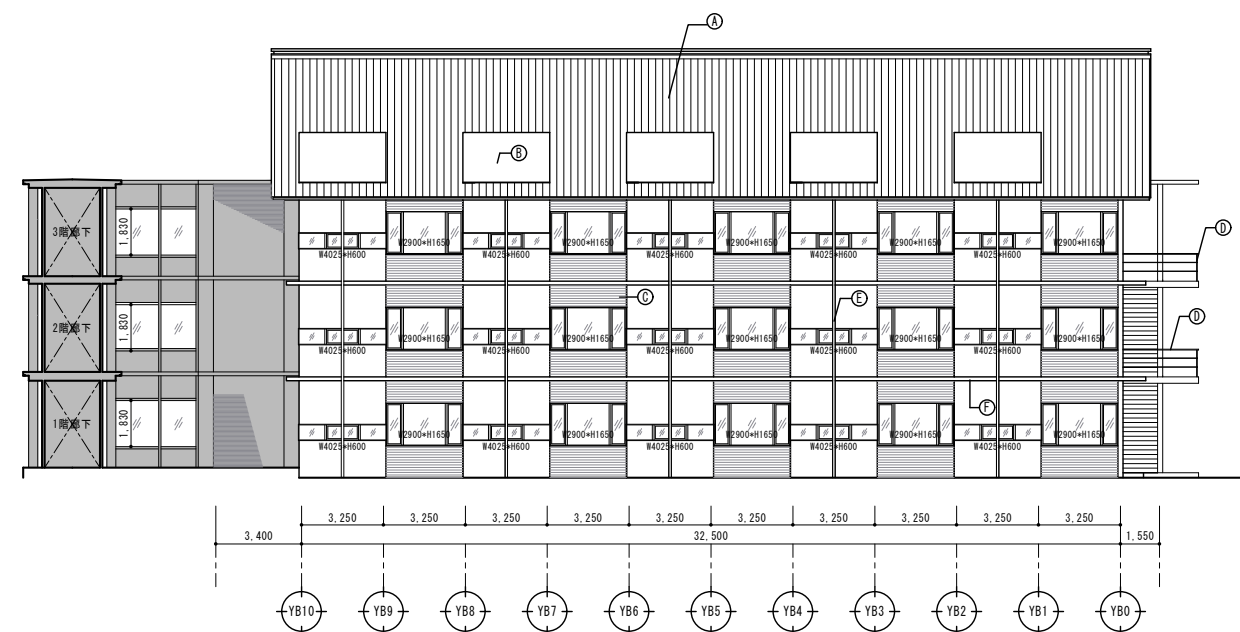
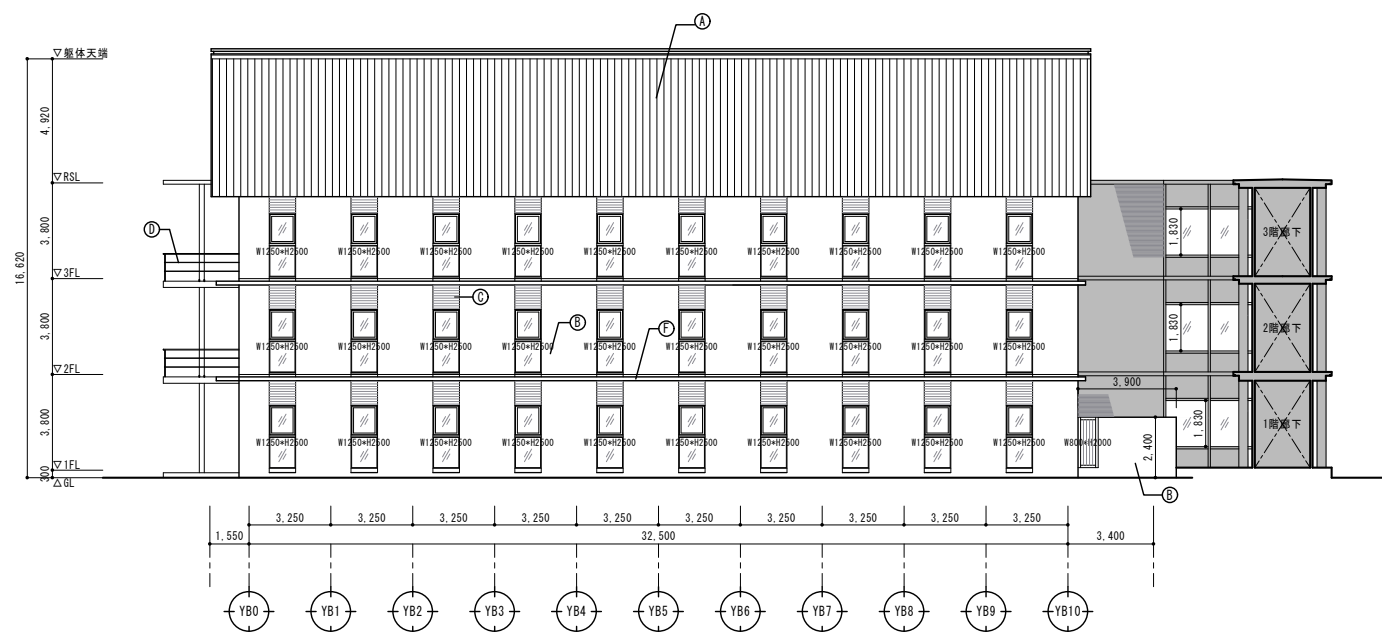


KATABUCHI ARCHITECTS OFFICE
株式会社 片淵建築事務所
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第244号
一級建築士 第247417号 野田 昌生

工事名 滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事
SCALE S=1/150 (A3:1/300)
DATE 第01

NO.
A-13

立面図
【学科棟(B-1棟)】

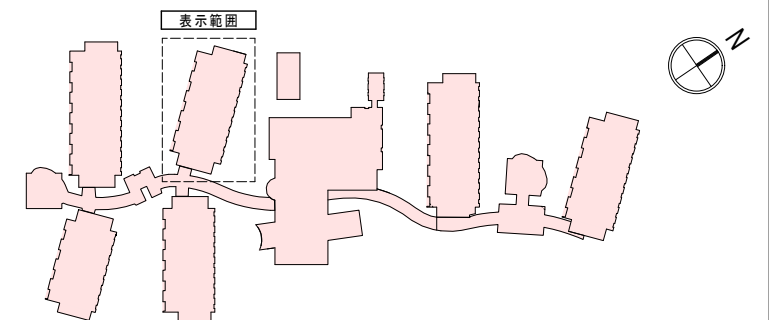
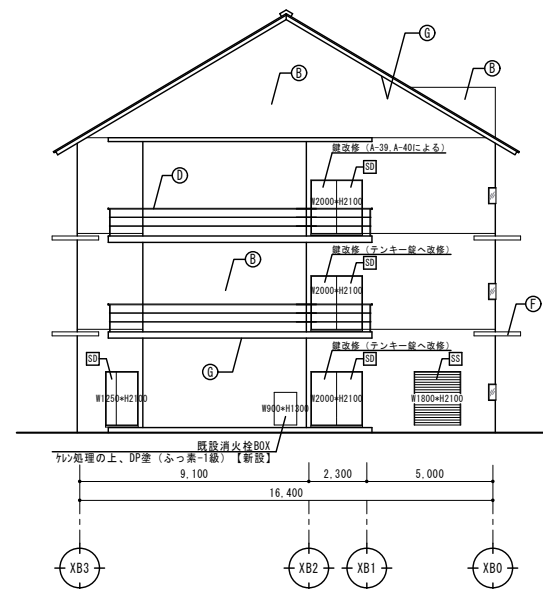
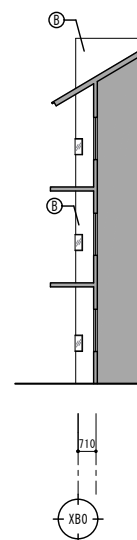
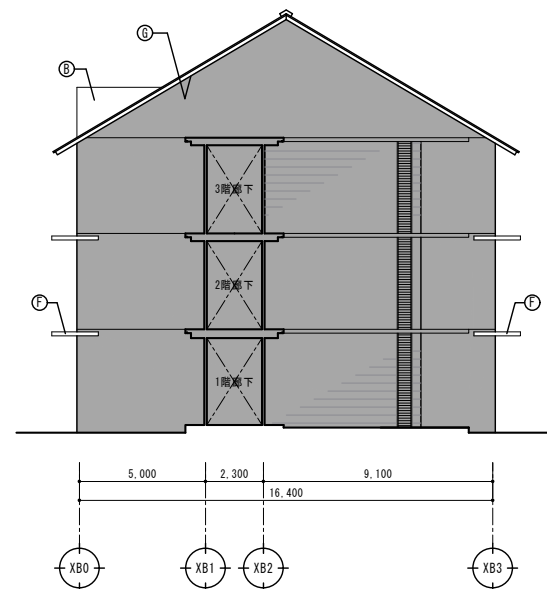
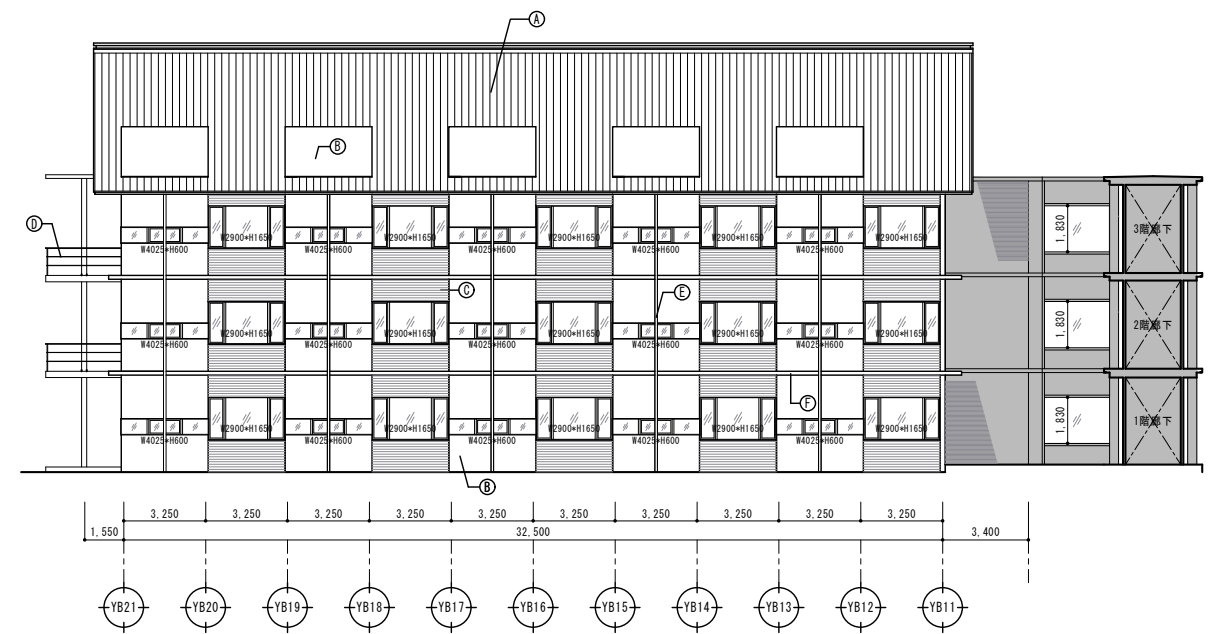
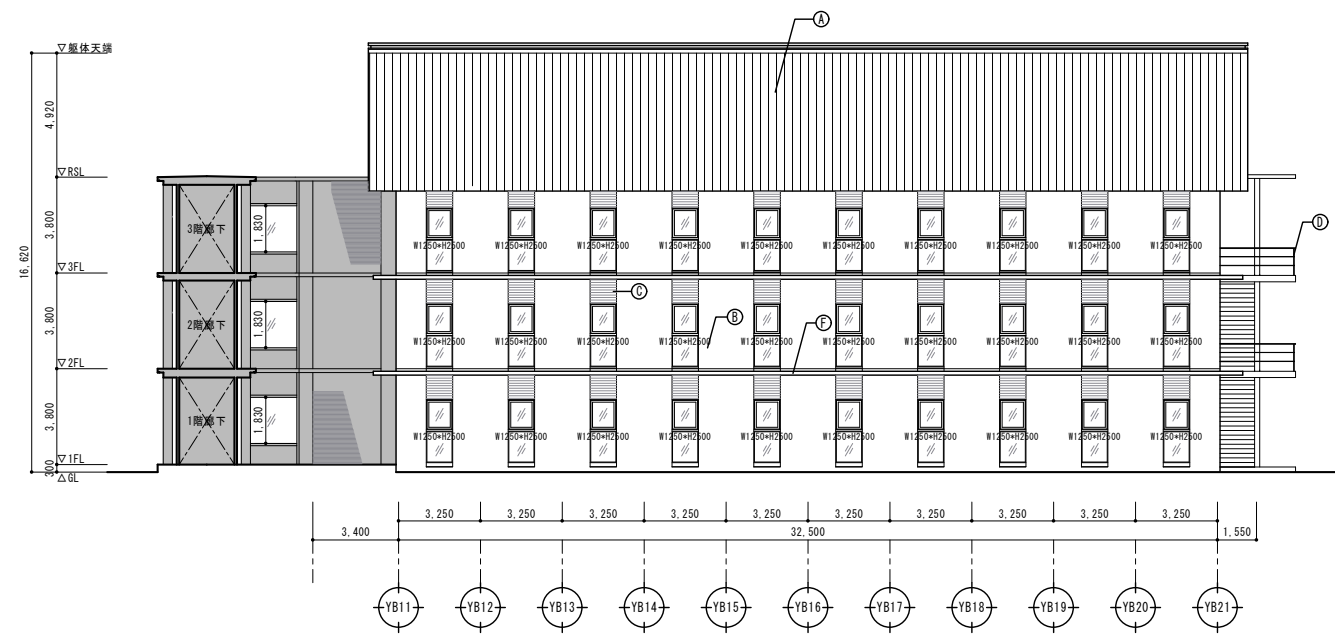


■ 仕上表			
記号	部位	【現況】	【改修後】
(A)	屋根	和瓦【一部撤去、処分】	和瓦53A型【一部新設】（A-21・A-22詳細図による）
(B)	外壁	砂壁状層塗材吹付【存置】	水洗い・清掃の上、 特殊なミナリコン樹脂系塗替え用仕上材【新設】
(C)	外壁	せっき質 [※] 「 $\rightarrow$ 」付貼付【存置】	水洗い・清掃
(D)	手摺	スチールパイプ加工 34.0φ、27.2φ【撤去、処分】	スチール【新設】（A-20詳細図による）
(E)	壁樋	スチールφ76.3 SOP【存置】	刈り処理の上、0P塗（ケラタン3級）【新設】 （上部鳩除け剣山 設置）
(F)	庇	金コサ押えの上、塗膜防水【存置】	水洗い・清掃の上、 下地処理（C-1）及び、塗膜防水（X-2）【新設】
(G)	軒裏	コケラト打直し補修の上、リシ吹付【存置】	水洗い・清掃の上、 下地処理（C-1）及び、外装塗塗材E【新設】

【特記事項】

- ・ 外部サッシのクリーニング（ガラス面含む）及び周囲のシール打替えを行うこと。※水切り下シールも含む
- ・ 窓ガラスは遮熱フィルム【新設】とする。（既設ガラスが網入りの場合、ガラス破損の恐れがあるため、フィルム施工は無とする）
- ・ 窓枠打替目地のシール打替を行うこと。
- ・ 軒先、ケラバ、鼻隠し改修についてはA-21・A-22詳細図による。
- ・ 軒先は工事範囲外、現状のままの部分を示す。（改修済み範囲）
- ・   はクレン処理による、0.7度（ふくふく-1級）【新設】とする。
- ・ 外壁クレン処理は全体面積の3%程度見込むこと。（24mm程度）
- ・ 外壁クレン処理は全体面積の5%程度見込むこと。（11mm程度）
- ・ 内瓦と瓦敷、船分及び、新設は全体の10%程度見込むこと。（70mm程度）
- ・ 北面笠間廻転軸は、ロック不良箇所調査の上、修理（交換）を見込むこと。（10ヶ所程度）

令和 6 年 1 月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			

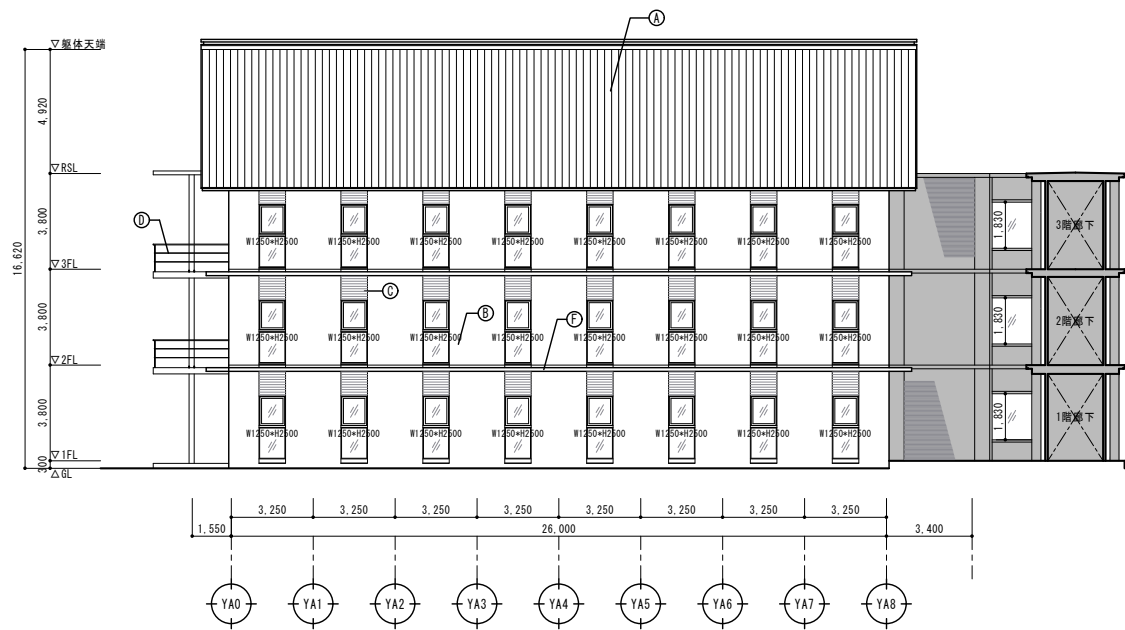


記号	部位	【現況】	【改修後】
Ⓐ	屋根	和瓦【一部撤去、処分】	和瓦53A型【一部新設】（A-21・A-22詳細図による）
Ⓑ	外壁	砂壁状復原塗材吹付【存置】	水洗い・清掃の上、 特殊なミヤカロン樹脂系塗替え用仕上げ材【新設】
Ⓒ	外壁	せっき質ギーダー貼付【存置】	水洗い・清掃
Ⓓ	手摺	スチールパイプ加工 34.0φ、27.2φ【撤去、処分】	スチール【新設】（A-20詳細図による）
Ⓔ	壁樋	スチールφ76.3 SOP【存置】	鉛処理の上、DP塗（ウレタン3級）【新設】 （上部増設け剣山 設置）
Ⓕ	庇	金付押えの上、塗膜防水【存置】	水洗い・清掃の上、 下地処理（C-1）及び、塗膜防水（X-2）【新設】
Ⓖ	軒裏	コンクリート打放し補修の上、珪藻吹付【存置】	水洗い・清掃の上、 下地処理（C-1）及び、外装遮熱塗材【新設】

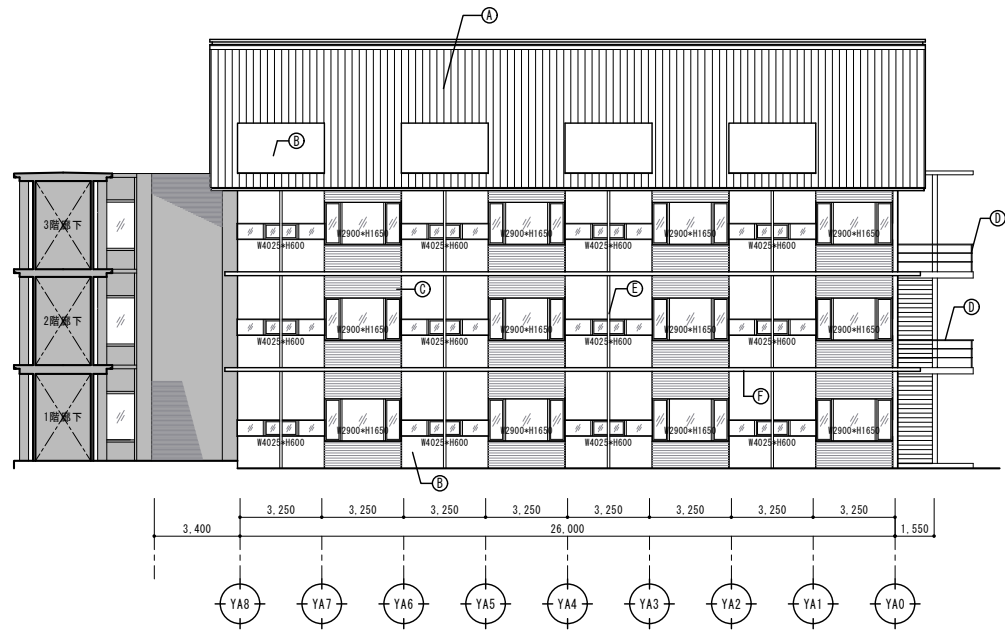
【特記事項】

- ・外壁サッシのクリーニング（ガラス面含む）及び周囲のシール打替えを行うこと。※水切り下シールも含む
- ・ガラス面は遮熱フィルム【新設】とする。（既設ガラスが網入りの場合、ガラス破損の恐れがあるため、フィルム施工は無しとする）
- ・窓体表面目地のシール打替を行うこと。
- ・軒先、ケラバ、鼻隠し改修についてはA-21・A-22詳細図を参照。
- ・は工事範囲外、現状のままの部分を示す。（改修済み範囲）
- ・は軒先起點の上、10番（5ヶ所-1箇所）の新設とする。
- ・外壁クラック処理は全体面積の3%程度見込むこと。（24㎡程度）
- ・軒天クラック処理は全体面積の5%程度見込むこと。（11㎡程度）
- ・和瓦取、処分及び、新設は全体の10%程度見込むこと。（70㎡程度）
- ・北面壁軸回転軸は、ロック不良箇所調査の上、修理（交換）を見込むこと。（10ヶ所程度）

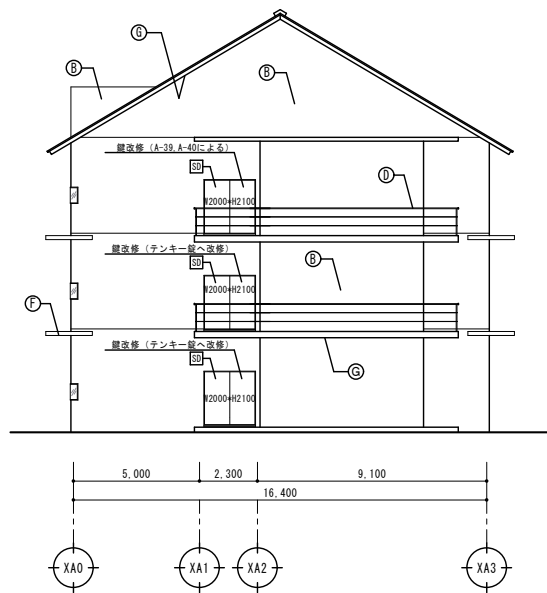
令和 6 年 1 月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



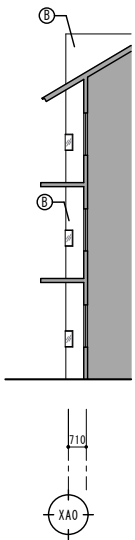
北一立面図 S=1/150



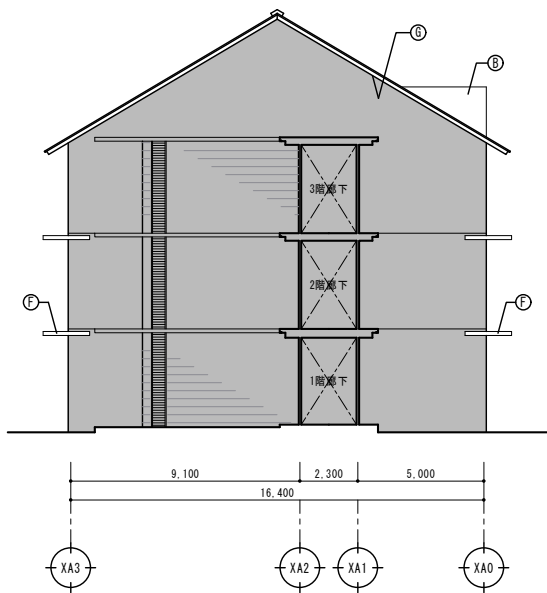
南一立面図 S=1/150



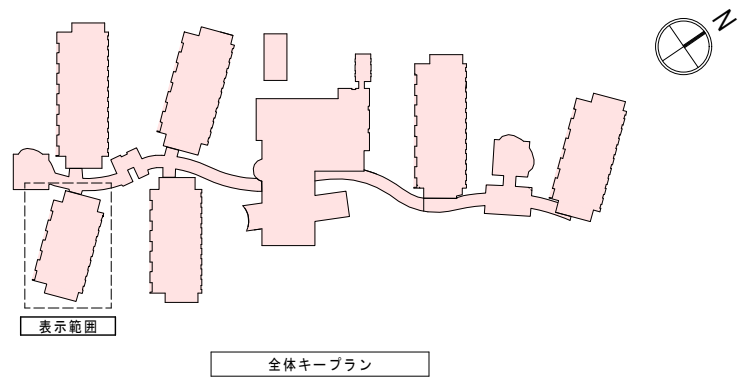
東一立面図 S=1/150



東（西）一立面図 S=1/150



西一立面図 S=1/150



■仕上表

記号	部位	【現況】	【改修後】
A	屋根	和瓦【一部撤去、処分】	和瓦53A型【一部新設】（A-21・A-22詳細図による）
B	外壁	砂壁状複層塗材吹付【存置】	水洗い・清掃の上、特殊モミヤクシコン樹脂系塗替え用仕上げ材【新設】
C	外壁	せっき質セーラー貼【存置】	水洗い・清掃
D	手摺	スチールパイプ加工 34.0φ、27.2φ【撤去、処分】	スチール【新設】（A-20詳細図による）
E	壁紙	スチール76.3 SOP【存置】	珪藻土処理の上、DP塗（珪藻土3級）【新設】（上部端除け剣山 設置）
F	庇	金釘押えの上、塗膜防水【存置】	水洗い・清掃の上、下地処理（C-1）及び、塗膜防水（X-2）【新設】
G	軒裏	コンクリート打放し補修の上、珪吹付【存置】	水洗い・清掃の上、下地処理（C-1）及び、外装薄塗材E【新設】

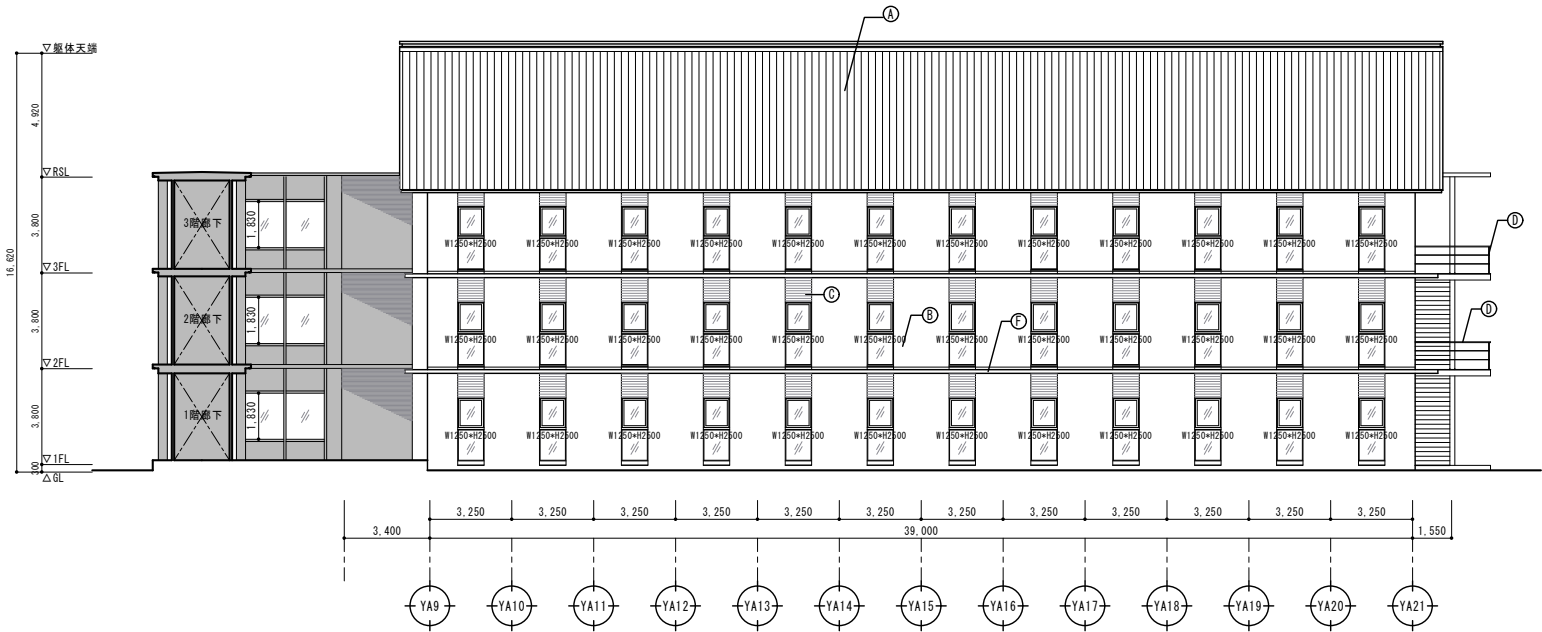
【特記事項】
・外部サッシのクリーニング（ガラス面含む）及び周囲のシール打替えを行うこと。※水切り下シールも含む
・ガラス面は遮熱フィルム【新設】とする。（既設ガラスが網入りの場合、ガラス破損の恐れがあるため、フィルム施工は無しとする）
・躯体打継目地のシール打替えを行うこと。
・軒先、ケラバ、鼻隠し改修についてはA-21・A-22詳細図による。
・ は工事範囲外、現況のままの部分を示す。（改修済み範囲）
・ は珪藻土処理の上、DP塗（珪藻土1級）【新設】とする。
・外壁クラック処理は全体面積の5%程度見込むこと。（21m程度）
・軒天クラック処理は全体面積の5%程度見込むこと。（9m程度）
・和瓦撤去、処分及び、新設は全体の10%程度見込むこと。（60㎡程度）
・北面壁軸回転窓は、ロック不良箇所調査の上、修理（交換）を見込むこと。（8ヶ所程度）

令和 6 年 1 月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			

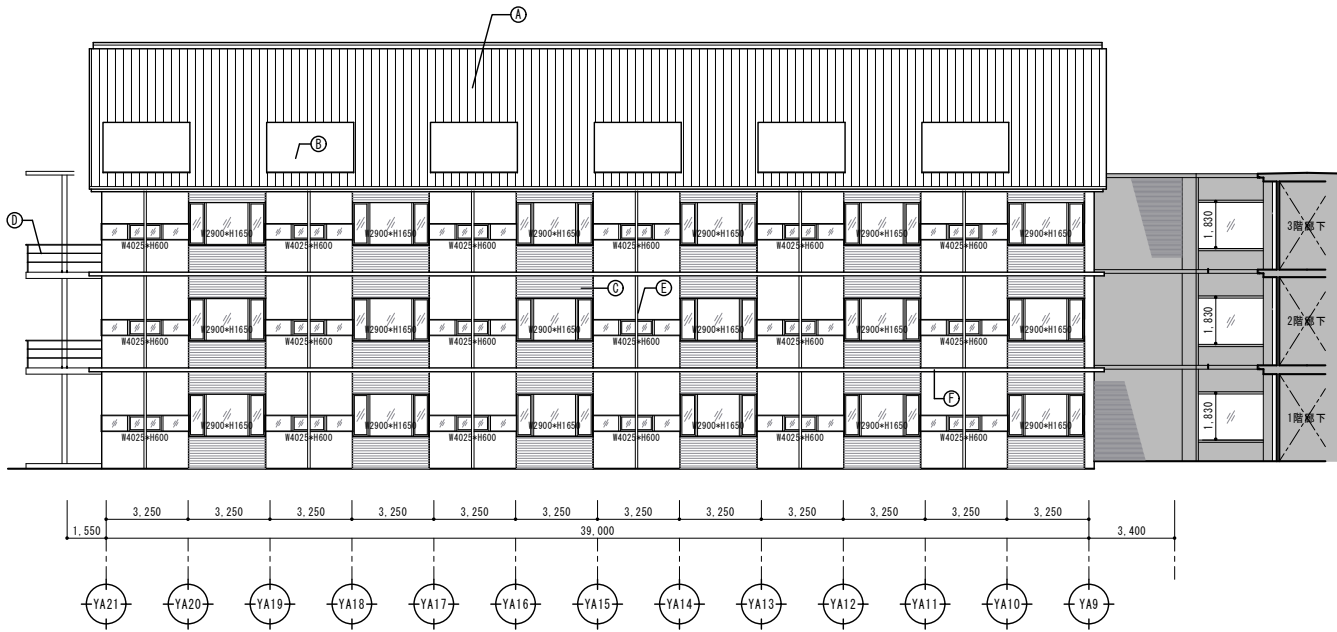


KATABUCHI ARCHITECTS OFFICE
株式会社 片淵建築事務所
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第244号
一級建築士 第247417号 野田 昌生

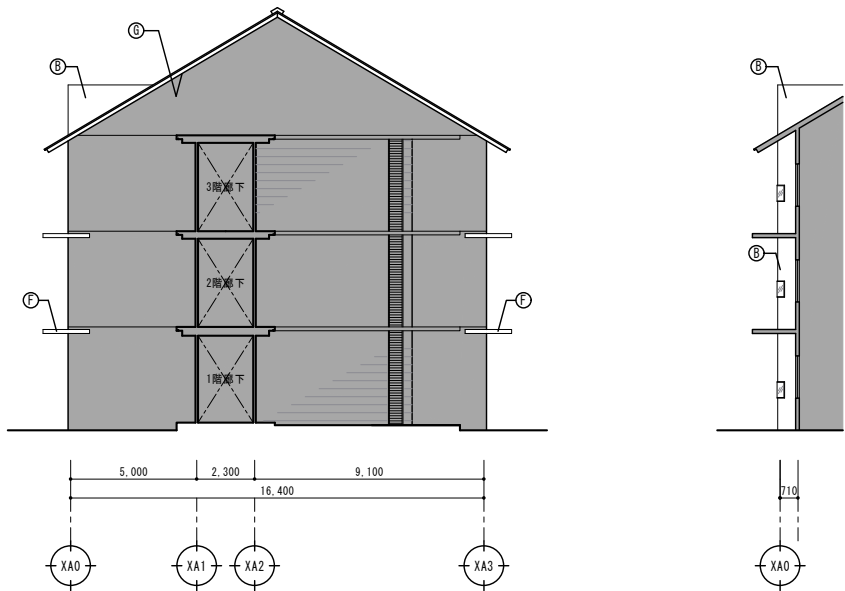
工事名	滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事	NO.	A-17	立面図
SCALE	S=1/150 (A3:1/300)			【学科棟（B-5棟）】
DATE	2024.01			



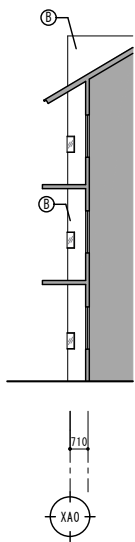
北一立面図 S=1/150



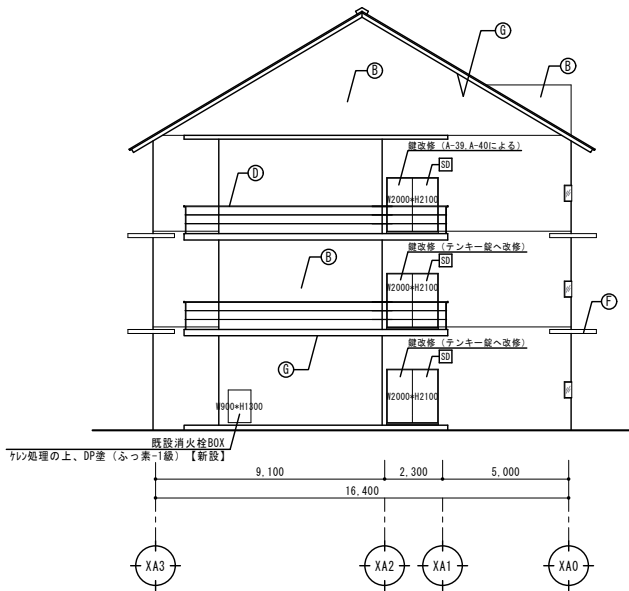
南一立面図 S=1/150



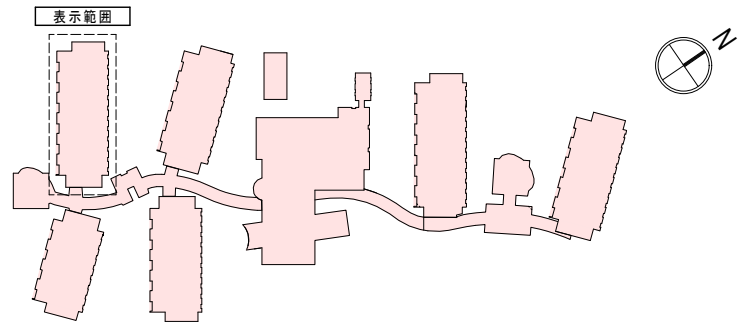
東一立面図 S=1/150



東（西）一立面図 S=1/150



西一立面図 S=1/150



全体キープラン

■仕上表

記号	部位	【現況】	【改修後】
Ⓐ	屋根	和瓦【一部撤去、処分】	和瓦53A型【一部新設】（A-21・A-22詳細図による）
Ⓑ	外壁	砂壁状複層塗材吹付【存置】	水洗い・清掃の上、特殊モリタリコン樹脂系塗替え用仕上材【新設】
Ⓒ	外壁	せっき質ターザル貼【存置】	水洗い・清掃
Ⓓ	手摺	ｽﾁｰﾙパイプ加工 34.0φ、27.2φ【撤去、処分】	ｽﾁｰﾙ【新設】（A-20詳細図による）
Ⓔ	壁柱	ｽﾁｰﾙφ76.3 SOP【存置】	ｸﾚﾝ処理の上、DP塗（ｸﾚﾝ3級）【新設】（上部端除け削山 設置）
Ⓕ	庇	金ｺﾞ押えの上、塗膜防水【存置】	水洗い・清掃の上、下地処理（C-1）及び、塗膜防水（X-2）【新設】
Ⓖ	軒裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修の上、ｼﾝｸﾞﾙ吹付【存置】	水洗い・清掃の上、下地処理（C-1）及び、外装薄塗材E【新設】

- 【特記事項】
- ・外部サッシのクリーニング（ガラス面含む）及び周囲のシール打替えを行うこと。※水切り下シールも含む
 - ・ガラス面は遮熱フィルム【新設】とする。（既設ガラスが網入りの場合、ガラス破損の恐れがあるため、フィルム施工は無しとする）
 - ・躯体打継目地のシール打替えを行うこと。
 - ・軒先、ケラバ、鼻隠し改修についてはA-21・A-22詳細図による。
 - ・SS は工事範囲外、現況のままの部分を示す。（改修済み範囲）
 - ・SS はｸﾚﾝ処理の上、DP塗（ふっ素1級）【新設】とする。
 - ・外壁クラック処理は全体面積の3%程度見込むこと。（27㎡程度）
 - ・軒天クラック処理は全体面積の5%程度見込むこと。（13㎡程度）
 - ・和瓦撤去、処分及び、新設は全体の10%程度見込むこと。（90㎡程度）
 - ・北面壁軸回転窓は、ロック不良箇所調査の上、修理（交換）を見込むこと。（11ヶ所程度）

令和 6 年 1 月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



KATABUCHI ARCHITECTS OFFICE
株式会社 片淵建築事務所
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 ラー244
一級建築士 第247417号 野田 昌生

工事名 滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事
SCALE S=1/150 (A3:1/300)
DATE 2024.01

NO.
A-18

立面図
【学科棟（B-6棟）】



KAWABUCHI ARCHITECTS OFFICE
株式会社 片淵建築事務所
一級建築士事務所 一級建築士 第24717号 野田 昌生

滋賀県立大学環境科学部環境・外壁等改修工事

工務
SCALE 3=1/20 (A1/100)
DATE 86.01

NO
A-19

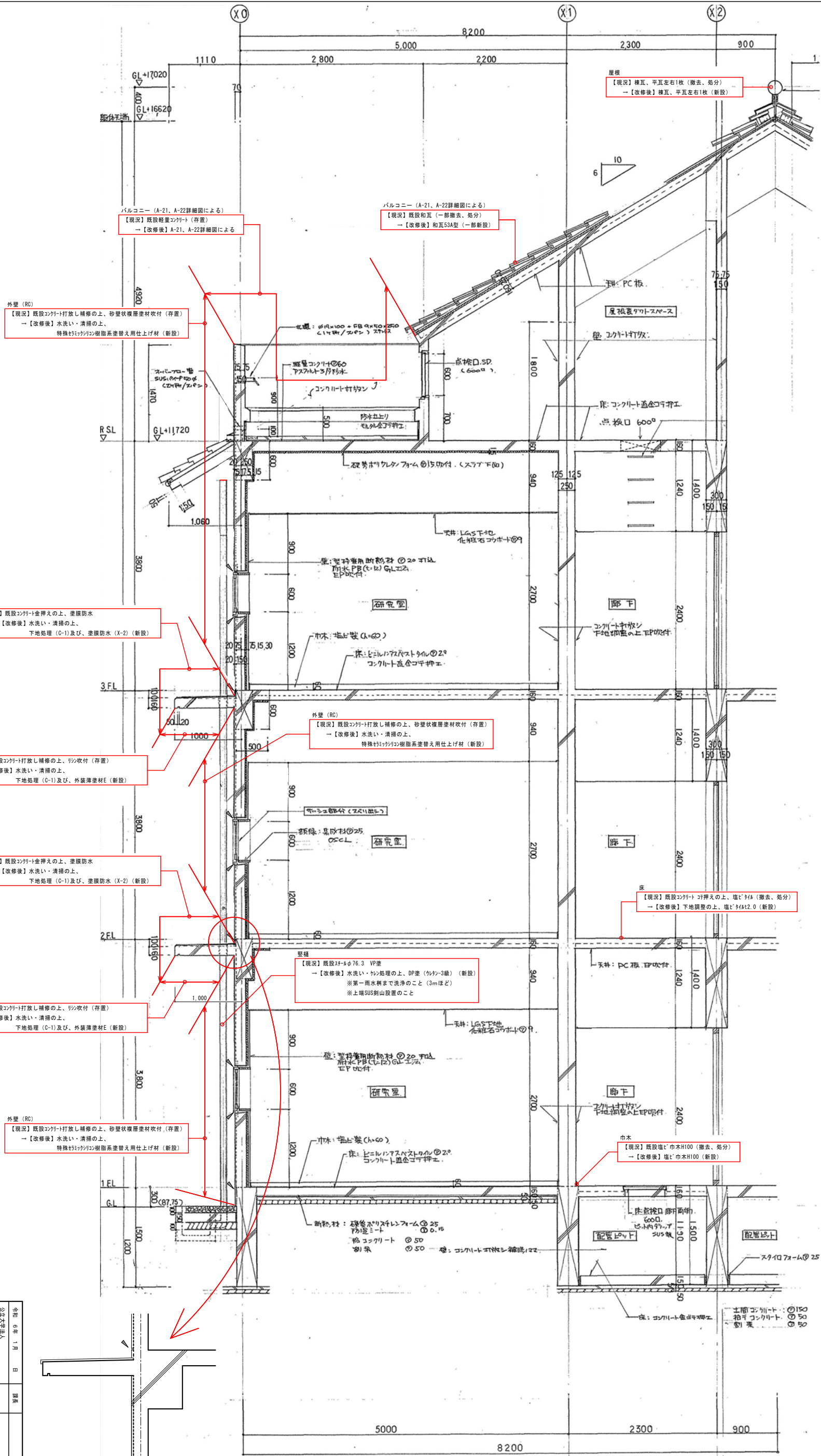
【学科棟】(A工区、B工区共通)

図面
令和 6年 1月 日 図紙
公認大学入
滋賀県立大学 事務局
図員
担当

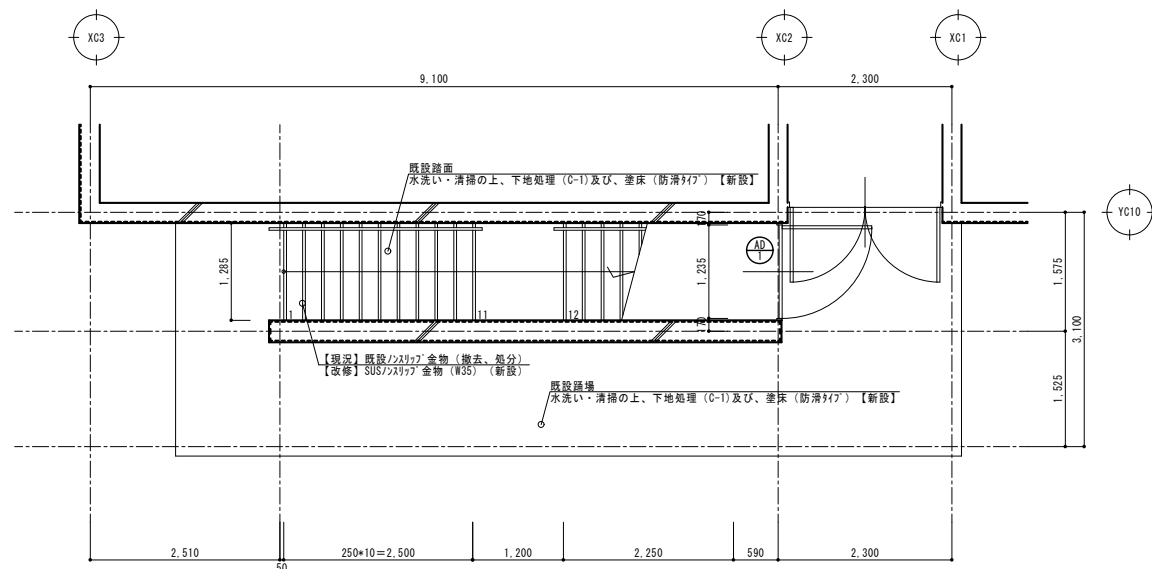
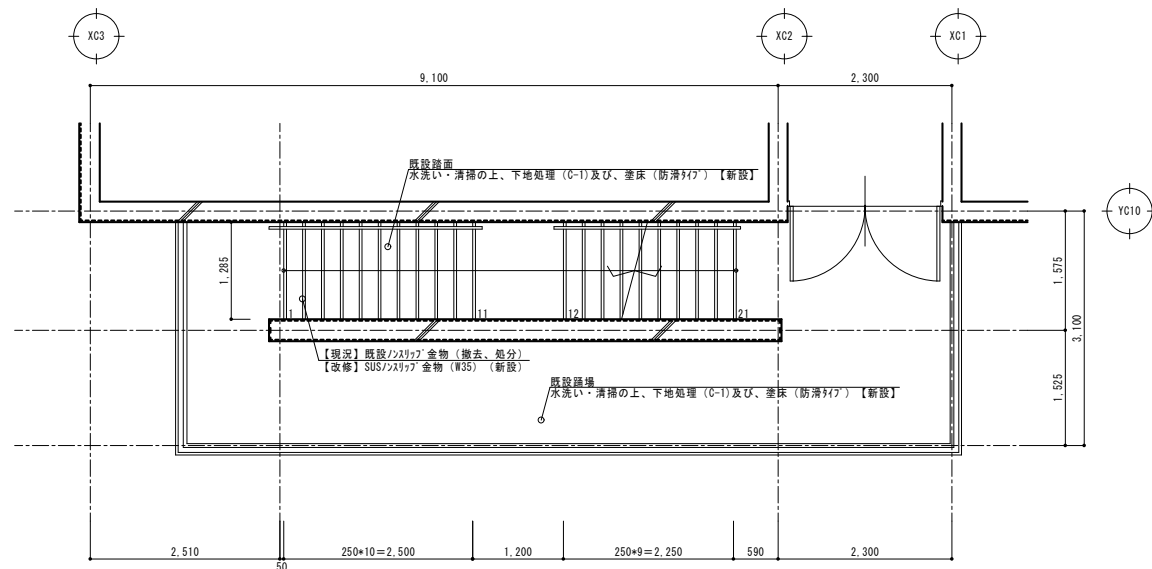
図面
A-19

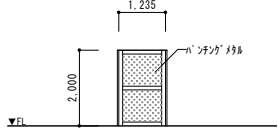
図面
A-19

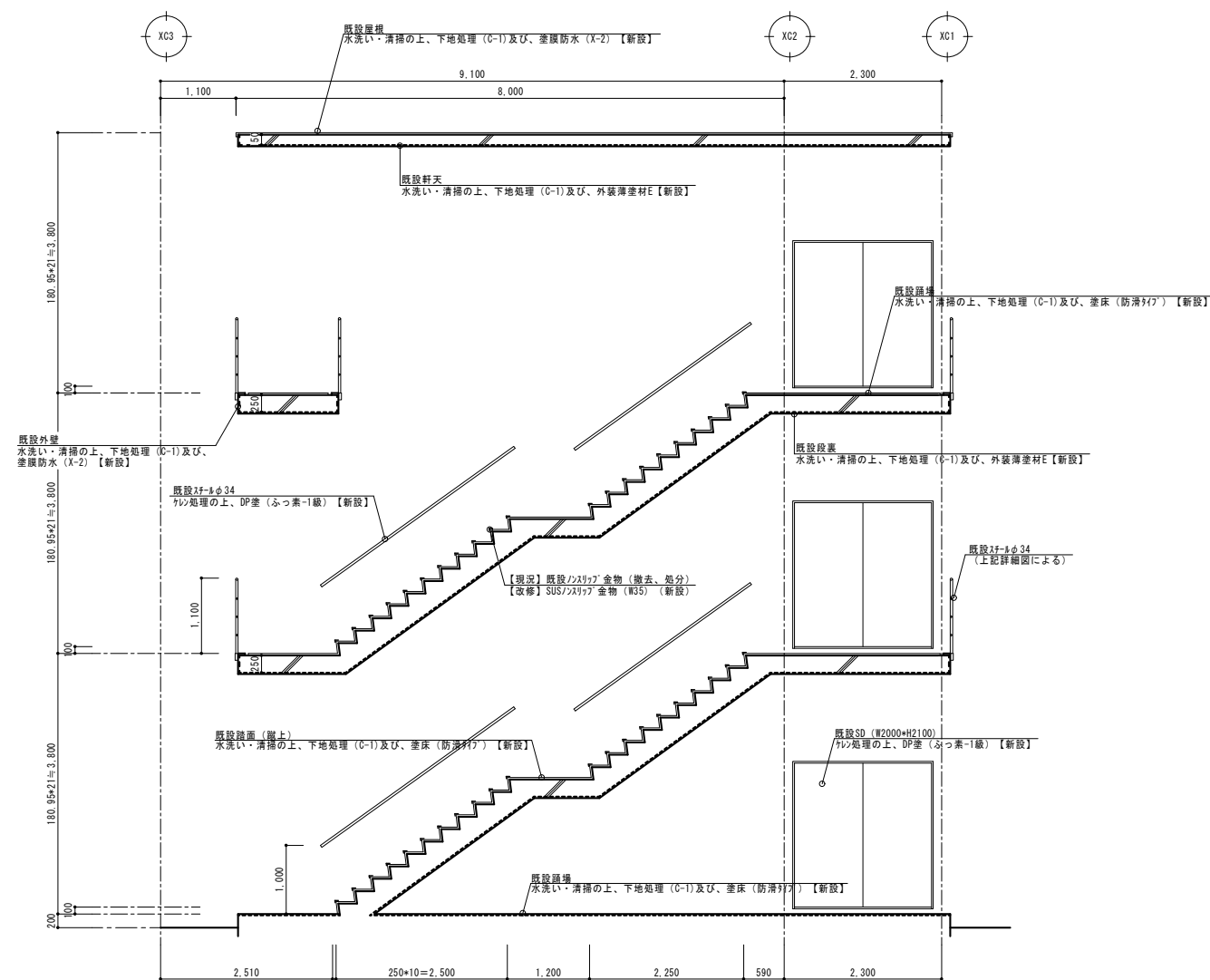
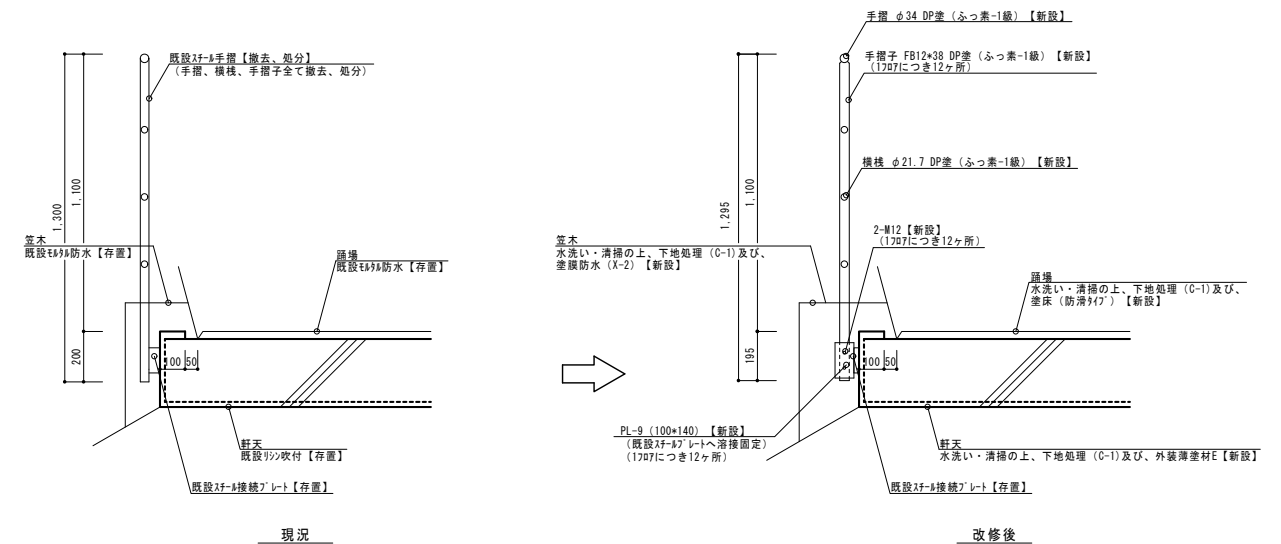
図面
A-19



- 特記事項
- ・ はシール打替箇所を示す(躯体打替目地シールとも)
 - ・ は今回の改修項目を示す
 - ・ 内部改修内容は各階共通とする
 - ・ 特記ないものは現況のままとする



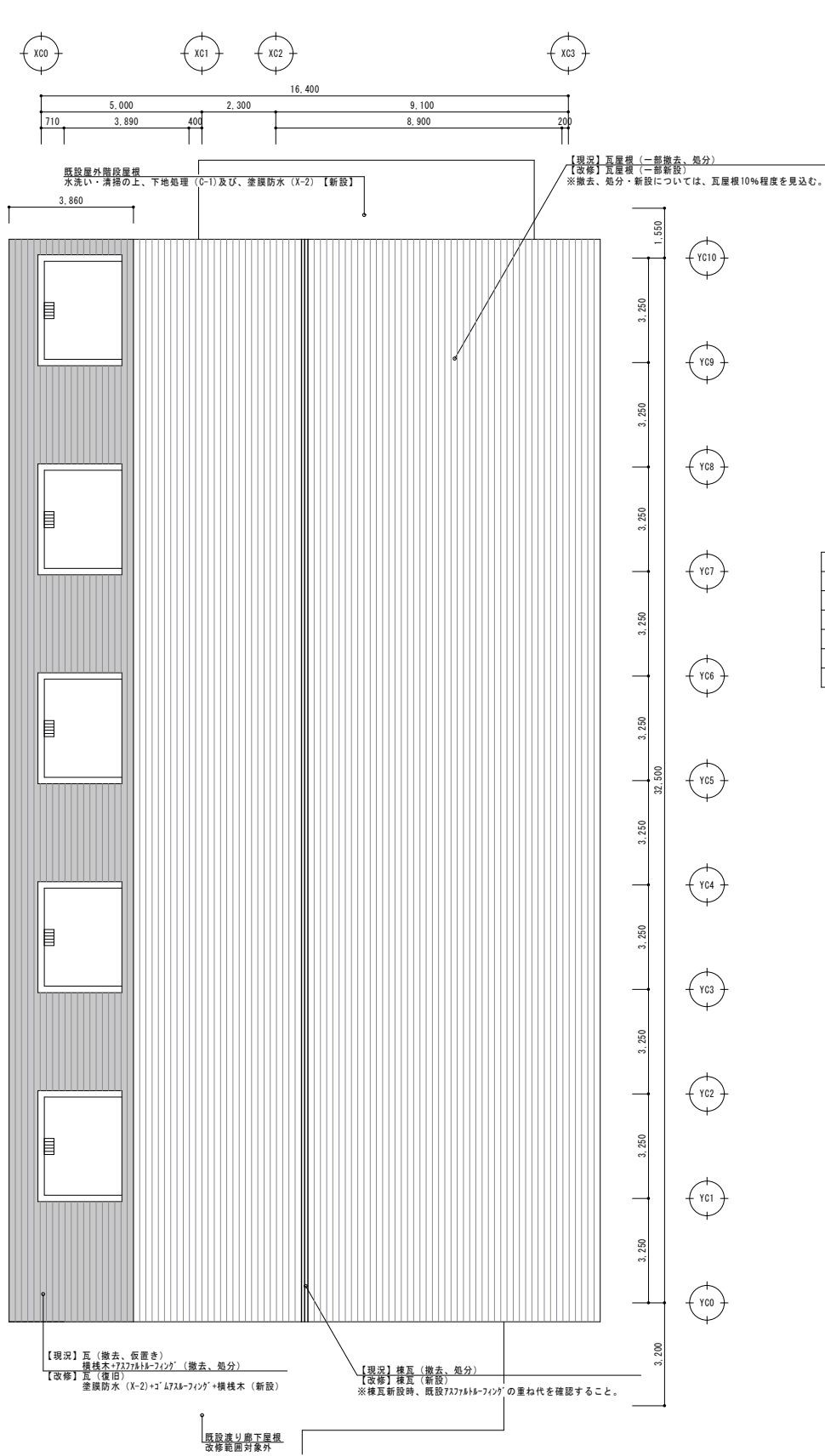
【改修】建具リスト		S=1/100	
符 号	 7段片開き戸		
見込	数量	40	6 (B1～B6棟各1Fに1ヶ所)
要 図			
室 名	屋外階段 (B1～B6棟)		
仕 上	鉄-7段		
確 子	-		
金 物	2方枠、丁番、シリンダー錠、付属金物一式		
備 考			



■ 特記事項

- ・改修内容は、各学科棟屋外階段共通とする
- ・特記ないものは現況のままとする

令和 6 年 1 月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



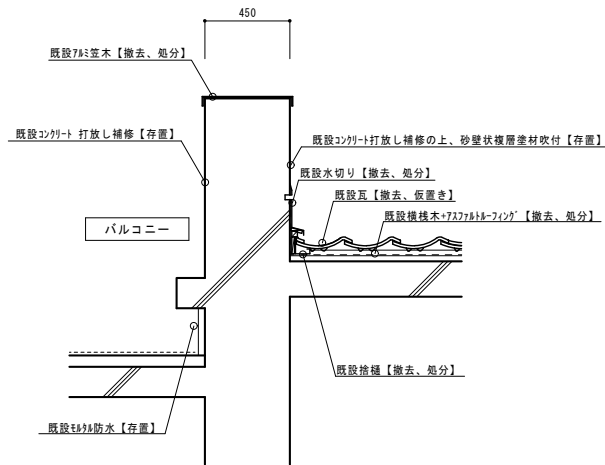
既設室外機ジャッキアップ数量表	
機番号	室外機数
B-1機	0ヶ所
B-2機	2ヶ所
B-3機	2ヶ所
B-4機	4ヶ所
B-5機	2ヶ所
B-6機	10ヶ所

【現況】バルコニー伏図 S=1/30

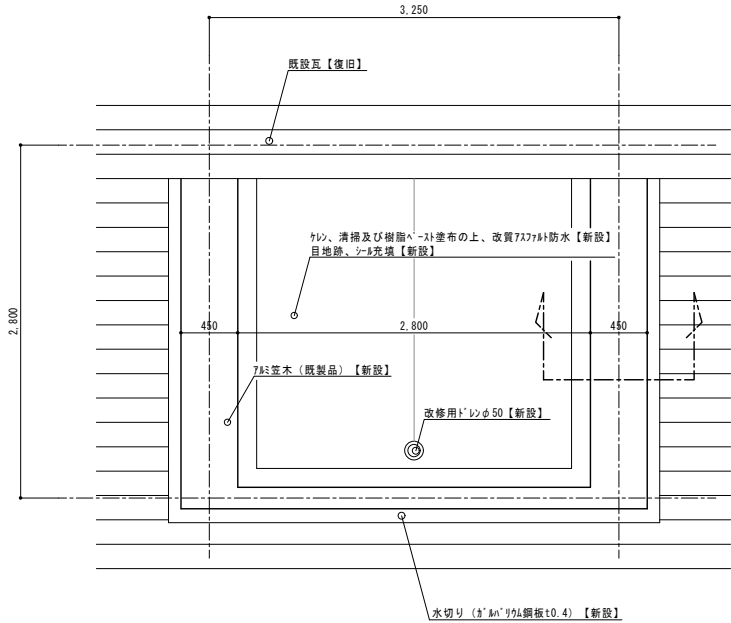
※既設室外機ジャッキアップを見込むこと

凡 例 (バルコニー伏図)

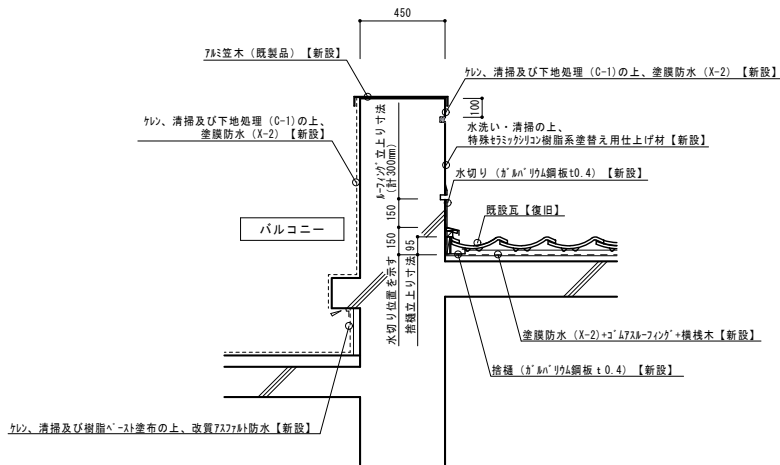
既設水切り撤去、処分範囲を示す



【現況】バルコニー外壁納まり詳細図 S=1/20



【改修】バルコニー伏図 S=1/30



【改修】バルコニー外壁納まり詳細図 S=1/20

■特記事項

- ・改修内容は、各学科棟屋外階段共通とする
- ・特記ないものは現況のままとする

令和 6年 1月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



KATABUCHI ARCHITECTS OFFICE
株式会社 片淵建築事務所
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 ラー244
一級建築士 第247417号 野田 昌生

工事名	滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事		
SCALE	S=1/20, 30, 100 (A3: 1/40, 60, 200)		
DATE	R6.01		

NO.
A-21

部分詳細図-1

【学科棟】(A工区、B工区共通)

■ 特記事項

- ・ 改修内容は、各学科棟屋外階段共通とする

- ・ 特記ないものは現況のままとする

バルコニー詳細図-1 S=1/20

S=1/20

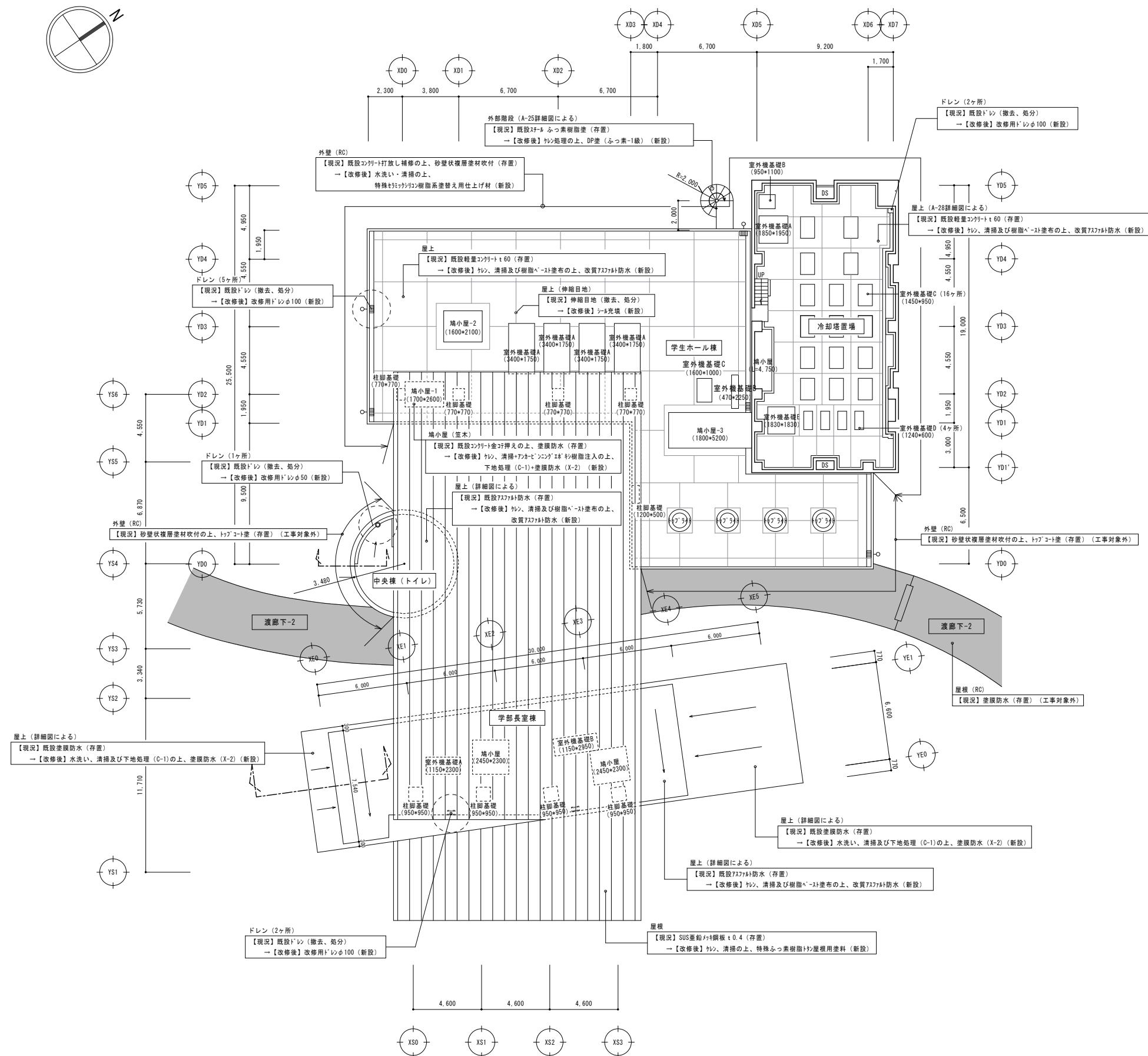
S=1 / 20

令和 6 年 1 月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			

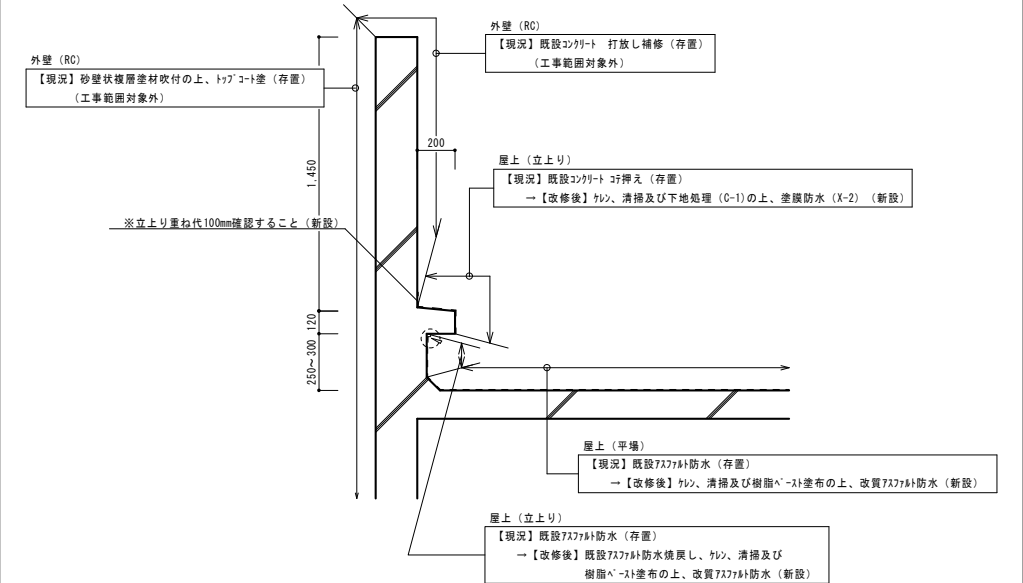


部分詳細図-2

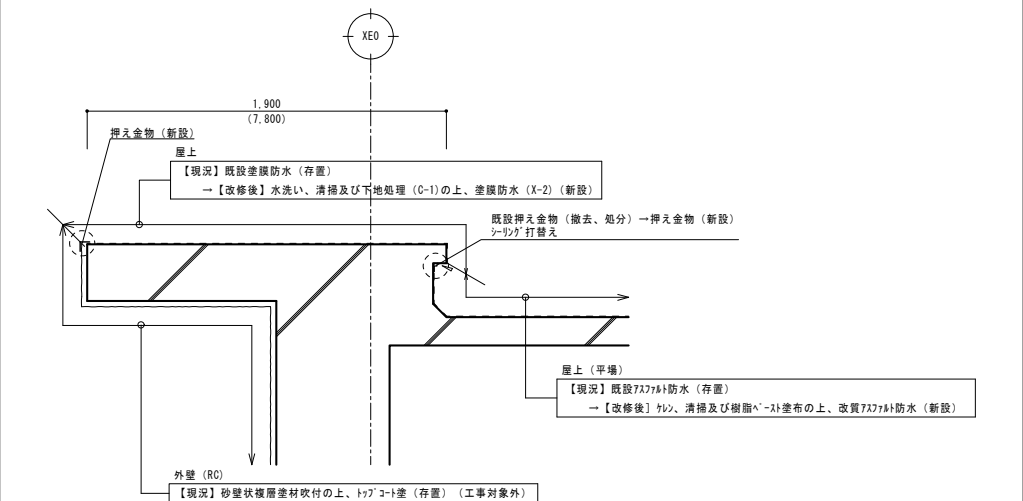
【学科棟】(A工区、B工区共通)



S=1/20

 $S=1/20$

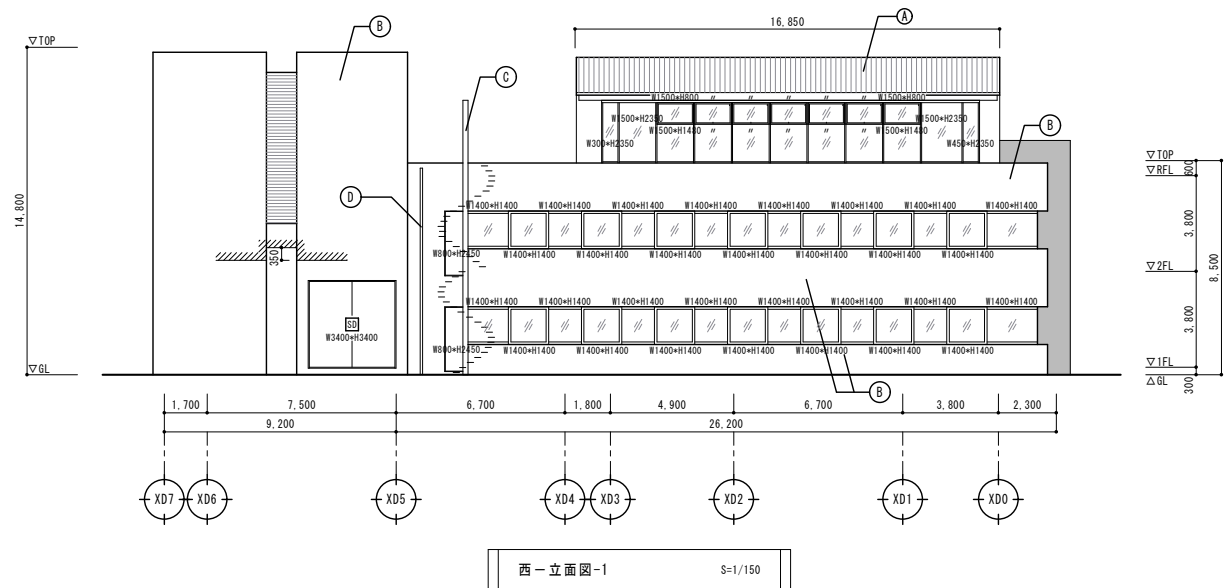
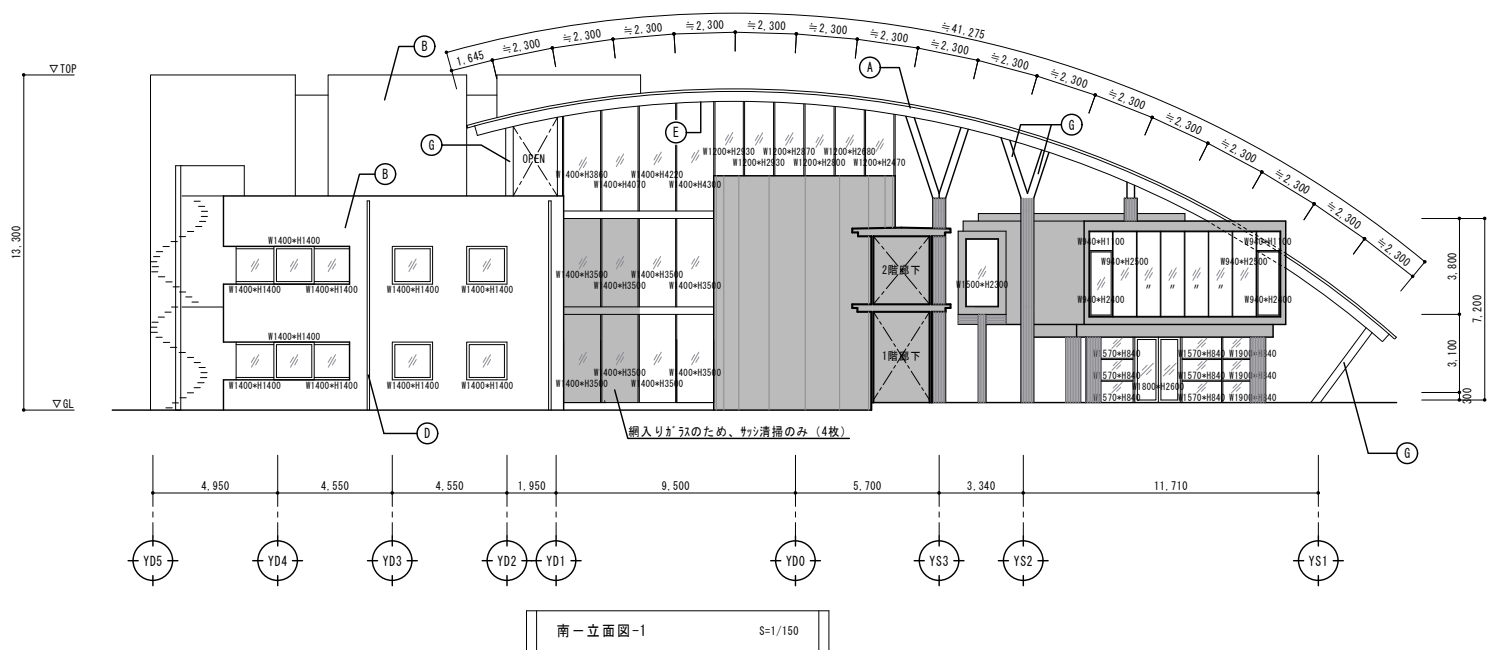
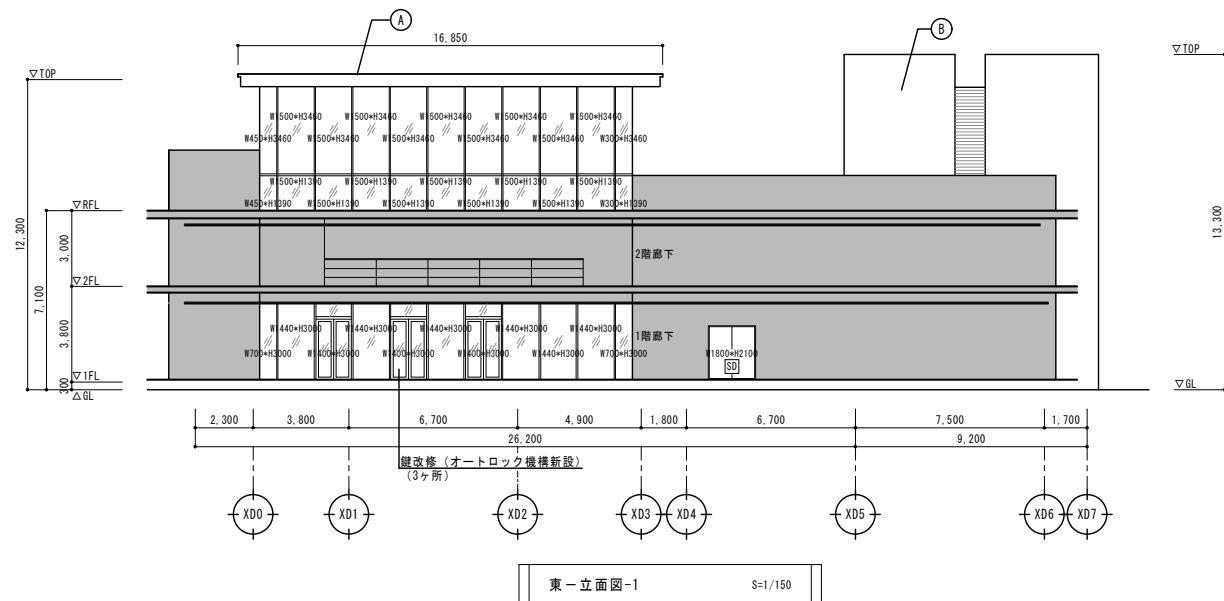
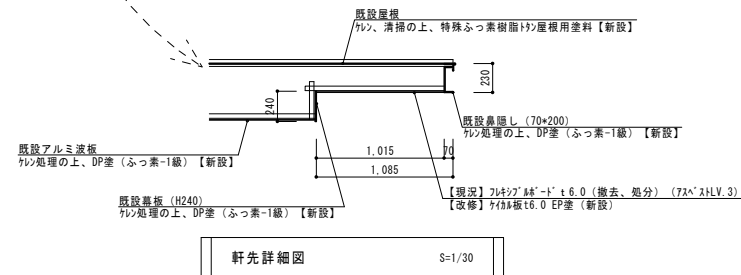
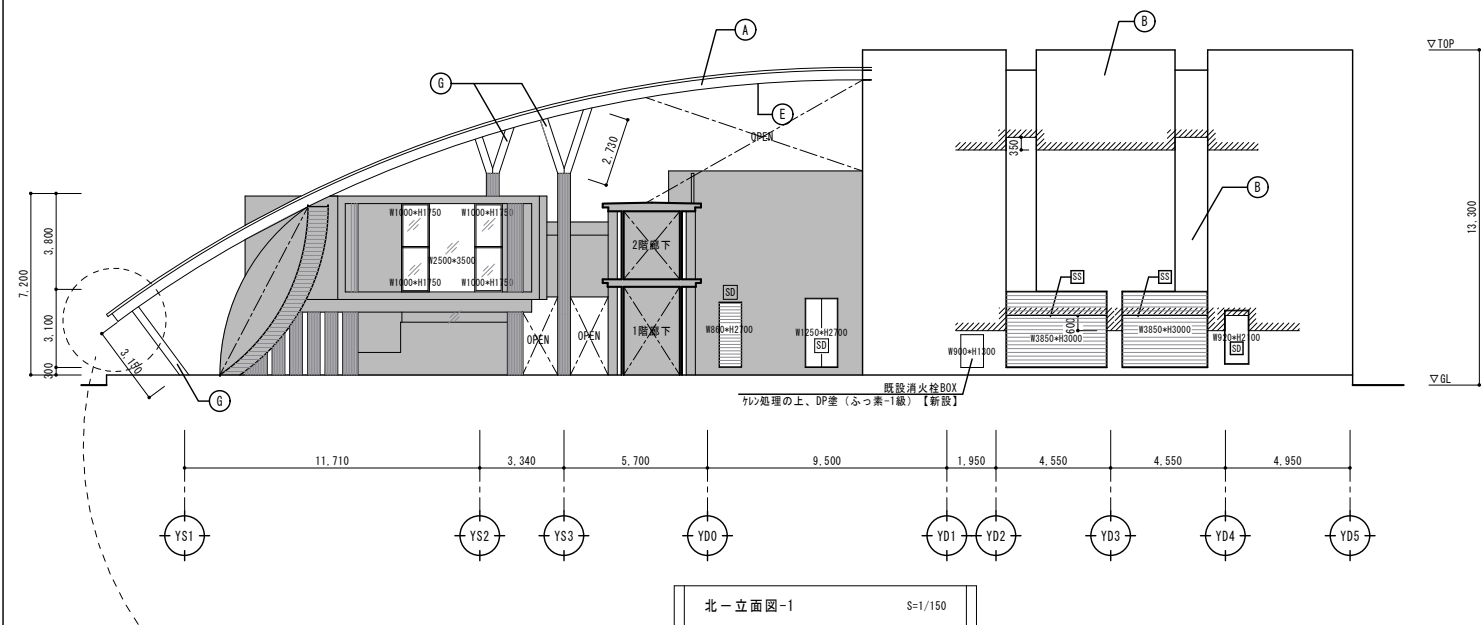
※ (7.800) はXE4通り寸法を示す



■ 特記事項

- ・  は特記ない限り工事範囲外、現況のままの部分を示す
-
- ・ 内部については特記のない限り改修対象外、現況のままとする。

令和 6 年 1 月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



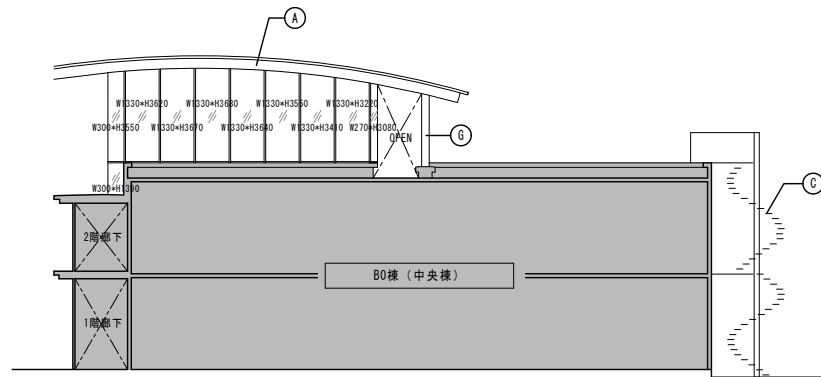
■ 仕上表

記号	部位	【現況】	【改修後】
(A)	屋根	SUS亜鉛メッキ鋼板 t 0.4 【存置】	ケシ、清漆の上、特殊ふっ素樹脂トリソル屋根用塗料【新設】 (A-25詳細欄による)
(B)	外壁	砂壁状複層窯業材付【存置】	水洗い・清漆の上、 特殊めりけりソル樹脂窯業塗替用仕上り材【新設】
(C)	階段	スチール ふっ素樹脂塗【存置】	ケシ処理の上、DP塗（ふっ素-1級）【新設】 (A-25詳細欄による)
(D)	堅壁	スチールφ76.3 SOP【存置】	ケシ処理の上、DP塗（ケリソ-3級）【新設】
(E)	軒表	78S波板【存置】	ケシ処理の上、DP塗（ふっ素-1級）【新設】
(F)	軒裏	7L477 78S-1 t 6.0【撤去、処分】 (78A 78L1V.3) LGS下地【撤去、処分】	ケシ板 t 6.0 EP塗【新設】 LGS下地【新設】
(G)	柱	スチールφ300程度 ふっ素樹脂塗【存置】	ケシ処理の上、DP塗（ふっ素-1級）【新設】

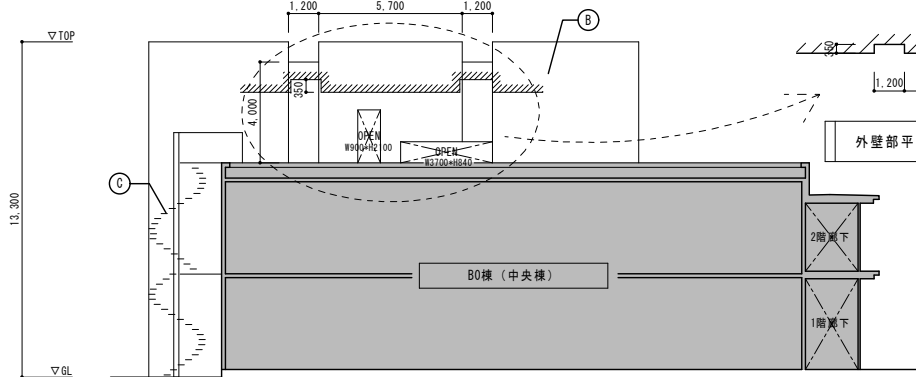
[特記事項]

- ・外壁改修範囲外部サッシのクリーニング（ガラス面含む）及び周囲のシール打替えを行うこと。※水切り下シールも含む
・ガラス面は遮熱フィルム【新設】とする。
（既設ガラスが納入した場合、ガラス破損の恐れがあるため、フィルム施工は無しとする）
・躯体打継目地のシール打替えを行うこと。
・  は工事範囲外、現状のままの部分を示す。（改修済み範囲）
・  はパッキン処理のみ、DP塗（ふっ素系-緑）【新設】とする。
・ 外壁クラック処理は全体面積の3%程度見込むこと。（30㎡程度）

令和 6 年 1 月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			

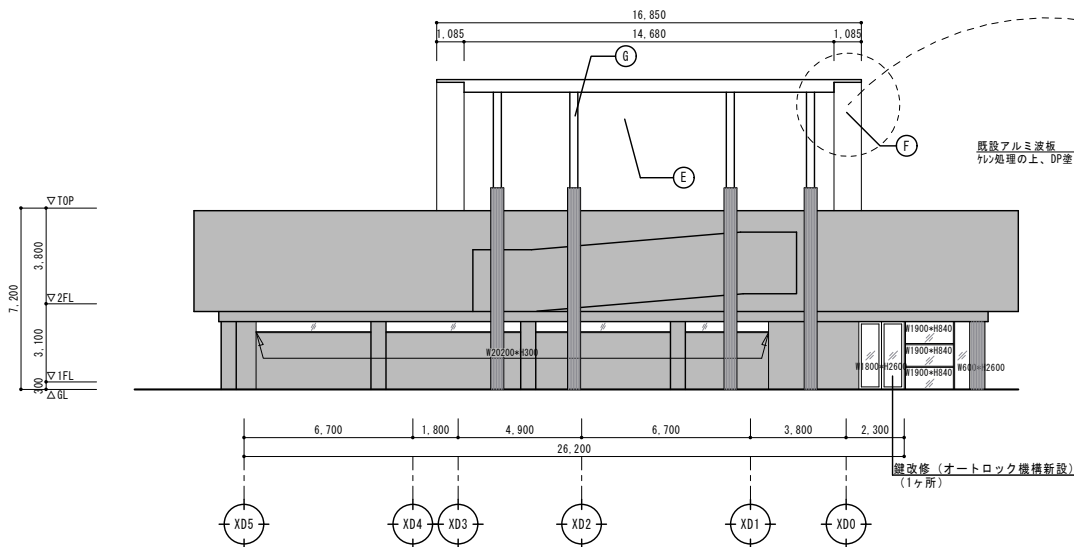


北一立面図-2 S=1/150

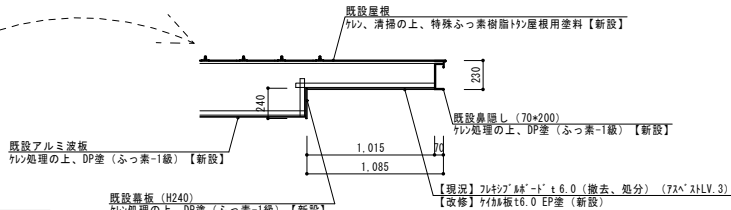


南一立面図-2 S=1/150

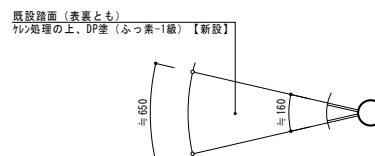
■仕上表			
記号	部位	【現況】	【改修後】
A	屋根	SUS亜鉛メッキ鋼板 t 0.4 【存置】	ケレン、清掃の上、特殊ふっ素樹脂100%屋根用塗料【新設】 (A-25詳細図による)
B	外壁	砂壁状模層塗材吹付【存置】	水洗い・清掃の上、 特殊セリシカシコン樹脂系塗替え用仕上げ材【新設】 (A-25詳細図による)
C	階段	スチール 素樹脂塗【存置】	ケレン処理の上、DP塗(ふっ素-1級)【新設】 (A-25詳細図による)
D	壁柱	スチール φ76.3 SOP【存置】	ケレン処理の上、DP塗(ケレン-3級)【新設】
E	軒裏	7M波板【存置】	ケレン処理の上、DP塗(ふっ素-1級)【新設】
F	軒裏	フレイグ 66'-D' t 6.0 【撤去、処分】 (7A' x 1H'LV.3) LGS下地【撤去、処分】	ケレン板 t 6.0 EP塗【新設】 LGS下地【新設】
G	柱	スチール φ300程度 素樹脂塗【存置】	ケレン処理の上、DP塗(ふっ素-1級)【新設】
【特記事項】			
・外壁改修範囲外部サッシのクリーニング(ガラス面含む)及び周囲のシール打替えを行うこと。※水切り下シールも含む			
・ガラス面は遮熱フィルム【新設】とする。 (既設ガラスが網入りの場合、ガラス破損の恐れがあるため、フィルム施工は無しとする)			
・躯体打継目地のシール打替えを行うこと。			
・  は工事範囲外、現況のままの部分を示す。(改修済み範囲)			
・  はケレン処理の上、DP塗(ふっ素-1級)【新設】とする。			
・外壁クラック処理は全体面積の3%程度見込むこと。(30m程度)			



西一立面図-2 S=1/150



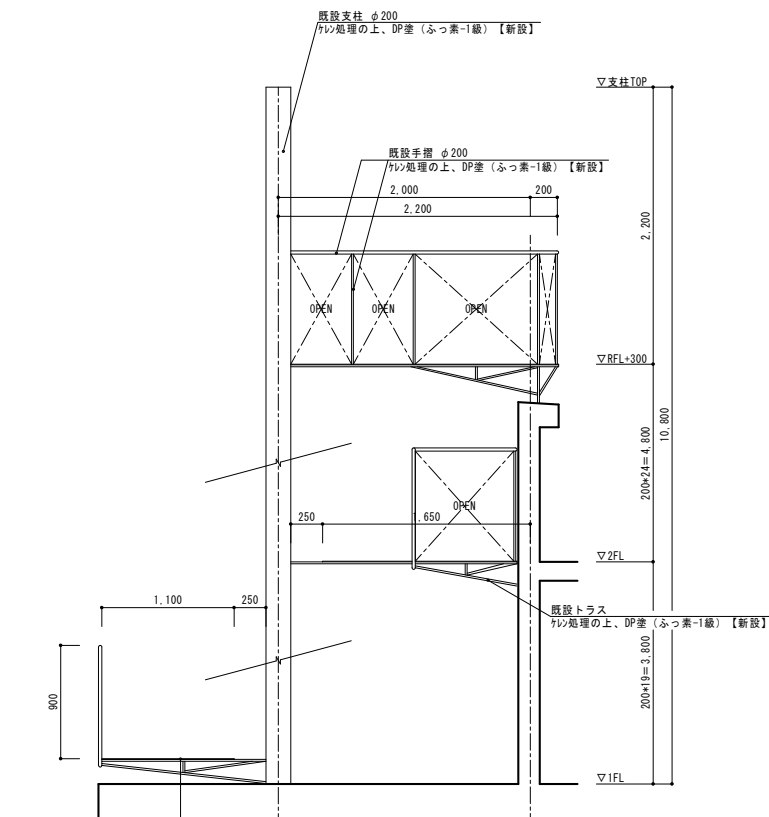
クラブ詳細図 S=1/30



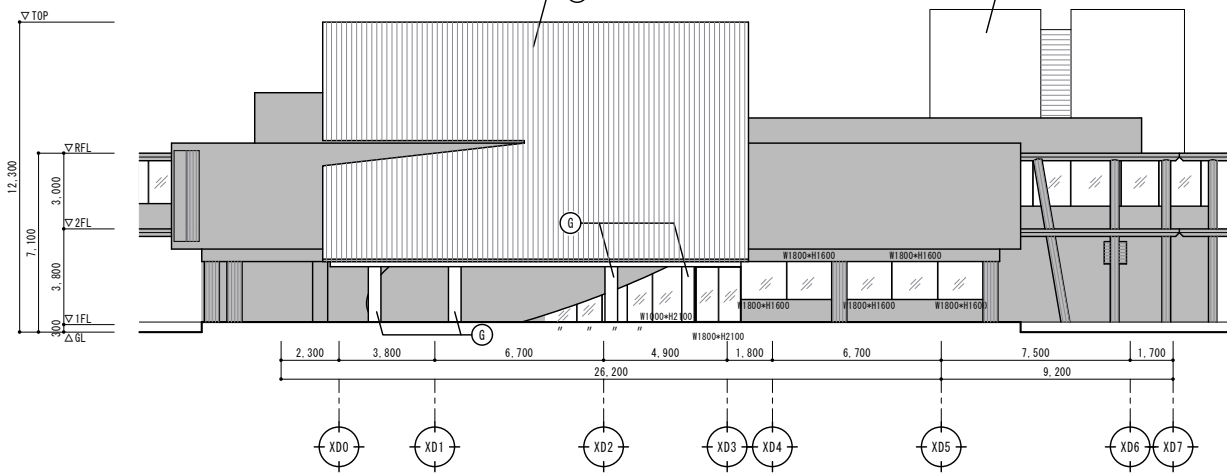
階段踏面部分詳細図 S=1/30



外部階段参考写真



階段部分詳細図 S=1/30



東一立面図-2 S=1/150

令和 6年 1月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			

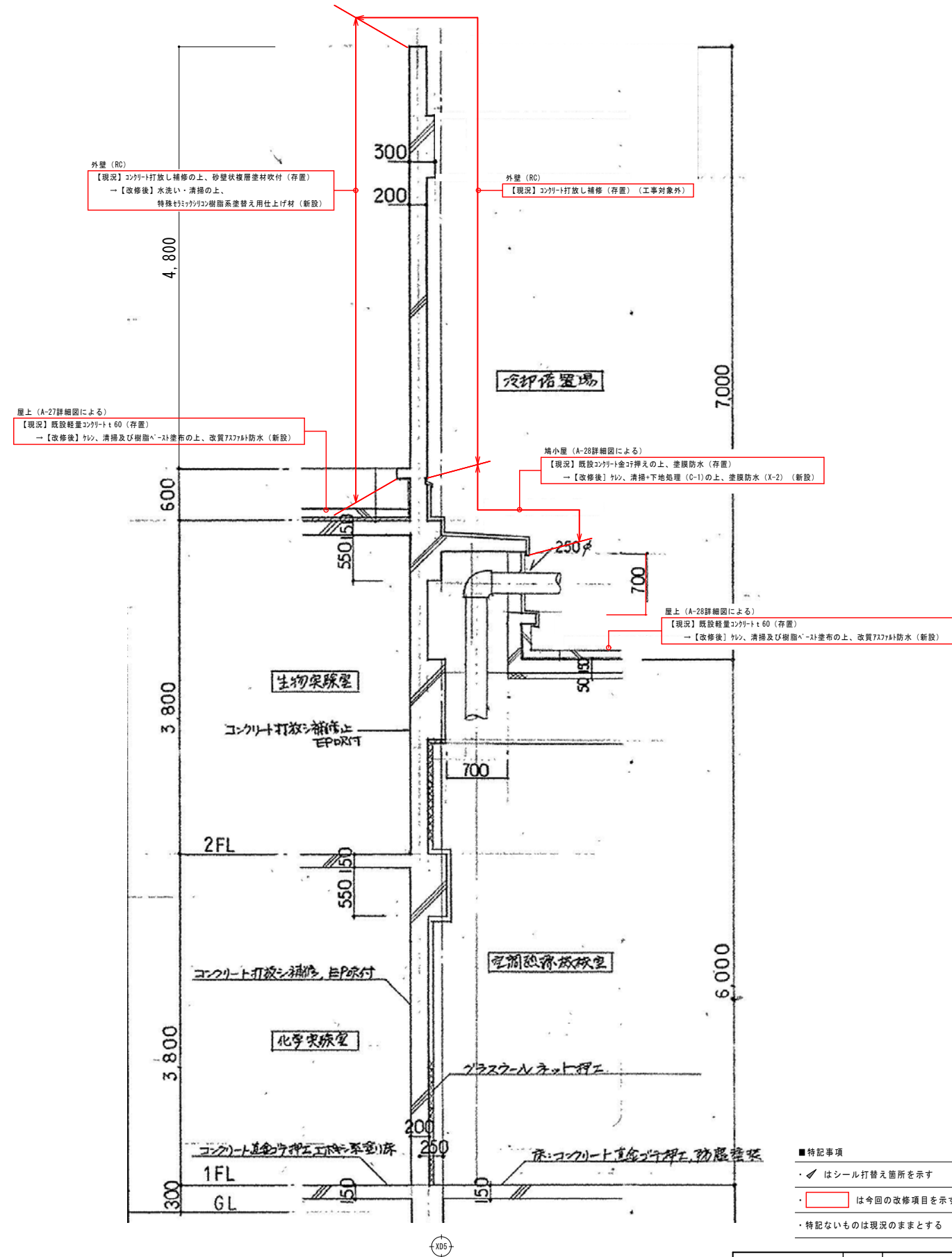
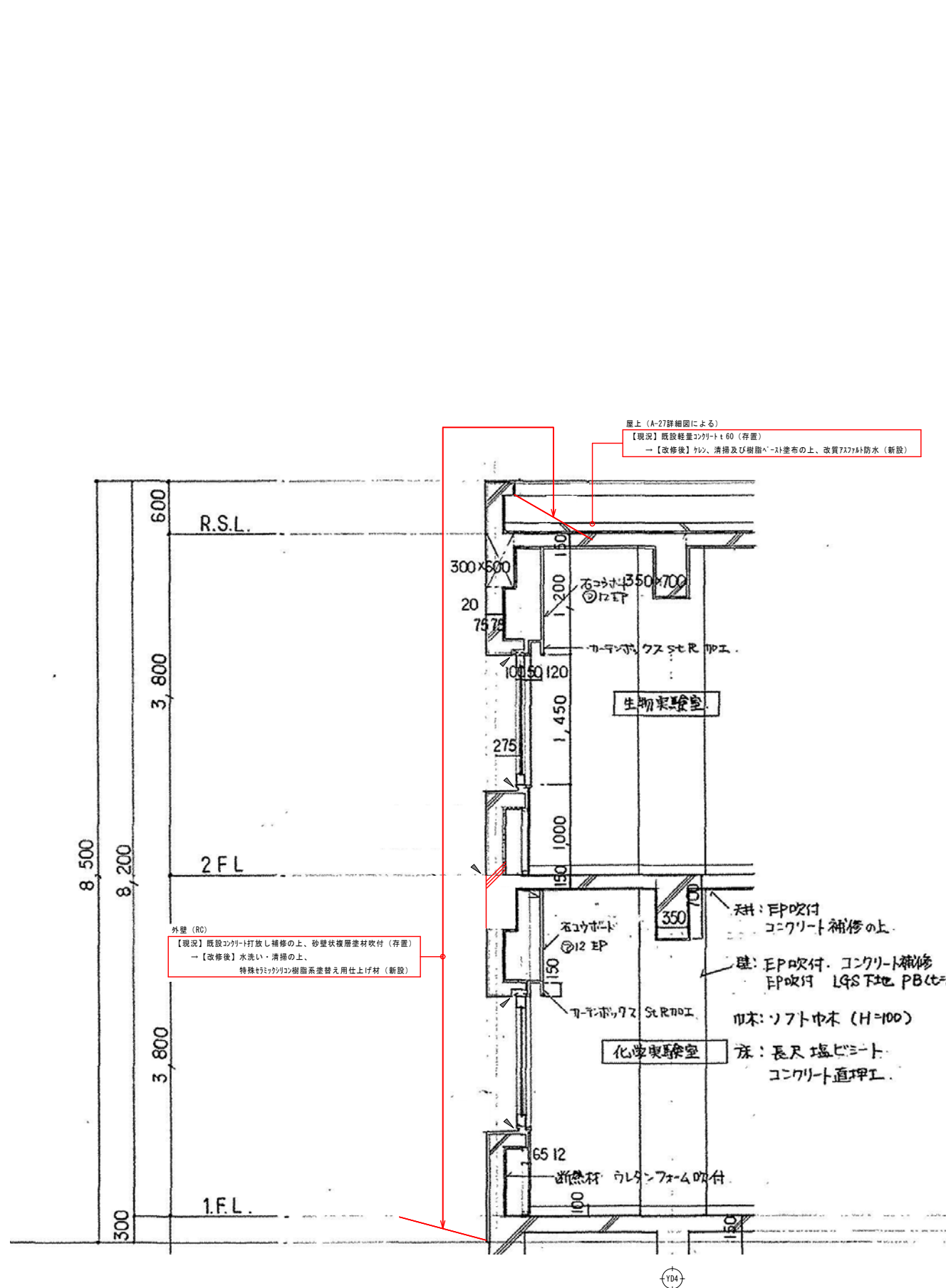


KATABUCHI ARCHITECTS OFFICE
株式会社 片淵建築事務所
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第244号
一級建築士 第247417号 野田 昌生

工事名 滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事
SCALE S=1/30, 150 (A3:1/40, 300)
DATE 2024.01

NO.
A-25

立面図-2
【B0棟(中央棟)】



- 特記事項
- ✓ はシール打替え箇所を示す
 - は今回の改修項目を示す
 - ・ 特記しないものは現況のままとする

令和 6 年 1 月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			

パラペット詳細図【B0棟】

S=1/20

トップライト詳細図【B0棟】

S=1/20

室外機基礎詳細図【B0棟】

S=1/20

屋上（立上り）

【現況】既設コンクリート打放し補修の上、砂壁状複層塗材吹付（存置）
→【改修後】水洗い・清掃の上、特殊複ミッドラン樹脂系塗替え用仕上げ材（新設）

シーリング打替え

屋上（立上り）

【現況】既設防水（存置）
→【改修後】ケレン、清掃及び樹脂ペーパー塗布の上、改質アクリル防水（新設）

150～350

170

150

320

屋上（平場）

【現況】既設軽量コンクリート60（存置）
既設樹脂伸縮目地（撤去、処分）
→【改修後】ケレン、清掃及び樹脂ペーパー塗布の上、改質アクリル防水（新設）
目地跡、シール充填（新設）

室木

【現況】防水（存置）
→【改修後】ケレン、清掃及び下地処理（C-1）の上、塗膜防水（X-2）（新設）

シーリング（新設）

130

170

120

150

970

150

120

1.510

屋上（立上り）

【現況】既設防水（存置）
→【改修後】ケレン、清掃及び樹脂ペーパー塗布の上、改質アクリル防水（新設）

室木

【現況】既設防水（存置）
→【改修後】ケレン、清掃及び下地処理（C-1）の上、塗膜防水（X-2）（新設）

※改修後防水との重ね代100mm確認すること

100

150

W=0

鳩小屋詳細図【B0棟】

S=1/20

室外機基礎C詳細図【B0棟】

S=1/20

名称	W	D	H	h
鳩小屋-1	1700	2600	950	100
鳩小屋-2	1600	2100	880	100
鳩小屋-3	1800	5200	800	340

室木

【現況】既設コンクリート金釘押えの上、塗膜防水（存置）
→【改修後】ケレン、清掃+アクリル樹脂塗布の上、
下地処理（C-1）+塗膜防水（X-2）（新設）

アクリル樹脂塗布防止のため、周囲にシール処理とする。（新設）

※参考現況写真（鳩小屋-3）

260

160

W=0

160

260

120

130

H

200

h

200

80

160

160

200

200

W=0

外壁（RC）

【現況】既設コンクリート打放し補修の上、砂壁状複層塗材吹付（存置）
→【改修後】水洗い・清掃の上、
特殊複ミッドラン樹脂系塗替え用仕上げ材（新設）

シーリング（新設）

パラペット

【現況】既設防水（存置）
→【改修後】ケレン、清掃及び下地処理（C-1）の上、塗膜防水（X-2）（新設）

屋上（平場・立上り）

【現況】平場：既設軽量コンクリート60（存置）/立上り：【現況】既設防水（存置）
→【改修後】ケレン、清掃及び樹脂ペーパー塗布の上、改質アクリル防水（新設）

柱脚基礎詳細図【B0棟】

S=1/20

【現況】既設防水（存置）
→【改修後】ケレン、清掃及び下地処理（C-1）の上、塗膜防水（X-2）（新設）

120

1600+1000

120

140

270

シーリング（新設）

屋上（平場・立上り）

【現況】平場：既設軽量コンクリート60（存置）/立上り：【現況】既設防水（存置）
→【改修後】ケレン、清掃及び樹脂ペーパー塗布の上、改質アクリル防水（新設）

【現況】既設防水（存置）
→【改修後】ケレン、清掃及び下地処理（C-1）の上、塗膜防水（X-2）（新設）

120

770+770

120

200

230

350+350

B.P.Lシーリング（新設）

屋上（平場・立上り）

【現況】平場：既設軽量コンクリート60（存置）/立上り：【現況】既設防水（存置）
→【改修後】ケレン、清掃及び樹脂ペーパー塗布の上、改質アクリル防水（新設）

■特記事項

・ はシール打替え箇所を示す

・ は今回の改修項目を示す

・特記ないものは現況のままとする

令和 6 年 1 月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			

KATABUCHI ARCHITECTS OFFICE

株式会社 片淵建築事務所

一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第244号

一級建築士 第247417号 野田 昌生

工事名

滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事

NO.

A-27

部分詳細図-2

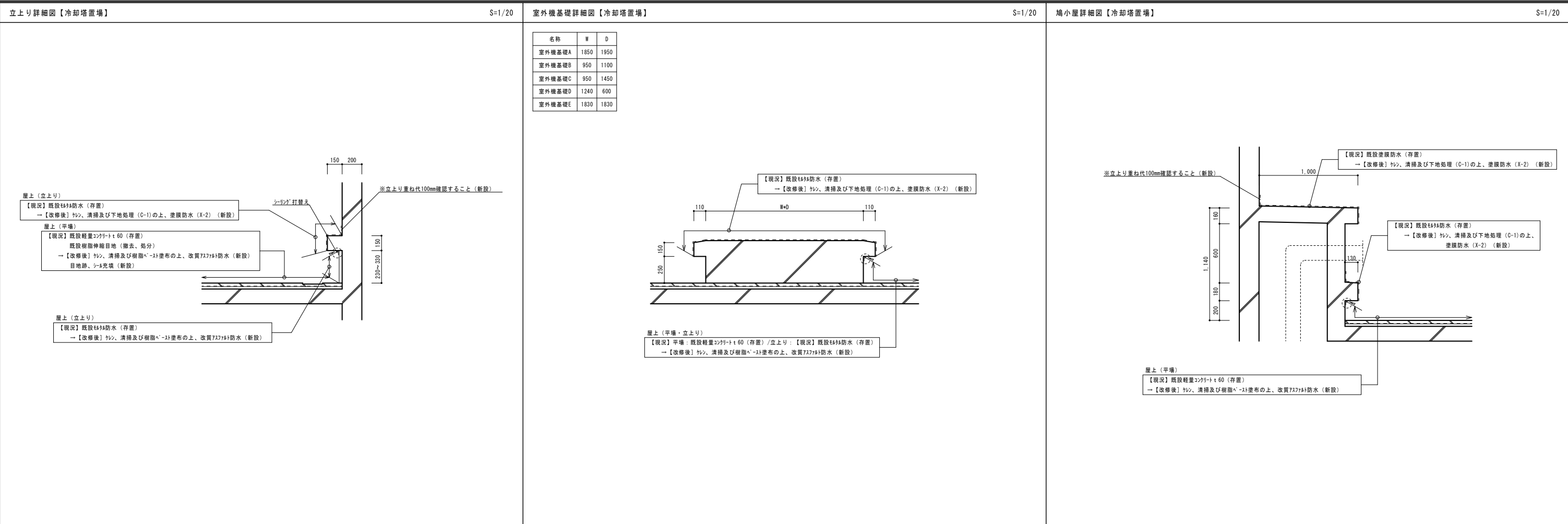
【B0棟（中央棟）】

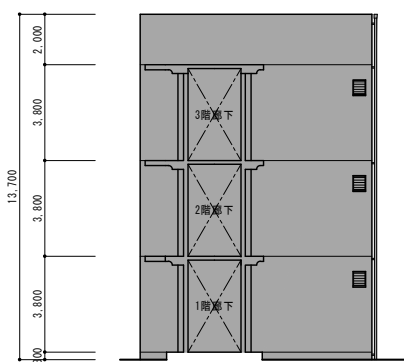
SCALE

S=1/20 (A3:1/40)

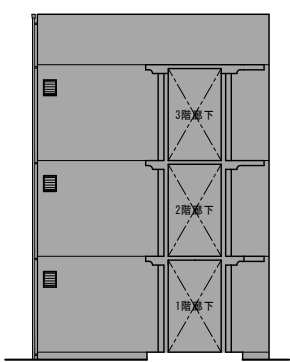
DATE

8.6.01





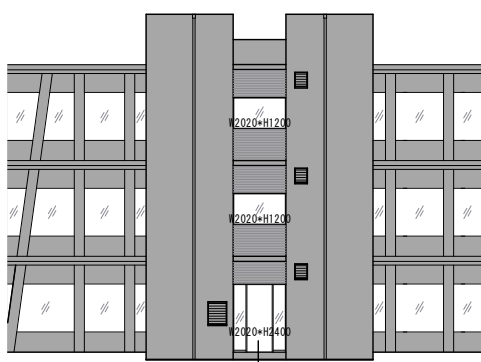
北一立面図 S=1/150



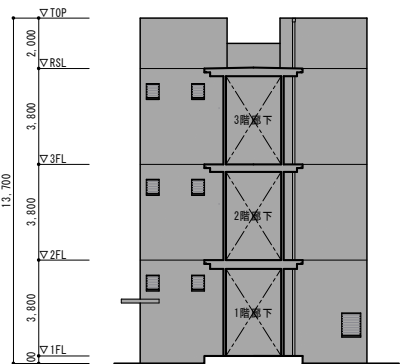
南一立面図 S=1/150



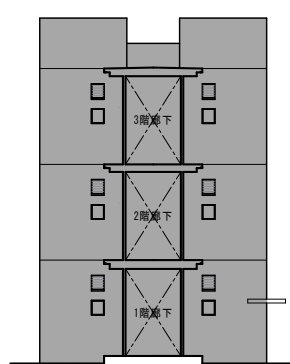
東一立面図 S=1/150



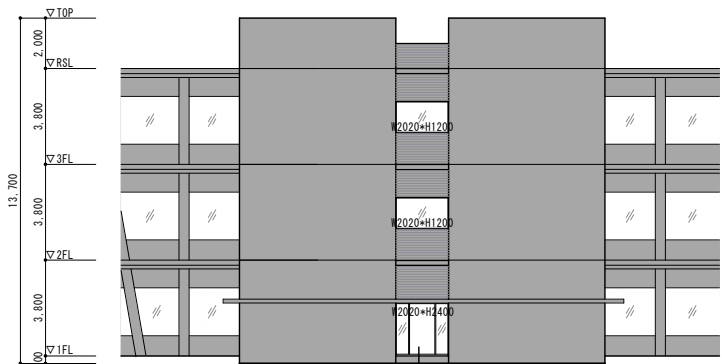
西一立面図 S=1/150



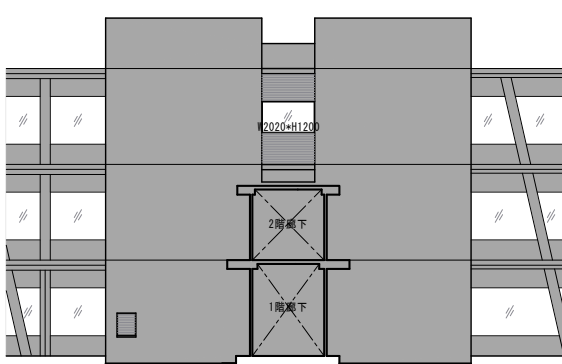
北一立面図 S=1/150



南一立面図 S=1/150



東一立面図 S=1/150



西一立面図 S=1/150

■特記事項

・コア-1、コア-2は屋上、遮熱フィルム【新設】のみ改修範囲とし、立面図は参考とする（屋上改修については、A-29詳細図による）

・ は工事範囲外、現況のままの部分を示す。（改修済み範囲）

令和 6年 1月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			

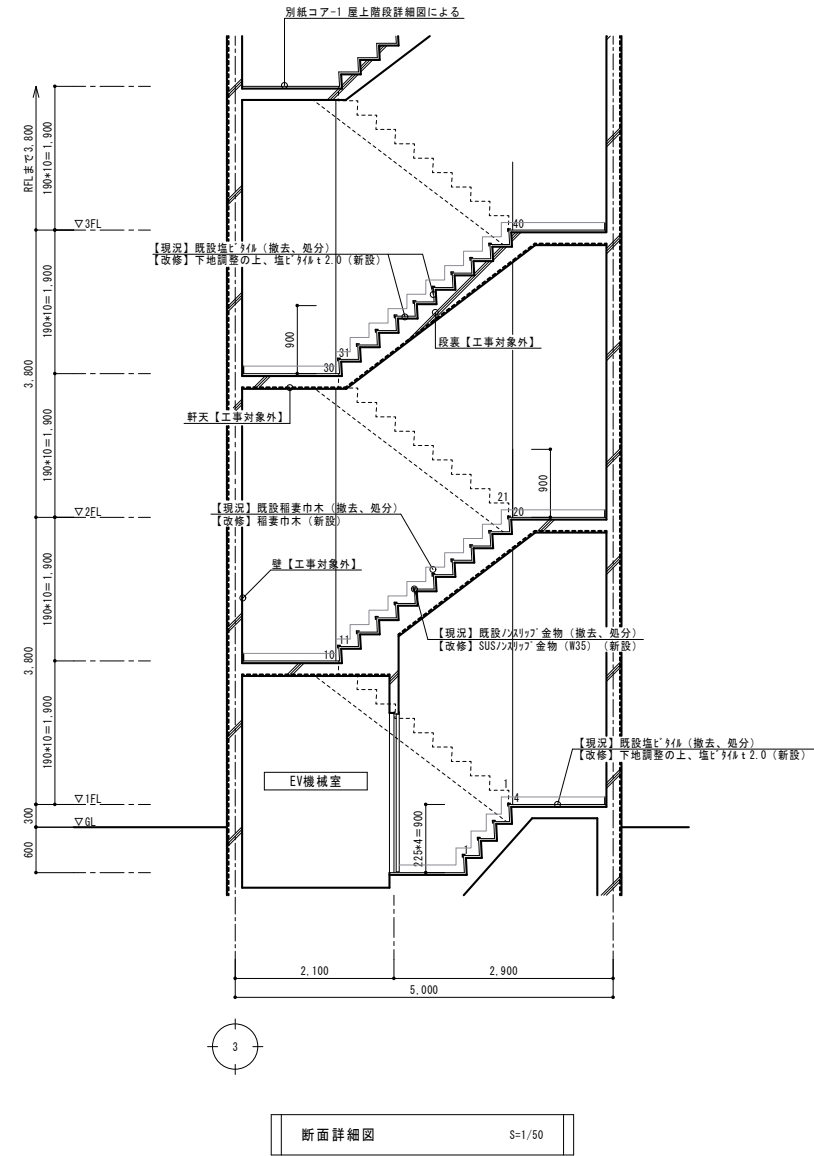
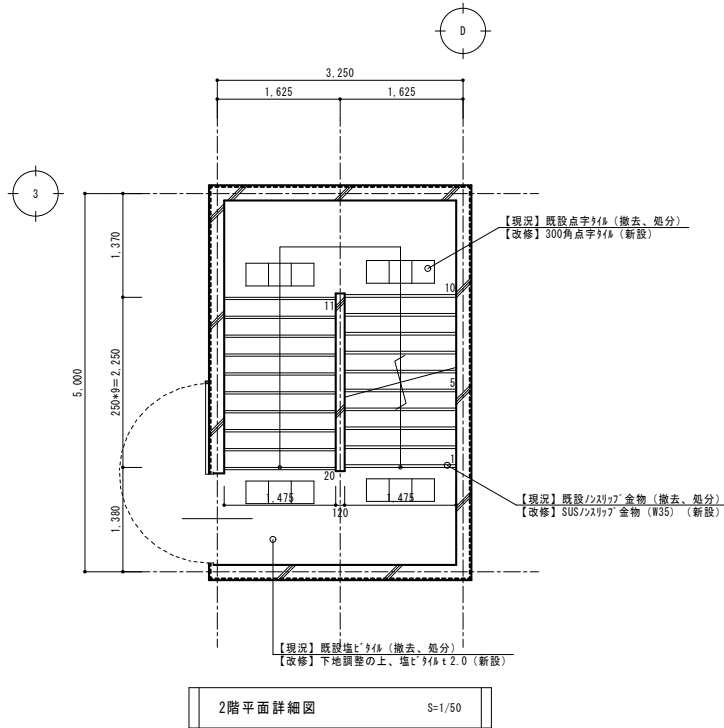
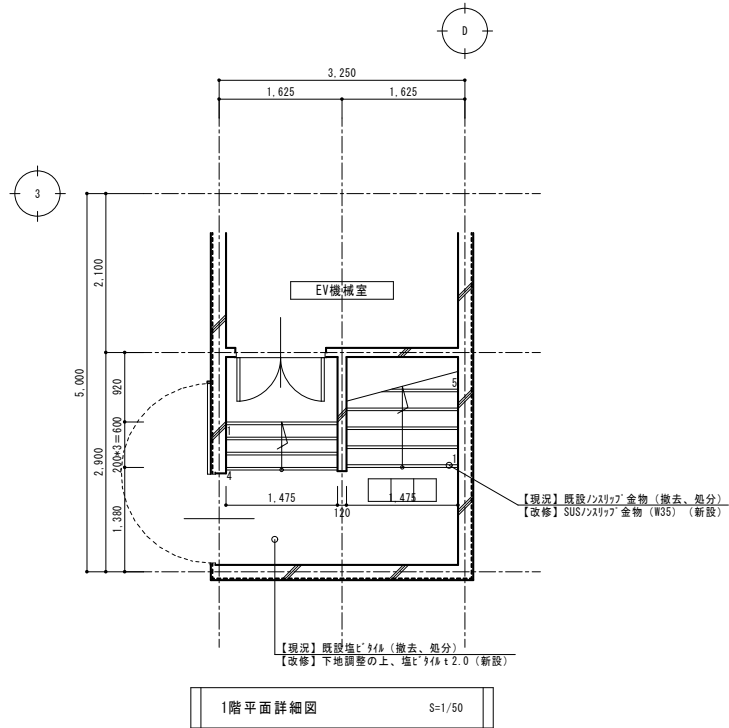
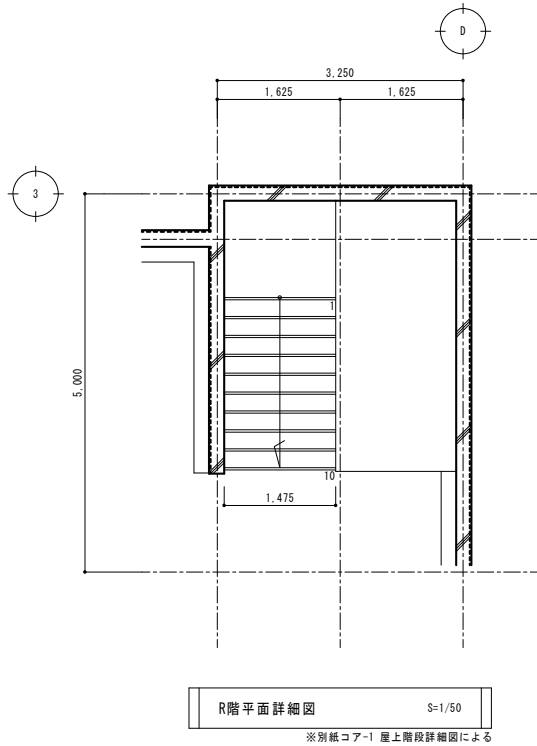
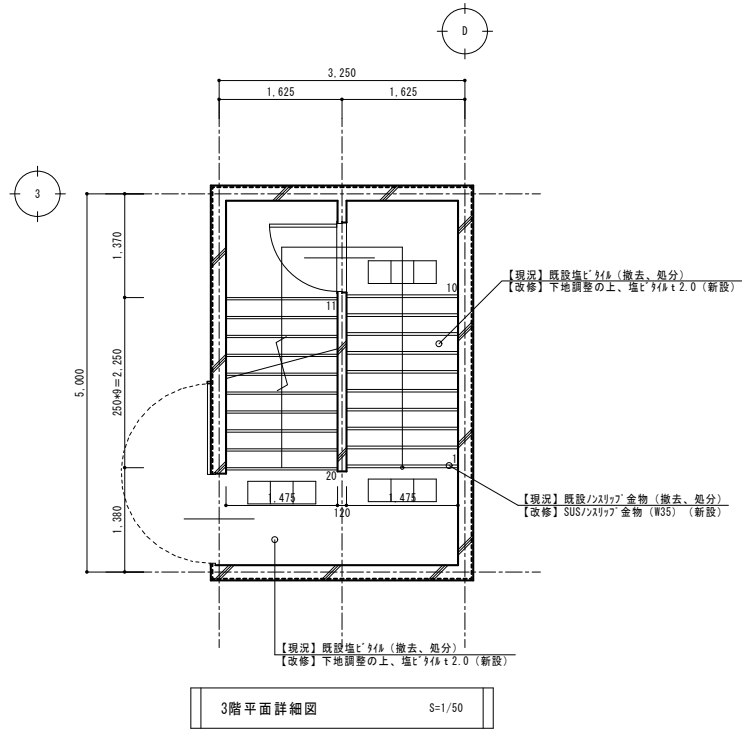


KATABUCHI ARCHITECTS OFFICE
株式会社 片淵建築事務所
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 ラー244
一級建築士 第247417号 野田 晶生

工事名	滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事			
SCALE	S=1/150 (A3:1/300)			
DATE	R6.01			

NO.	A-30
-----	------

立面図
【コア棟】



- 特記事項
- ・改修内容は、各階段共通とする
 - ・特記ないものは現況のままとする

令和 6年 1月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			

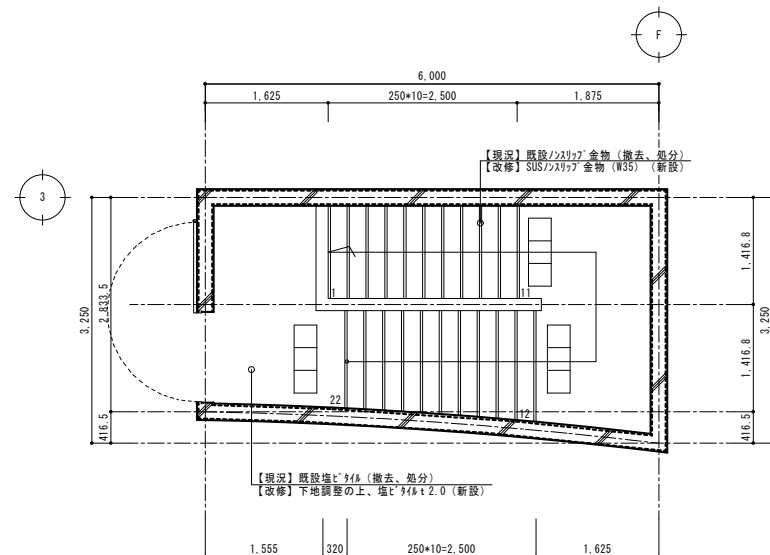


KATABUCHI ARCHITECTS OFFICE
株式会社 片淵建築事務所
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 ラー244
一級建築士 第247417号 野田 昌生

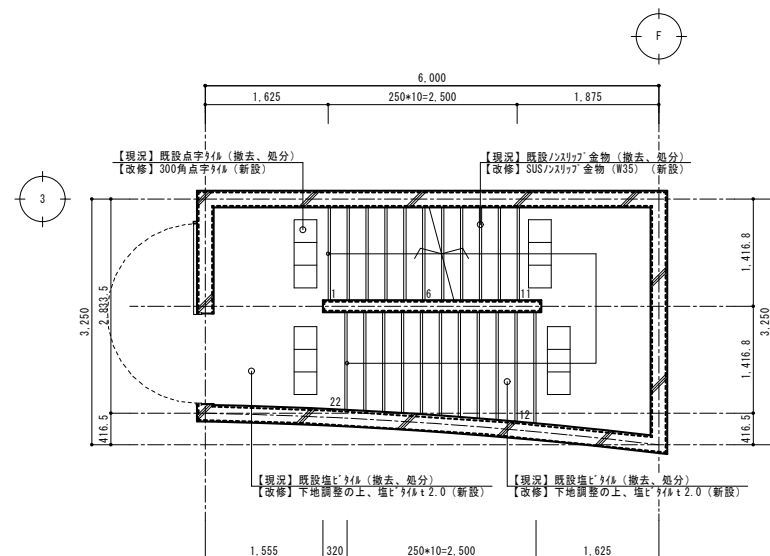
工事名 滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事
SCALE S=1/50 (A3:1/100)
DATE 20.01

NO.
A-31

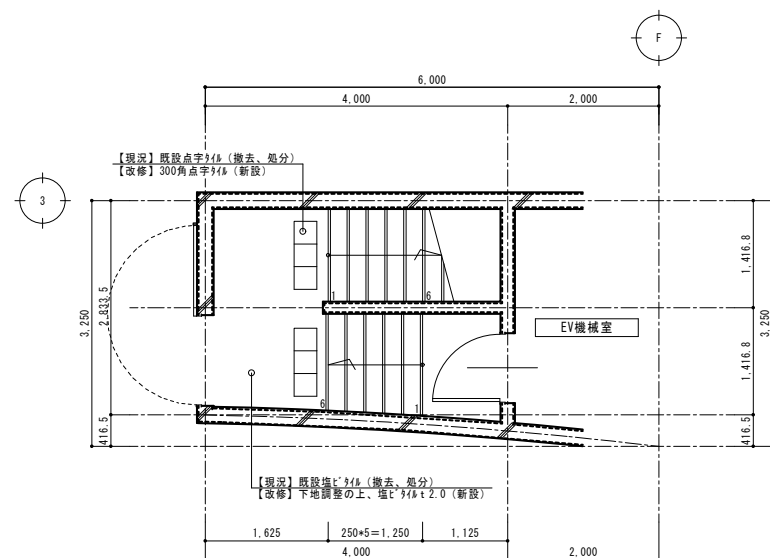
断面詳細図-1
【コア-1棟】



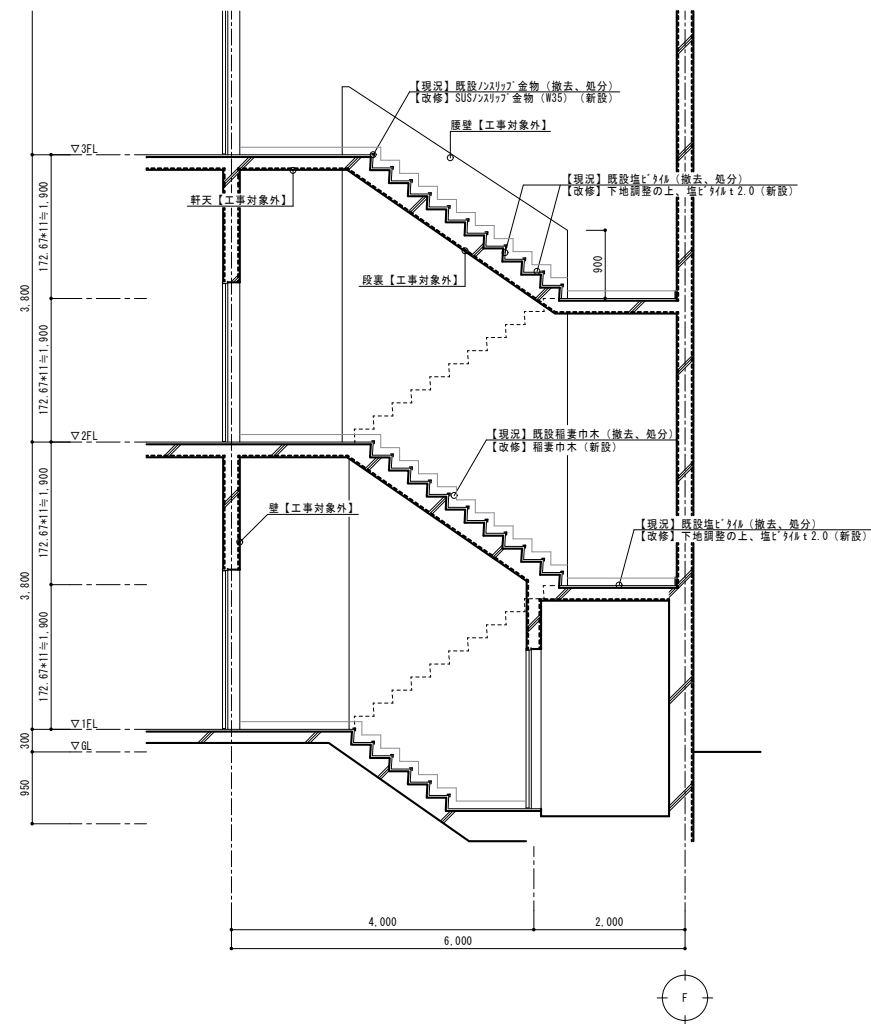
3階平面詳細図 S=1/50



2階平面詳細図 S=1/50



1階平面詳細図 S=1/50

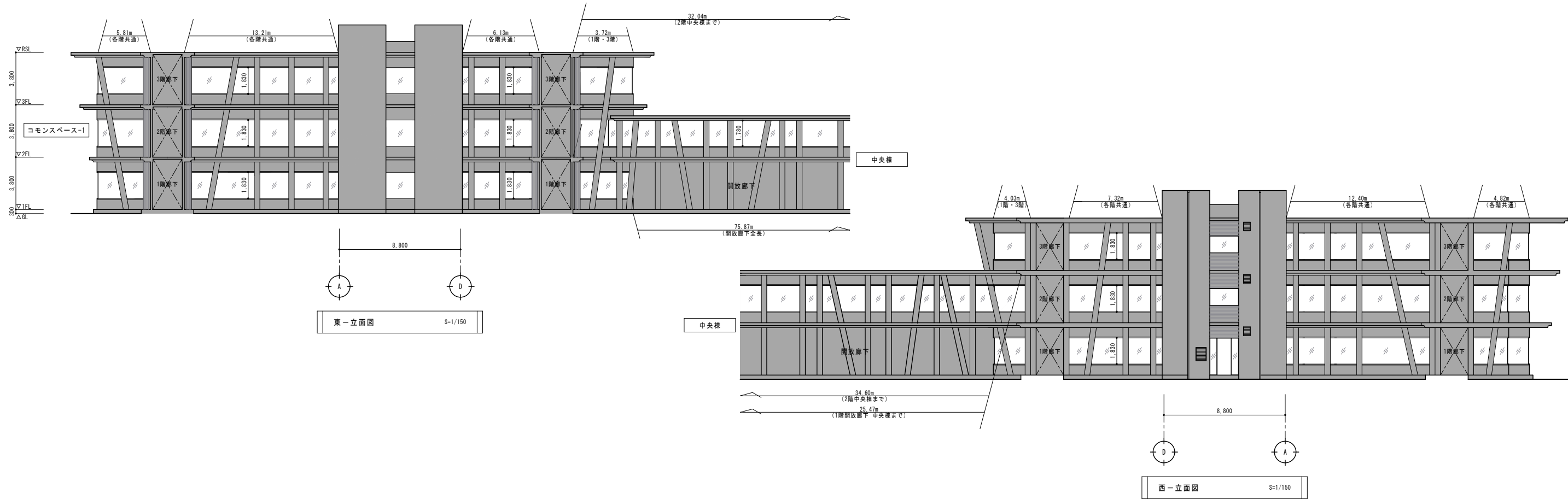


断面詳細図 S=1/50

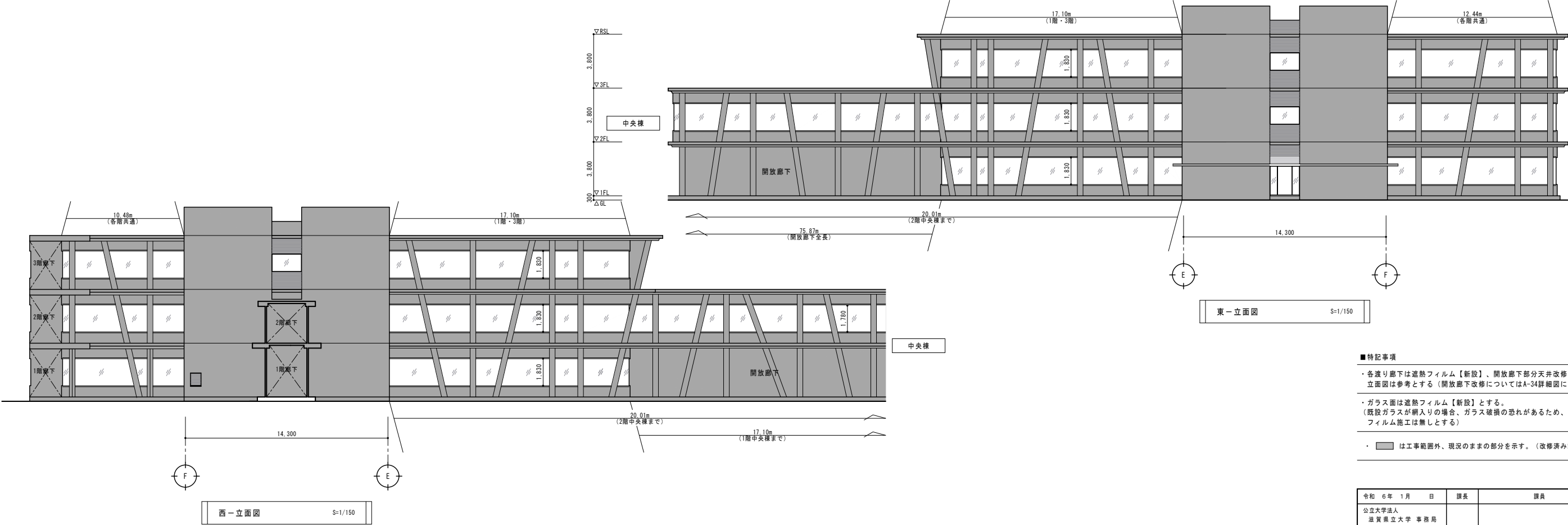
- 特記事項
- ・改修内容は、各階段共通とする
 - ・特記ないものは現況のままとする

令和 6 年 1 月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			

渡り廊下-1



渡り廊下-2



- 特記事項
- ・各渡り廊下は遮熱フィルム【新設】、開放廊下部分天井改修のみとし、立面図は参考とする（開放廊下改修についてはA-34詳細図による）
 - ・ガラス面は遮熱フィルム【新設】とする。
（既設ガラスが網入りの場合、ガラス破損の恐れがあるため、フィルム施工は無しとする）
 - ・  は工事範囲外、現状のままの部分を示す。（改修済み範囲）

令和 6年 1月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



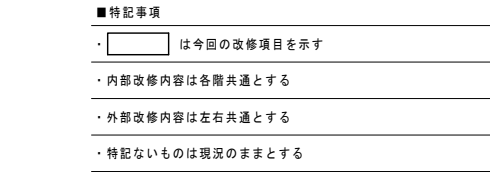
KATABUCHI ARCHITECTS OFFICE
株式会社 片淵建築事務所
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 ラー244
一級建築士 第247417号 野田 昌生

工事名 滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事
SCALE S=1/150 (A3:1/300)
DATE 2024.01

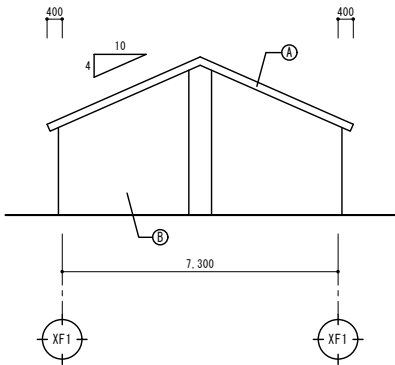
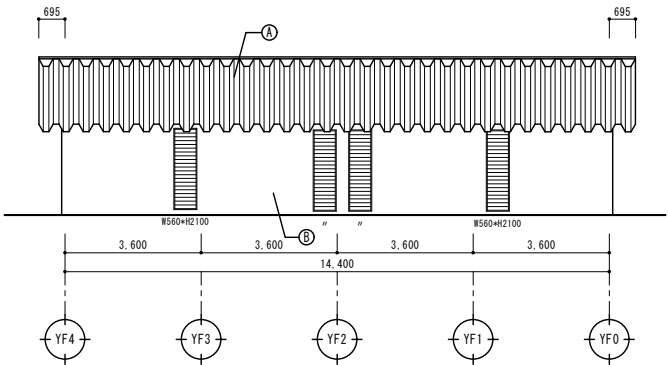
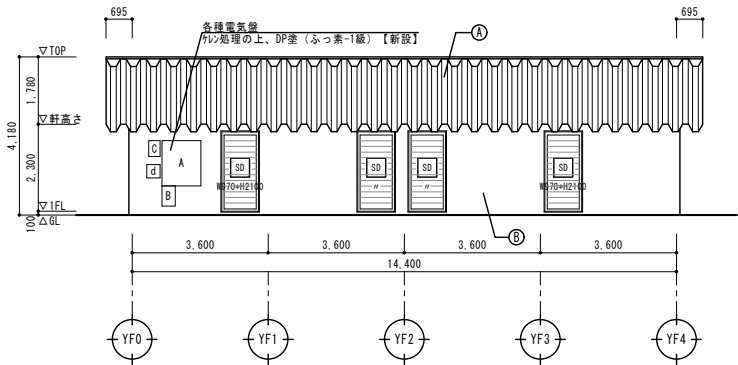
NO.
A-33

立面図

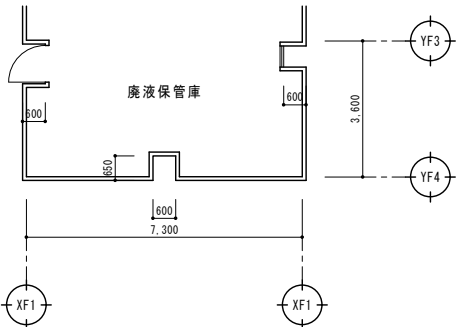
【渡り廊下】



令和 6 年 1 月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



名称	W	D	H
操作壁A	1030	250	1200
操作壁B	350	200	530
操作壁C	300	200	420
操作壁D	350	70	350

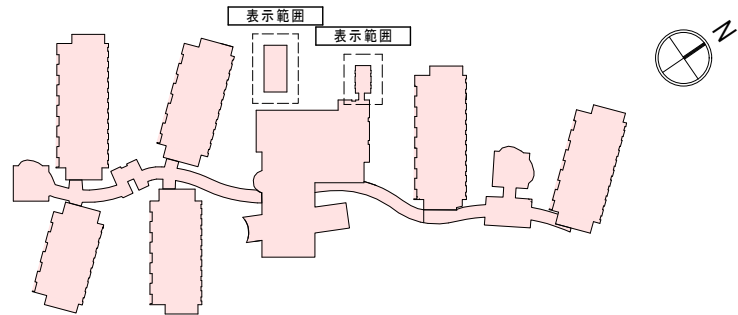
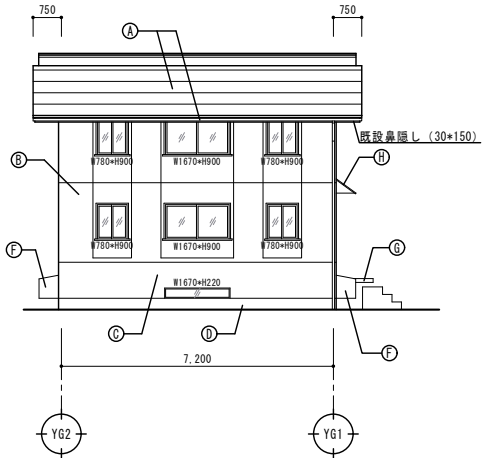
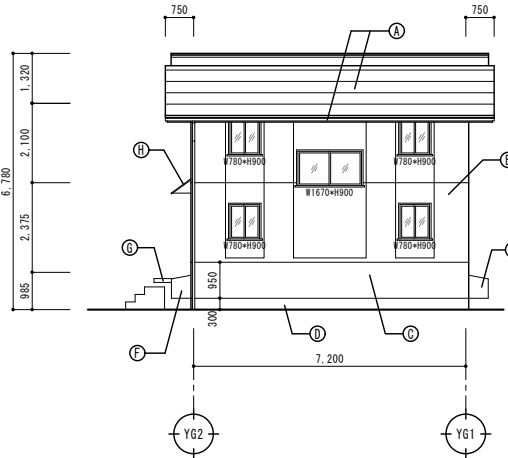


※開口部袖壁も改修対象とする
(外壁同仕様)

■仕上表

記号	部位	【現況】	【改修後】
Ⓐ	屋根	折板ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板 t0.8【存置】	カリン処理の上、ﾄﾚｰ屋根塗装替え用塗料塗（ふっ素樹脂）【新設】
Ⓑ	外壁	砂壁状複層塗材吹付【存置】	水洗い・清掃の上、 特殊ﾓﾉﾐｯｸｼｮﾝ樹脂系塗替え用仕上げ材【新設】

【特記事項】
・外部サッシのクリーニング（ガラス面含む）及び周囲のシール打替えを行うこと。※水切り下シールも含む
・Ⓐ Ⓑ はカリン処理の上、DP塗（ふっ素1級）【新設】とする。



■仕上表

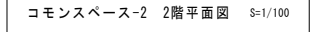
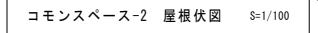
記号	部位	【現況】	【改修後】
Ⓐ	屋根	和瓦【一部撤去、処分】 塩ビ軒樋【存置】	和瓦【一部新設】
Ⓑ	外壁	砂壁状複層塗材吹付【存置】	水洗い・清掃の上、 特殊ﾓﾉﾐｯｸｼｮﾝ樹脂系塗替え用仕上げ材【新設】
Ⓒ	外壁	モﾙﾀｰ 叩押えの上、シーラ処理【存置】	水洗い・清掃の上、ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ塗布【新設】
Ⓓ	巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ 打放し補修	水洗い・シーラ処理の上、 超耐久型水性ｱｸﾘﾙ樹脂塗料【新設】
Ⓔ	軒天	ｸﾚｯﾄﾞ板 t 6.0 VP塗【存置】	下地調整の上、EP塗【新設】
Ⓕ	腰カバー	ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板曲げ加工【存置】	現況のまま【工事対象外】
Ⓖ	ｶﾞｰｰ	FRP防水（ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾌﾟ）【存置】	水洗い・清掃の上、ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ塗布【新設】
Ⓗ	庇	ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板 t0.4【存置】	カリン処理の上、ﾄﾚｰ屋根塗装替え用塗料塗（ふっ素樹脂）【新設】

【特記事項】
・外部サッシのクリーニング（ガラス面含む）及び周囲のシール打替えを行うこと。※水切り下シールも含む
・鼻隠し、破風については、下地調整の上、WP塗とする。
・既設縦樋【撤去、処分】の上、壁樋（ｶｰｰVPφ50）【新設】とする。
・和瓦撤去、処分及び、新設は全体の10%程度見込むこと。

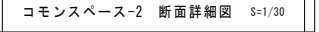


KATABUCHI ARCHITECTS OFFICE
株式会社 片淵建築事務所
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第244号
一級建築士 第247417号 野田 昌生

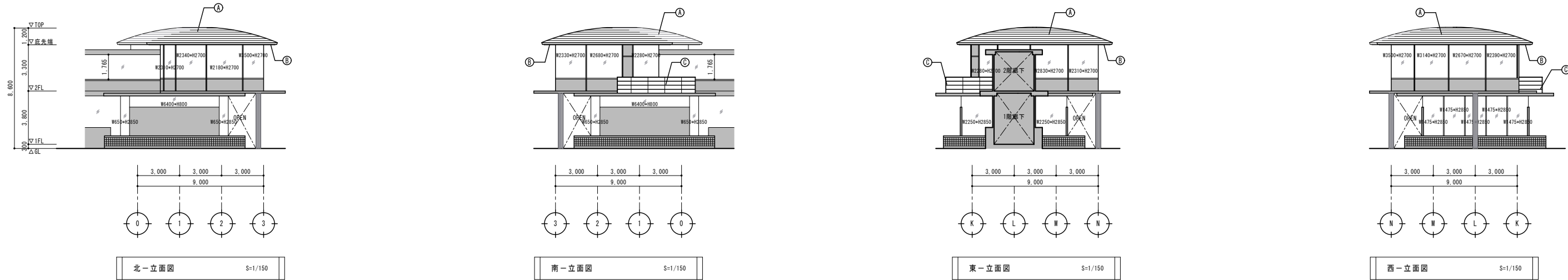
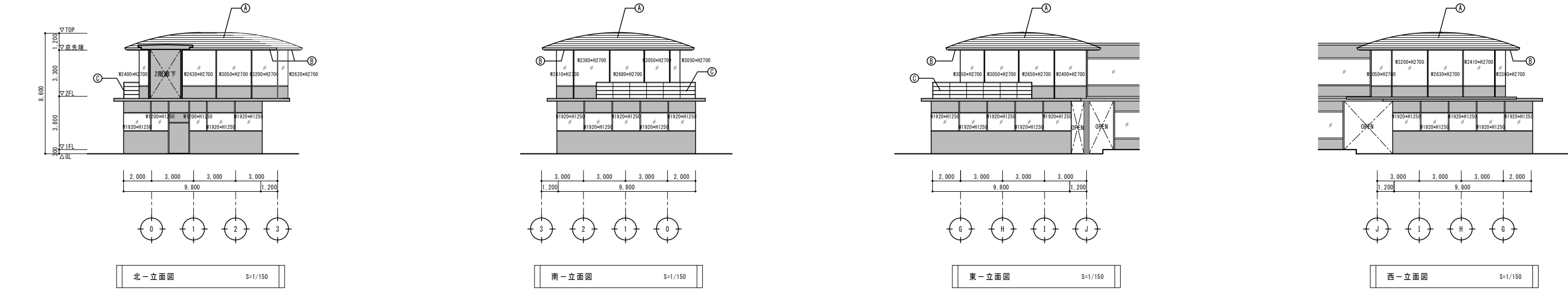
工事名	滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事	NO.	A-35	立面図 【実験棟】
SCALE	S=1/100 (A3:1/200)			立面図 【廃液保管庫】
DATE	2023.01			



- ・特記ない限り工事範囲外、現況のままの部分を示す



令和 6 年 1 月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



■仕上表

記号	部位	【現況】	【改修後】
Ⓐ	屋根	垂鉛片SUS板 t0.4 タテハヅ 葺き【存置】	ケレン処理の上、トン屋根塗装替え用塗料塗（ふっ素樹脂）【新設】
Ⓑ	軒裏	コンクリート打放し補修の上、リッ吹付【存置】	水洗い・清掃の上、下地処理（C-1）及び、外装薄塗材E【新設】
Ⓒ	手摺	スチール【存置】	ケレン処理の上、DP塗（ふっ素-1級）【新設】

【特記事項】
・外部サッシのクリーニング（ガラス面含む）を行うこと。
・ガラス面は遮熱フィルム【新設】とする。（既設ガラスが網入りの場合、ガラス破損の恐れがあるため、フィルム施工は無しとする）

令和 6年 1月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



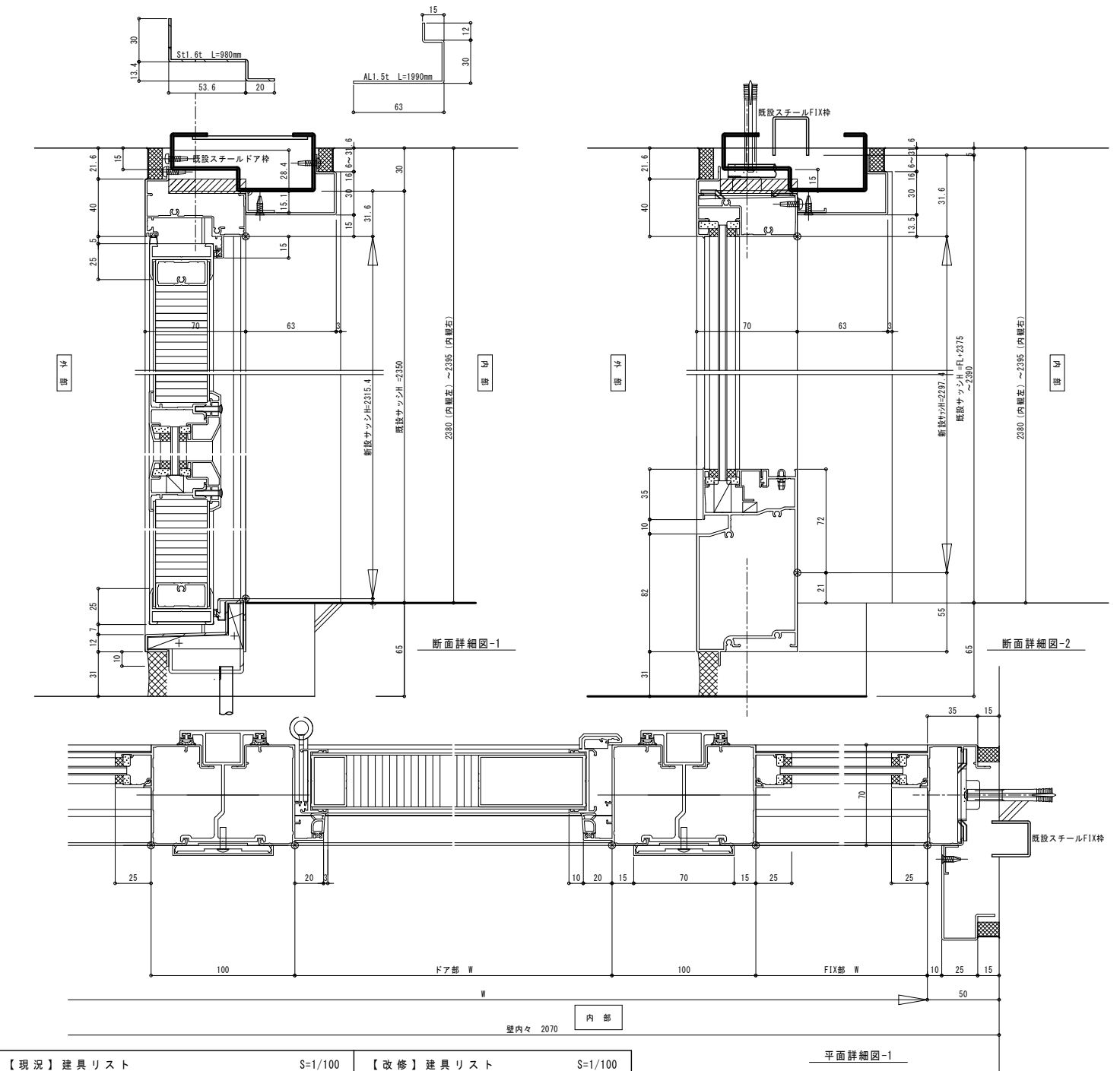
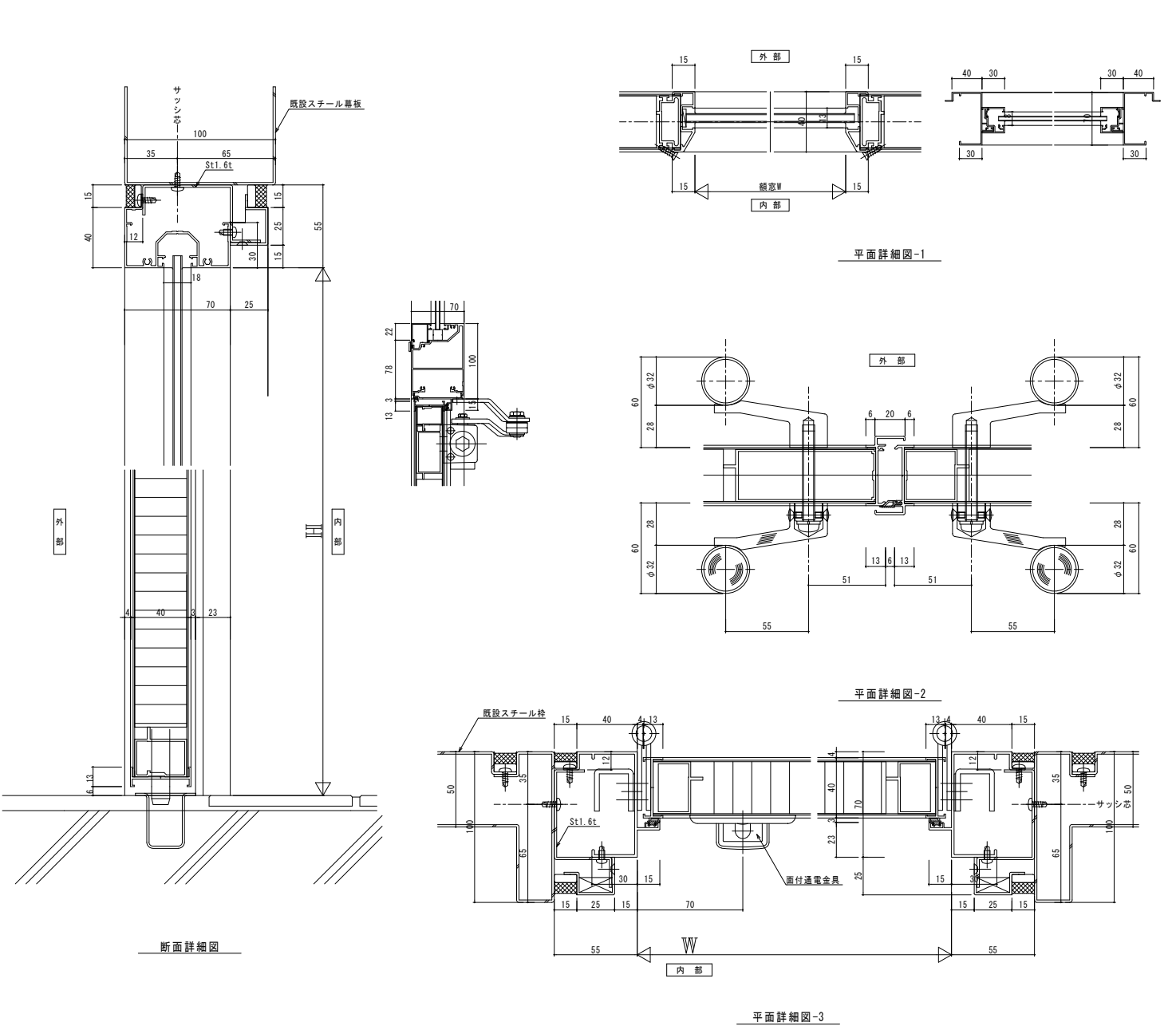
KATABUCHI ARCHITECTS OFFICE
株式会社 片淵建築事務所
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第244号
一級建築士 第247417号 野田 昌生

工事名 滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事
SCALE S=1/150 (A3:1/300)
DATE 2024.01

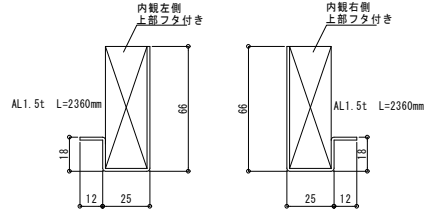
NO.
A-37

立面図

【コモンスペース】



【現況】建具リスト				S=1/100		【改修】建具リスト				S=1/100		【現況】建具リスト				S=1/100		【改修】建具リスト				S=1/100	
符 号		SD 1 スチール開き戸				符 号		SD 2 スチール開き戸+FIX付き				符 号		SD 3 7&1片開き戸+FIX付き									
見込	数量	40		3		見込	数量	40		1		見込	数量	40		1							
※ 図																							
	扉部分のみ【撤去、処分】																						
室 名	渡り廊下-1, 渡り廊下-2					室 名	コア-2					室 名	コア-2										
仕 上	焼付塗装					仕 上	焼付塗装					仕 上	焼付塗装										
硝 子	TP-4【撤去、処分】					硝 子	TP-4【新設】					硝 子	TP-4【新設】										
金 物	SUS音響、丁番、シリカゲル錠、φ40×7、フラス落し パネロッド、付属金物一式【全て撤去、処分】					金 物	SUS音響、丁番、シリカゲル錠、φ40×7、フラス落し パネロッド、電子錠、付属金物一式【全て新設】					金 物	SUS音響、丁番、シリカゲル錠、φ40×7、フラス落し パネロッド、電子錠、付属金物一式【全て撤去、処分】										
備 考	扉部分のみ【撤去、処分】、（扉板は存置）					備 考	カバー工法による新設（扉部のみ）					備 考	扉、方立部分のみ【撤去、処分】										



令和 6 年 1 月 日	総括	グループ員	担当者
公立大学法人			
滋賀県立大学 事務局			

01改修概要・システム概要（参考）					
<改修概要> 本工事は、既設入退室システムへの接続を行い、当該設備を設けるものとする。（A-40詳細図による） B1棟～B6棟（3F 各1ヶ所）、及び、コア2棟（1F 1ヶ所） <入退室管理システム> 1. 概要 本システムは、管理コンピュータ、入退室制御装置、照合装置から構成され、入退室管理を行うとともに不審者及び不正利用者の侵入を防ぐことを目的とし、これらをリアルタイムに管理します。 利用者はカードを照合装置に読み取らせ、扉の解錠を行います。 2. 構成機器 (1) 管理コンピュータ ・管理コンピュータと入退室制御装置は同一のネットワーク上に設置され、入退室制御装置、照合装置の設定や各種操作、ユーザーの登録、各種データの表示を行える。また、60台以上の管理コンピュータを設置できる。 ・管理コンピュータは、コンピュータ本体、表示装置、キーボード、マウス、無停電源装置から成りたつ。 ・管理コンピュータは、最大253台（12、144ゲート）以上の入退室制御装置を一括管理することが できる。 ・管理コンピュータは、入退室制御装置及び照合装置のファームウェアをダウンロードし、更新することができる。 (2) 入退室制御装置 ・照合装置及び施錠装置を接続し、照合装置からの情報と装置内部で記憶している登録データとを照合し、正しい情報ならば施錠装置を解錠する装置である。 ・1台の制御装置で最大8ゲート以上制御することができる。 ・入退室制御装置は通電時解錠型、通電時施錠型、瞬時通電施錠線り返し型、瞬時通電施錠極性反転型の電気錠、モータ錠および自動ドアを制御が可能である。 ・ゲート制御のほか外部接点出力インタフェースを接続できる。 ・管理コンピュータと接続するためにEthernet通信機能を有する。 ・入退室制御装置・管理コンピュータ・照合装置間の通信はAES相当の暗号化規格により、暗号化を行って通信する。 ・入退室制御装置・照合装置のすべては自己診断機能を有する。それにより、個々の機器の状態を確認して、システム全体の健全性をネットワークを通じて一元管理できる。 ・管理コンピュータへ各機器のメンテナンス情報（型式、製造番号、バージョン、入力電圧値）を通知できる。 (3) 照合装置 ・照合装置とは、主にゲート付近に設置し、本人照合を行う装置のことを指す。 ・本件では照合装置は非接触カードリーダを使用するが、拡張性を考慮し以下の種類を有する。 ・非接触カードリーダ・・・非接触カードリーダは、Mifare、及びFeliCaが読めるタイプ、FeliCaのみを 読めるタイプ、Mifare、及びFeliCa、またはFeliCaが読めることができ、かつ テンキー機能が付いたタイプを有することができる。 FeliCaはIDm、鍵なしサービス、鍵ありサービス（縮退キー使用）、Edyナンバー、 SSFC、FGF、OSMフォーマット、フリー領域（OPID、PIN入力必要）が読める。 ・テンキー・・・0～9、C、E、F1、F2、F3のボタンを有することができる。 F1～F3ボタンで警備セット・解除や解錠するゲート指定操作などの機能を付与することが できる。また、F1～F3ボタンの機能は管理コンピュータから容易に変更することができる。 数字部は固定式のタイプと、Cボタンを押すたびに配列がランダムに変わるタイプを有することができる。 ・その他の生体認証装置・・・静脈（手の甲、指）を読みとることができる。 ・照合装置は1ゲートにつき複数の照合方法を組み合わせることができること。また、照合方法の組み合わせを管理コン ピュータから変更することができる。 ・非接触カードリーダとテンキーは、IP43以上の防塵・防水規格を有する。 ・非接触カードリーダとテンキーは、周辺照度を測定して表示LEDの輝度を調整できる（省電力）。 ・非接触カードリーダとテンキーは、指定時間以上使用しない場合は表示LEDを自動的にOFFにできる（省電力）。 ・非接触カードリーダとテンキーは、音声によるアナウンスができる。 ・暗証番号は有効期限を設定し、入退室操作時に本人が照合した照合装置を使用して変更することができること。また連番、 同一番号といった予想しやすい番号や短い入力桁を規制することができる。 ※利用者自身で操作できることにより、管理者の手間を省略することができる。 3. 表示機能 3-1. 管理コンピュータ (1) 表示画面 ・表示装置はカラーモニターとし、日本語処理による表示とする。 ・電気錠の状態（施錠／解錠・開扉／閉扉）、照合装置の状態、入退室制御装置の状態を常時監視し、平面図にシンボル の色変化による表示が行える。 (2) 履歴表示 システムに関する以下の表示が行える。 ・イベント・・・ゲートの施解錠操作、異常イベントなど、システムで発生したイベント全てを表示。 ・アラーム・・・システムで発生したイベントの中でアラームのみを抽出し表示。 ・機器状態・・・接続されている入退室制御装置の状態を表示。 ・ゲート・・・電気錠の状態、扉の開閉状態を表示。 ・警戒・・・警戒エリアの警戒状態、ループ状態等を表示（警備機能利用時）。 ・外部入出力・・・外部入出力インタフェースに接続された機器の状態を表示（インタフェース利用時）。 ・マップ・・・電気錠の状態（施錠／解錠・開扉／閉扉）、照合装置の状態、入退室制御装置の状態を常時監視し、 平面図にシンボルの色変化による表示。 ・在室・・・入室側、退室側に認証装置を設置している部屋において、室内にいる利用者の名前、所属、入室日時を表示。 ・顔写真・・・利用者が特定できるイベント（入室等）発生時、その利用者の顔写真を表示。 ・操作情報・・・電気錠の遠隔解錠操作など、管理コンピュータの操作イベント全てを表示。 (3) ポップアップ表示 発生するイベントごとに発生した時点でポップアップ表示できること。また、ポップアップの有無はイベントごとに設定 できること。また、ポップアップ表示と連動して、該当箇所のマップ画面が表示される。 3-2. 照合装置 ・LEDにて電源状態の表示・扉（電気錠）の施錠／解錠状態の表示・照合操作の有効／無効の表示・警備ループ／セット ／解除（警備機能使用時）表示が行える。 4. 管理機能 4-1. 履歴管理機能 (1) 履歴管理 ・以下の履歴情報を管理コンピュータに保存できる。 ・イベント履歴・・・システムで発生したイベント（正常操作、異常など）を保存。 ・操作履歴・・・管理ソフトウェアの操作履歴を保存。 ・登録・設定・・・個人情報や入退室制御装置などの設定情報を保存。 ・履歴データは管理コンピュータ内に、24ヶ月以上保存することができる。 ・指定操作により、各種登録・設定データ、履歴データをテキストファイル形式や外部記憶装置に保存できる。		(2) 個人管理 ・個人の登録を管理コンピュータより行える。 ・登録者件数は100、000件できる。（1つの照合方式を1件と数えた場合） ・1個人につき最大23種以上の照合方式を登録できる。 ・所属情報は、3種類別々に登録できること。また、1種類あたり1000グループ以上登録できる。 ・名前やカード番号以外にも、付帯情報（緊急連絡先、役職等）が入力できること。また、更新年月日も表示できる。 ・CSVデータを使用したインポート機能を有し、一括登録または一括削除ができる。 ・指定時刻、または一定の間隔での自動インポート機能を有する。 (3) 紛失カード登録 ・カードを紛失した場合、管理コンピュータにて一時禁止登録を行うことで、そのカードを使用不可にできる。 (4) 管理情報の出力 ・保存されている各種履歴情報を「期間」「出力対象項目（特定のゲートや所属、個人、エリア、イベント等）」を 任意に指定して、モニタ上に表示、出力（ファイルデータやプリントアウト）が行える。 ・指定期間内において、特定の人物またはエリアの入退室の回数、在室時間等の自動集計が行える。 ・未使用者、または指定した日時以降に入退室操作を行っていない利用者を検索できる。 (5) 外部との連動 ・インテリジェントビル用のネットワークプロトコルBACnetと連動できる。 ・入退室制御装置からデータや状態を取得して、外部システムへ伝送できる。 5. 制御機能 (1) 自動ドア・電気錠制御 ・管理コンピュータからマウス操作にて選択した電気錠の施錠／解錠操作が行える。 ・管理コンピュータからマウス操作にて選択した電気錠に施錠時刻を指定して連続解錠操作が行える。 (2) タイムスケジュール制御 ・自動ドア・電気錠の自動連続解錠及び照合装置の使用可・不可の時間設定が行える。 ・スケジュール設定は標準のスケジュールと、日付を指定したスケジュール設定が行える。 (3) 個人照合権限チェック制御 ・照合装置で照合操作することにより、自動的に照合データの有効・無効判断（権限チェック）を行い電気錠の施錠／解錠 が行える。 ・個人ごとに利用できるゲートおよびその時間帯の設定ができること。 (4) 複数の照合装置混在制御 ・同一システム上でカード、暗証番号、生体認証などの本人照合を行う為の照合装置を混在して利用できる。 (5) チュアルIDチェック機能 ・カードや暗証などの操作を行う扉において、日中はカードのみ、時間外はカード＋暗証番号といった時間帯に応じて照合 方法を切り替えることができる。（紛失カードによる不正アクセス防止） (6) 照合装置使用禁止制御 ・全ての時間帯に入室権限を持った人でも、夜間、休日など予め設定された時間帯の照合装置の読み取りを自動的に停止 させ、入室を規制できる。また、管理コンピュータの操作により、一時的に照合装置の使用を禁止できる。 (7) 照合装置操作禁止制御 ・操作禁止／解除の権限を持つ利用者が照合装置を操作することで、全ての時間帯に入室権限を持った人でも照合装置の 読み取りを自動的に停止させ、入室を規制できる。 (8) 警備機能 ・入退室用の照合装置を利用して、警戒エリアの警備セットや解除が行える。 ・管理コンピュータの操作により、遠隔で警戒エリアの警備セット・解除が行える。 (9) ツーパーソナルルール制御 ・2名連続で照合装置の照合操作を行わなければ、電気錠を解錠できない制御ができること。その2名の組み合わせは、 関連なし、同一グループ、別グループ、または管理者と定義された利用者との組み合わせが選択できること。また、1名 で複数カードを所持し認証できることのないよう、別々の照合装置によって2名が照合操作を行える。 (10) ツーパーソナルルール制御（カウント制御） ・室内に人がいない場合は2人の認証操作によって入室を許可しますが、既に室内に2人以上いる場合、3人目以降は 1人で入退室できること。入室者が2人未満の場合は2人同時でないと退室できない。 (11) アンチパスバック制御 ・同一のカードや暗証、生体情報で、2回続けて入室及び退室の照合操作ができない規制が行える。 ・下記の3つのモードを選択できる。またスケジュールによってモードの切替ができる。 （a）システム稼動時を考慮して、アンチパスバック違反発生時に、エラー履歴を残すが入退室は行なえるモード。 （b）アンチパスバック違反発生後にシステム上入室している部屋へ共連れ等で移動することができれば、そこから 入退室は行なえるモード。 （c）アンチパスバック違反発生後に管理者によって復旧操作を行うまで、該当者はシステム上のすべてのゲートで 入退室が行えないモード。 ・特定の利用者は、アンチパスバックの制限を解除できる。 ・火災訓練等を考慮し、特定のエリア、利用者において1回だけアンチパスバックエラーを発生させても入退室できる 機能を有する。 (12) グローバルアンチパスバック制御 ・複数の扉があるエリアでもアンチパスバック制御ができること。1つのエリアが入退室制御装置をまたがった場合でも 制御できる。 (13) 在室管理連動制御 ・入退室管理により、入室者を常時監視し、入室者が0になった場合に警備を自動的に警戒セットできる。 ※この機能により、照明システムと接続して不在時に照明を消す省エネ運用に利用、または入室者規定数になった時に 外部の制御機器に在室情報を出力して知らせるシステムの構築が行える。 ・設定時刻に入退室エリアの在室情報を自動的にクリアできる。 (14) 在室時間管理機能 ・室内に入った人の個人ごとの在室時間をカウントし、所定時間を超えた場合に警報を出力できる。 (15) ゲート関連チェック機能 ・特定の扉を通過しないと、次の扉で入室または退室を拒否する機能をもち、入退室ルートを正規の通行ルートに限定 できること。また、複数の入退室制御装置をまたがったゲートの関連チェックもできる。 (16) インターロック機能 ・複数の扉が存在するエリアにおいて、2枚の扉が同時に開かないようにし、1人だけでそのエリアに入退室できるように 規制できる。 (17) ホールドアップ通報 ・暗証入力装置がある扉において、脅迫されて入室を迫られた場合に暗証番号+ホールドアップ用番号（1桁）を入力する ことにより相手を刺激しないように通常通り扉が開くと同時に管理コンピュータに異常を通報できる。		(18) 火災連動制御 ・火災報知設備より警報信号を受信することで、全てまたは特定の扉の一斉解錠が行える。 (19) 平面図登録 ・管理コンピュータのモニター上に表示させる平面図及びシンボルの登録が行えること。また平面図及びシンボルは管理 コンピュータ操作により容易に変更できる。 (20) カレンダーの登録 ・システム稼動の基本となるカレンダーを8種類以上登録が行なえる。 ・休日や退室にそれぞれ異なる入退室権限を付与することができる。 ・休日を任意に設定することができること。休日は振替休日のある休日と、振替休日の無い休日を個別に設定できる。 (21) 入退室権限 ・個人情報には1つ、もしくは複数の入退室権限を付与することができる。 ・入退室権限を事前に設定し、指定した日付に自動的に切り替えることができる。 ・入室と退室にそれぞれ異なる入退室権限を付与することができる。 ・通常使用する入退室権限を登録しながら、異なる入退室権限を一時的に開始・終了年月日時分を指定して付与できる。 6. バックアップ機能 (1) 管理コンピュータ ・別置きは無停電電源装置により、自動的にオートシャットダウンが行われる。 (2) 入退室制御装置 ・電源バックアップ用のバッテリーを搭載し、停電後約30分の動作補償が行える。 ・登録データは、入退室制御装置内の不揮発性のRAMに書き込まれ半永久的に保存できる。 ・カレンダー／時計用のバックアップ電池を内蔵し、容易に交換できる。 ・管理コンピュータダウン時及び通信異常時には、入退室制御装置にてその間のイベント履歴情報100、000件まで 保存できる。また、その間は照合装置の操作及びゲートの施解錠ができる。	

令和 6年 11月 日 課長		課員		担当	
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局					

	KATABUCHI ARCHITECTS OFFICE 株式会社 片淵建築事務所 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 ラー244 一級建築士 第247417号 野田 昌生	工事名 滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事	NO. A-39	電気錠設備仕様外形（1）
		SCALE -		
		DATE R6.01		

(18) 火災連動制御

・火災報知設備より警報信号を受信することで、全てまたは特定の扉の一斉解錠が行える。

(19) 平面図登録

・管理コンピュータのモニター上に表示させる平面図及びシンボルの登録が行えること。また平面図及びシンボルは管理
コンピュータ操作により容易に変更できる。

(20) カレンダーの登録

・システム稼動の基本となるカレンダーを8種類以上登録が行なえる。
・休日を任意に設定することができること。休日は振替休日のある休日と、振替休日の無い休日を個別に設定できる。

(21) 入退室権限

・個人情報には1つ、もしくは複数の入退室権限を付与することができる。
・入退室権限を事前に設定し、指定した日付に自動的に切り替えることができる。
・入室と退室にそれぞれ異なる入退室権限を付与することができる。
・通常使用する入退室権限を登録しながら、異なる入退室権限を一時的に開始・終了年月日時分を指定して付与できる。

6. バックアップ機能

(1) 管理コンピュータ

・別置きは無停電源装置により、自動的にオートシャットダウンが行われる。

(2) 入退室制御装置

・電源バックアップ用のバッテリーを搭載し、停電後約30分の動作補償が行える。
・登録データは、入退室制御装置内の不揮発性のRAMに書き込まれ半永久的に保存できる。
・カレンダー／時計用のバックアップ電池を内蔵し、容易に交換できる。
・管理コンピュータダウン時及び通信異常時には、入退室制御装置にてその間のイベント履歴情報100、000件まで
保存できる。また、その間は照合装置の操作及びゲートの施解錠ができる。

令和 6年 1月 日 課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局		

工事名	工事名	NO.	電気錠設備仕様外形（1）
滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事		A-39	
SCALE -			
DATE R6.01			

The diagram illustrates the communication system for a building with two floors, 1F and 2F. It shows the connections between control devices (制御装置) and gate units (GATE) via LAN and power lines.

2F (Second Floor):

- Control Device No. 61:** Connected to GATE0016381 (3FホールB631 (B6-381)).
- Control Device No. 63:** Connected to GATE0015381 (3FホールB531 (B5-381)).
- Control Device No. 59:** Connected to GATE0014381 (3FホールB431 (B4-381)) and GATE0013381 (3FホールB331 (B3-381)).
- Control Device No. 52:** Connected to GATE0012381 (3FホールB231 (B2-381)) and GATE0011381 (3FホールB131 (B1-381)).
- Control Device No. 54:** Connected to GATE0011381 (3FホールB131 (B1-381)).

1F (First Floor):

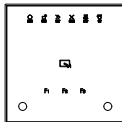
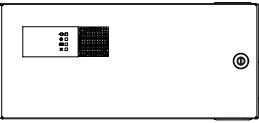
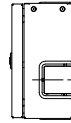
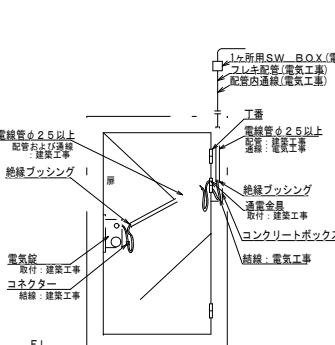
- Control Device No. 53:** Connected to GATE0012182 (1F_B1_B2ホールB212 (B2-182)).
- Control Device No. 52:** Connected to GATE0012182 (1F_B1_B2ホールB212 (B2-182)).

Connections:

- LAN:** The primary communication line connecting control devices to gate units.
- Power:** AC100V (4.7A) lines provide power to the gate units.
- Gate Units:** Each gate unit consists of a Control Receiver (CR) and an External Unit (E).

－ 凡 例 －			
	制御装置		
	非接触カードリーダーFM	$\frac{3P}{\diagup}$	C P E V-S 0.9-3P
	電気錠（建築工事）	$\frac{5P}{\diagup}$	AE 0.9-5P
	自動扉（建築工事）		

※現在使用中の入退室管理システムへ接続する

[CR]	非接触カードリーダ F ナ (GG2-NC3b-N1AB)	電源ユニット・DC24V (GG2-DC1)	扉工事区分																																																		
	   <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th><th>仕 様</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機能概要</td><td>本製品は、非接触カードのデータを読取り、カードデータをセキュアな形式に変換し送信します。FID (FID)対応しています。</td></tr> <tr> <td>外形寸法</td><td>幅250×高さ90×奥行4mm</td></tr> <tr> <td>電圧</td><td>DC10 ~5~30V DC24V供給消費電力210mA</td></tr> <tr> <td>動作条件</td><td>動作温度 -5~+60℃ (結露なきこと)</td></tr> <tr> <td>付属品</td><td>取付用ネジ</td></tr> <tr> <td>設置場所</td><td>直射日光および湿気使用のため室内に内蔵型設計</td></tr> <tr> <td>互換性</td><td>ISO15416準拠</td></tr> <tr> <td>ケーブル接続規格</td><td>1.8m / EIC180R2に準拠</td></tr> <tr> <td>伝送速度</td><td>212Kbps, 13.5Kbps</td></tr> <tr> <td>伝送距離</td><td>最大20m (30kHz、周囲に金属がない場合)</td></tr> <tr> <td>材質</td><td>黒色ABS、半透明プラスチック、黒色、黒色樹脂</td></tr> <tr> <td>質量</td><td>250g</td></tr> <tr> <td>電気的機能</td><td>読取時にLEDリ、バックライト、ディスプレイ上の画面を自動制御 読取時が読取状態(ON)とバックライト、イルミネーションLEDを 提供する。人感センサー、セキュリティスイッチの検知により自動消灯する。 人感センサー(オプション)とセキュリティスイッチを組み合わせることで、 自動的にロックインフラをします。</td></tr> <tr> <td>ファームウェアバージョンアップ</td><td></td></tr> </tbody> </table>	項 目	仕 様	機能概要	本製品は、非接触カードのデータを読取り、カードデータをセキュアな形式に変換し送信します。FID (FID)対応しています。	外形寸法	幅250×高さ90×奥行4mm	電圧	DC10 ~5~30V DC24V供給消費電力210mA	動作条件	動作温度 -5~+60℃ (結露なきこと)	付属品	取付用ネジ	設置場所	直射日光および湿気使用のため室内に内蔵型設計	互換性	ISO15416準拠	ケーブル接続規格	1.8m / EIC180R2に準拠	伝送速度	212Kbps, 13.5Kbps	伝送距離	最大20m (30kHz、周囲に金属がない場合)	材質	黒色ABS、半透明プラスチック、黒色、黒色樹脂	質量	250g	電気的機能	読取時にLEDリ、バックライト、ディスプレイ上の画面を自動制御 読取時が読取状態(ON)とバックライト、イルミネーションLEDを 提供する。人感センサー、セキュリティスイッチの検知により自動消灯する。 人感センサー(オプション)とセキュリティスイッチを組み合わせることで、 自動的にロックインフラをします。	ファームウェアバージョンアップ		 前面  側面 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th><th>仕 様</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機能概要</td><td>本機は、最大出力DC24V、2Aの電源装置です。オプションのバックアップバッテリーを備えることができます。バックアップバッテリーは標準では含まれません。</td></tr> <tr> <td>外形寸法</td><td>W360 × H160 × D85mm</td></tr> <tr> <td>入力電圧</td><td>AC100V 50/60Hz、110VA</td></tr> <tr> <td>出力電圧</td><td>DC24V (DC22 ~26.4V)</td></tr> <tr> <td>出力電流</td><td>2.1A</td></tr> <tr> <td>保護等級</td><td>IP20 (防塵、防湿)</td></tr> <tr> <td>設置場所</td><td>室内、室外設置可能 (-5~+60℃ (結露なきこと))</td></tr> <tr> <td>インターフェース</td><td>端子台接続、USBオプションポート、無線LAN</td></tr> <tr> <td>質量</td><td>本体重量約 1.5kg (含みケーブル)、消費電力約 2(A・M) 3.0kg</td></tr> </tbody> </table>	項 目	仕 様	機能概要	本機は、最大出力DC24V、2Aの電源装置です。オプションのバックアップバッテリーを備えることができます。バックアップバッテリーは標準では含まれません。	外形寸法	W360 × H160 × D85mm	入力電圧	AC100V 50/60Hz、110VA	出力電圧	DC24V (DC22 ~26.4V)	出力電流	2.1A	保護等級	IP20 (防塵、防湿)	設置場所	室内、室外設置可能 (-5~+60℃ (結露なきこと))	インターフェース	端子台接続、USBオプションポート、無線LAN	質量	本体重量約 1.5kg (含みケーブル)、消費電力約 2(A・M) 3.0kg	 1. 所用SW-BLOCK (電気工 作) 2. 2線ケーブル (電気工 作) 3. 配管内通孔 (電気工 作) 工事 電線径φ2.5以上 取付：電気工事 絶縁ブッシング 通電全量 取付：建築工事 コンクリートボックス 結線：電気工事 電氣錠 取付：建築工事 コネクタ 結線：建築工事 F.L.
項 目	仕 様																																																				
機能概要	本製品は、非接触カードのデータを読取り、カードデータをセキュアな形式に変換し送信します。FID (FID)対応しています。																																																				
外形寸法	幅250×高さ90×奥行4mm																																																				
電圧	DC10 ~5~30V DC24V供給消費電力210mA																																																				
動作条件	動作温度 -5~+60℃ (結露なきこと)																																																				
付属品	取付用ネジ																																																				
設置場所	直射日光および湿気使用のため室内に内蔵型設計																																																				
互換性	ISO15416準拠																																																				
ケーブル接続規格	1.8m / EIC180R2に準拠																																																				
伝送速度	212Kbps, 13.5Kbps																																																				
伝送距離	最大20m (30kHz、周囲に金属がない場合)																																																				
材質	黒色ABS、半透明プラスチック、黒色、黒色樹脂																																																				
質量	250g																																																				
電気的機能	読取時にLEDリ、バックライト、ディスプレイ上の画面を自動制御 読取時が読取状態(ON)とバックライト、イルミネーションLEDを 提供する。人感センサー、セキュリティスイッチの検知により自動消灯する。 人感センサー(オプション)とセキュリティスイッチを組み合わせることで、 自動的にロックインフラをします。																																																				
ファームウェアバージョンアップ																																																					
項 目	仕 様																																																				
機能概要	本機は、最大出力DC24V、2Aの電源装置です。オプションのバックアップバッテリーを備えることができます。バックアップバッテリーは標準では含まれません。																																																				
外形寸法	W360 × H160 × D85mm																																																				
入力電圧	AC100V 50/60Hz、110VA																																																				
出力電圧	DC24V (DC22 ~26.4V)																																																				
出力電流	2.1A																																																				
保護等級	IP20 (防塵、防湿)																																																				
設置場所	室内、室外設置可能 (-5~+60℃ (結露なきこと))																																																				
インターフェース	端子台接続、USBオプションポート、無線LAN																																																				
質量	本体重量約 1.5kg (含みケーブル)、消費電力約 2(A・M) 3.0kg																																																				

機器構成		
(1) 電源ユニット	GG2-DC1 1	1 台
(2) 非接触カードリーダーF	NGG2-NC3b-N1AB	7 台
(3) 電気錠 (建築工事)		1 台

令和 6年 1月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



工事名	滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事			
SCALE	-			
DATE	R6.01			

NO. **A-40**

電気錠設備仕様外形（２）

電気設備工事特記仕様書

工事名称

工事場所

工事期間・限

工事概要説明

※該当工事には適用欄に○印を附す。

適用

No

工事種目

工種

備考

1

高(低)圧引込設備

2

受変電設備

3

電灯・動力幹線設備

4

電灯・コンセント設備

5

動力設備

6

拡声設備

7

電話設備

8

電気時計表示設備

9

通信・信号設備

電気錠

10

テレビ共視聴設備

11

自動火災報知設備

12

ガス漏れ警報設備

13

防火戸自閉設備

14

消防保護設備

15

自家発電設備

16

機械警備設備

別途工事

本改修工事に伴う建築工事

・工事区分表による。

電気設備工事仕様書

1. 図面及び仕様書に記載されていない事項は、すべて、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書、同改修工事標準仕様書および設備工事標準図(電気設備工事編)最新版(以下、「標仕」という)による。
2. 項目は、○印の付いたものを適用する。

No

名称

構造

階数

延面積(㎡)

棟数

備考

計

建物概要

項目

特記事項

適用項目

一般共通事項の扱いは、本工事が単独の工事又は分離発注の場合は以下の全項目を適用し、他工事に含まれる一括発注の場合は、※印を付したものを適用する。

※1 施工基準イ 本工事は、工事請負契約書及び同約款を遵守し、本特記仕様書、図面19条および標仕により完全に施工する。なお上記相互間に相違のある場合の優先順位は記載の順序とする。
ロ 必要関係諸官庁への申請手続き等は、全て受注者の負担とし、速やかに処理する。
ハ 本図は、工事の概要を示すものであるから、詳細位置等については監督職員と打合せの上、その指示に従い迅速に施工する。
ニ その他関係諸法規に基づき完全に施工する。

※2 監理指針国土交通省大臣官房官庁営繕部監修電気設備工事監理指針 最新版 に準ずる

※3 施工監理マニュアル施工に際し、施工手引き書である電気設備工事施工監理チェックリスト(滋賀県土木交通部建築課令和2年度版)に従う。

※4 完成図完成図の種類、記入内容および様式は標仕により作成し、原因、CADデータおよび焼付製本(縮小版A4サイズ)3部を提出するものとする。
なお、標仕の表1.7.10の完成図の種類に本特記仕様書を加えたものとする。

5 保全に関する資料保全に関する資料は標仕により作成し、監督職員に指示された必要部数の原本、複写図および電子データを提供するものとする。なお、作成に際しては、国土交通省作成の「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き」を参考とし、詳細については監督職員の指示による。

6 工事写真区分分類・規格撮影枚数部数(枚1枚に付)備考
着工前ｶｰﾄﾞｰﾏﾋﾞﾚ3・⑤・71状況によりつなぎ写真
工事中ｶｰﾄﾞｰﾏﾋﾞﾚ11必要に応じ
完成時ｶｰﾄﾞｰﾏﾋﾞﾚ6・⑩・202
定期提出ｶｰﾄﾞｰﾏﾋﾞﾚ3・⑤・72月末報告用

完成写真の撮影場所は監督職員の指示による。工事写真は全て工事写真欄に貼り付け提出する。写真撮影は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真撮影ガイドブック」に準ずる。

7 現場代理人原則として、現場代理人は他の工事と重複して従事することはできない。
契約約款第10条第3項の規定に基づく現場代理人の常駐義務を緩和する期間および本工事における現場代理人が他の工事の現場代理人を兼務できる条件は、別に定める「現場代理人の常駐に関する運用基準(滋賀県土木交通部)」による。
①現場代理人の常駐を要しない期間
・請負契約の締結の日の翌日から令和 年 月 日までの期間については、現場代理人の工事現場への常駐は要しない。
・請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、現場代理人の工事現場への常駐を要しない。
なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。
②工事が完成し、事務手続き、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間については、現場代理人の工事現場への常駐を要しない。
現場代理人は、受注者との直接的な雇用関係が確認できる資料を監督職員に提出すること。

8 技術管理受注者は、建設業法で定める専任の技術者の任命を行い、現場に派遣し、技術管理にあたらせること。
① 技術者の専任を要しない期間
・請負契約の締結日から令和 年 月 日までの期間については、主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。
・請負契約締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。
② 滋賀県建設工事請負約款(以下「契約約款」という)第31条第2項の規定に基づく検査を完了した日から契約期間満了までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査を完了した日とは、発注者が契約約款第31条第2項に基づく当該検査の結果を通知した日(契約約款第31条第6項に該当する場合を含む)とする。
なお、日程上の都合上、契約工期満了後に検査が行われた場合は、契約工期満了後の監理技術者等の工事現場費の専任を要しない。
建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者および監理技術者補佐の取扱いについて
1. 本工事において、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者(以下、「特例監理技術者」という。)の配置を行う場合は以下の(1)～(8)の要件を全て満たさなければならない。
(1)建設業法第26条第3項ただし書による監理技術者の職務を補佐する者(以下、「監理技術者補佐」という。)を専任で配置すること。
(2)監理技術者補佐は、一般施工管理技士の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、特例監理技術者に求める

項目

特記事項

項目

特記事項

技術検定種目と同じであること。
(3)監理技術者補佐は入札参加者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。
(4)同一の特例監理技術者が配置できる工事の数は、本工事を含め同時に2件までとする。
(ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる建物等と一体化が認められるもの(当初の請負契約以外の請負契約が随時契約により締結される場合に限る。))については、これら複数の工事を一の工事とみなす。)
(5)特例監理技術者が兼務できる工事は同一土木事務所管内(土木事務所、支所)の工事でなければならない。
(6)特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回および主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。
(7)特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。
(8)監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。
2. 本工事の監理技術者が特例監理技術者として兼務する事となる場合、前項(1)～(8)の事項について確認できる書類を下記により提出すること。
(1)監理技術者補佐の資格を有する書類(一般施工管理技士等の国家資格者などの合格証など)
(2)(1)の提出書類と同じ
(3)監理技術者補佐の直接的かつ恒常的な雇用関係を証明する書類(3カ月以上の雇用関係を証明できる健康保険被保険者証の写しなど)
(4)特例監理技術者が兼務する工事のCORINSの写し等
(5)(4)の提出書類と同じ
(6)業務分担、連絡体制等を記載した書類(施工計画書など)
(7)(6)の提出書類と同じ
(8)(6)の提出書類と同じ
3. 本工事において、特例監理技術者および監理技術者補佐の配置を行う場合または配置を要さなくなった場合は適切にCORINSへの登録を行うこと。

9 電気保安技術者(該当する者に○)
電気保安技術者は、次による者とし、監督職員の承認を受けること。
・ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修電気設備工事監理指針 令和元年版 の定めによる者
・ 第1種電気工事士(電気事業法第52条第2項に規定される電気主任技術者を選任しないことができる自家発電電気工作物および自家発電電気工作物(需要設備)のうち、電圧六百ボルト以下で使用する電気工作物、に係る工事の場合)
・ その他()

※10 下請業者機材等の選定各種下請業者、機材材料等県内で供給できるものについては、機材県内業者、県産品を選定することとし、製品等は特記されたものまたは同等品以上とする。ただし、同等品以上とする場合は、監督職員の承認を受ける。

※11 検査受注者は完成検査前に関西電気保安協会等検査機関の検査を受け合格すること。
監督職員の指示により社内測定検査のみとする場合がある。(測定記録書提出)

※12 検査合格書等各種検査を必要とするもの、責任施工のもの等は、各合格書または保証書及びその写し各一部を提出すること。なお、責任施工のものには、請負契約書の、施工下請業者、材料製造者通達書とする。

※13 建築工事との取合いコンクリート部分の梁・壁・床の貫通部補強及び仕上部分の軽量鉄骨天井下地、同壁下地の開口部補強は建築工事とするも、事前に施工図を作成し、監督職員、建築工事業者承認の上とする。

※14 既存設備関係施工に際し、既設内容、取合いをよく調査すると共に既存施設の担当者と十分協議を行い、その機能を低下せしめてはならない。

※15 公害対策工事着手前に付近の状況を調査し、公害対策は工事竣工まで講ずること。

※16 産業廃棄物の処理受注者は、産業廃棄物を適正に処理するにあたり下記事項を含め、事前に監督職員に施工計画書を提出して承諾を受けること。
①本工事に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)を遵守し、分別解体及び再資源化等を実施すること。また、着工前の同法第11条の「通知」は受注者が提出すること。
②「資源の有効な利用の促進に関する法律」(リサイクル法)及び建設副産物適正処理推進要綱を遵守し、一定規模以上の工事においては、再生資源利用「促進」計画書及び両実施書を作成し速やかに報告のこと。
③受注者は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守し、同法12条の3によるマニフェストシステムによる的確に実施すること。

※17 発生材の処理引渡を要するもの。

※18 保険等受注者は工事の内容に応じた火災保険、建設工事保険等を工事目的物に付するものとする。

※19 監督職員事務所規模1号 2号 3号 4号 5号(設けない)
備品 机、椅子、書棚、黒板、製図機、ゴム靴、雨がっぱ、保護帽、受注者加入電話の予備、衣類ロッカー、冷暖房機器、消火器等監督職員の指示による。

※20 安全対策工事車両の出入りについては、危険防止に努めること。又、必要に応じて交通整理員を配置すると共に、近隣家屋に騒音、振動等公害発生のない様を留意し、全般に及ぼす様万全の策を講ずること。又、施設運営についても、担当者と協議を行い支障なき様に努めること。

※21 統括安全衛生労働安全衛生法第30条第2項の統括安全衛生管理業務者には、(「建築工事」電気設備工事機械設備工事)の受注者を指名する。

※22 創意工夫等実施状況受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに提出すること。
ただし、工事成績評定においての高度技術、創意工夫または地域社会への貢献(以下「創意工夫等」という)に対する評価は、施工計画書にそのことが記載され、または事前に受注者から自主的に創意工夫等にかかわる資料が監督職員より提出され、それらの項目が創意工夫等から該当すると判断し、施工等に反映されていた場合に評価するものとし、実施前に施工計画書に記載または資料等の提出がなされていない場合は評価しないものとする。

※23 別途工事との連絡協議受注者は、工事別の業者間で互いに連絡をとり、定期的に協議会を行い、工事施工上の調整を図ること。又、工事区分の取合について図示あるも施工時に必要に応じ協議を行い連絡を密にすること。

※24 シンナー等シンナー等については、工事現場に放置することなく、保管を厳重に行う避難を防止すると共に、保管数量についても作業前、作業終了後の確認等確実な管理を行うものとする。

※25 フロン類の回収等全量にフロン類を使用している機器の撤去においては、フロン排卸抑制法に基づきフロン類を全量回収し、大気放出をしない処理を行うこと。また、施工に当たっては特定フロンを使用しない材料、工法を用いないこと。

26 工事実績情報の作成・登録受注者は、工事請負代金 500万円以上の工事について、工事実績情報データベース(CORINS)入力システムに基づき、「登録のための確認のお願い」を作成し監督職員の確認を受けた後、(一財)日本情報総合センター(JAICIC)に登録するとともに、センター発行の「登録内容確認書(工事実績)」の写しを監督職員に提出しなければならない。提出の期限は、以下のとおりとする。
(1)受注登録の期限は、契約締結後10日以内とする。
(2)竣工登録の期限は、工事完成後10日以内とする。
(3)変更登録の内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更登録を行うこと。

27 工事関係車両の電波法遵守受注者は電波法を遵守し、不法無線局を搭載した工事車両を使用しないものとする。また、現場において不法無線局を搭載していると疑わしい車両を確認したときには、速やかに監督職員にその旨報告する。

※28 過積載の防止措置受注者は過積載等の違法運行防止を図るため、道路交通法を遵守する旨を記載した施工計画書を提出し徹底を図ること。

29 技術検査工事施工途中において、適宜中間技術検査を実施する。

※30 施工上の留意事項等エ 電線管について、図示ない限り屋内露出配管はねじなし電線管(E管)、屋内いんべい配管は合成樹脂製可とう電線管(PF管)、屋外露出配管は薄鋼電線管(CP管)、屋外埋設配管は波打硬質ポリエチレン管(FEP管)を使用する。なお、高圧配線の地中埋設配管については、ポリエチレンライニング電線管(PE管)とする。
ロ 図示ない限り配線器具プレートは新金属製またはステンレス製とする。
ハ スイッチが多数ある場合には監督職員と協議し、ネームスイッチを使用する。
ニ 建物EAPU部分及び機器接続箇所と共用する可とう電線管は、ビニル被覆付きとする。
ホ 照明器具は原則として、LED器具及び公共施設用器具とすること。
ヘ 将来用予備空間配管には、ビニル被覆鉄線(1.6mm)を入線し、名札を取付ける。
ト プルボックスは工場製作品品を使用する。
チ 次に示す箇所以外の露出配管は、全て塗装する。(機械室、電気室内の塗装 要・否)
(EPS、共同溝内の塗装 要・否)
リ 露出配管を行う場合は、施工前に素地こしらえ(エッチングプライマー等)と下塗りを行い、配管施工後に仕上塗装を行う。
ロ 機器据付・設置については、「建築設備耐震設計・施工指針」に準ずる。
ル 当該工事において、既設配管・既設埋設配管があった場合は、監督職員の指示により迂回設備

項目

特記事項

項目

特記事項

の工事を行い、軽微なものは本工事にとする。また、撤去工事は、特に既設配線の先行を調査確認の上、処理する。
オ 環境配慮の観点から、以下の材料の利用に努めること。
(1)グリーン購入法に基づくエコマーク商品
(2)建設リサイクル法により再資源化されたリサイクル製品
(3)滋賀県リサイクル製品認定制度に基づく滋賀県リサイクル製品

※31 暴力団員等による不当介入の排除滋賀県の発注する建設工事等における暴力団員等による不当介入の排除について(「不当介入に関する通報制度」の徹底について)
1 受注者は、暴力団員等(暴力団の構成員および暴力団関係者、その他県発注工事等に対して不当介入をしようとするすべての者をいう。)による不当介入(不当な要求または業務の妨害)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。
2 受注者は、前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書(別記様式第1号)により所轄警察署に届け出るとともに、監督職員に報告するものとする。
また、受注者は、以上のことについて、下請負人(再委託の協力者を含む)に対して、十分に指導を行うものとする。
3 受注者は、暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

※32 環境配慮指針公共事業に係る環境配慮指針実施要領に基づく、チェックシートを作成し提出すること。

33 建設工事(国土交通省告示第496号 令和元年9月2日、以下「新要綱」)が告示されたため、公共建築工事標準仕様書に位置付けのある「建設工事公衆災害防止対策要綱」は新要綱に読み替える。
本工事において、受注者は法定外の労務保険に付さなければならない。

※34 保険の付保及び事故の補償(法定外の労務保険の付保)

※35 施工計画書受注者は、施工計画書の作成にあたり、「その他」の事項として新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を記載するものとする。

※36 余裕期間制度(任意兼手方式)1. 本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間(契約締結日から工事開始日の前日までの期間)を設定した工事であり、発注者が示した工事開始期限日までの間で、受注者は工事開始日より任意に開始することができる。なお、受注者は、契約を締結するまでの間で、受注者の、所定の様式により、工事開始日を通知すること。取扱いについては、滋賀県ホームページ掲載の「工事における余裕期間制度実施要領(令和2年2月)」「滋賀県」および「建設工事における余裕期間制度 運用マニュアル(令和3年2月)」「滋賀県土木交通部」に基づくものとする。
滋賀県ホームページ
滋賀県>事業者の方へ入力・売却・指定管理>公共工事>記事一覧「余裕期間制度について」
https://www.pref.shiga.lg.jp/zigyousya/nyusatsubai/kyaku/kouzi/

2. 余裕期間内は、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入、仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。
3. 余裕期間内は、主任技術者または監理技術者を配置することを要しない。また、現場代理人は工事現場に常駐しないものとする。
4. コリンズへ登録する技術者の従事期間は、実工期の範囲で従事する期間を登録するものとする。(余裕期間を含まないことに留意するものとする。)
5. 受注者は工事開始日の前日までに現場代理人等を定め、所定の様式により届け出るとする。
6. 実工期：工事開始日から終期日まで
(ただし、令和 年 月 日(工事開始期限日)までに工事を開始すること。)
契約締結後において、工事開始日の変更の必要が生じた場合は、監督職員と協議の上、工期に係る契約を変更することにより、工事開始日の変更をすることができ。
なお、低入札価格調査等により、上記の工事開始期限日以降に契約締結となった場合には、余裕期間は適用しない。

37 週休2日取組促進型工事(受注者希望方式)本工事は、受注者が工事着手前に発注者に対して週休2日に取り組みを協議した上で工事を実施する(「當該工事版」週休2日取組促進型工事実施要領)により行う。
4 週8休以上の現場場所(現場休息)を前夜に労務費を精正して予定価格を作成しており、4 週8休に満たない場合は、現場場所(現場休息)の状況に応じて請負代金額のうち労務費精正分を減額変更する。週休2日の取組を実施しない場合は、請負代金額のうち労務費精正分を減額変更する。
なお、学校の長期休暇(夏休、冬休、春休)は監督職員と協議の上、非対象期間とすることができ。
・大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿被害予防規則、その他石綿処理に関する諸法令等に基づき実施すること。
・石綿の事前調査は、建築物石綿含有建材調査者講習登録規定に規定する建築物石綿含有建材調査者等、一定の知見を有する者が実施するように努めること。なお、令和5年10月1日以降に解体・改修工事に着手する場合は、建築物石綿含有建材調査者等有資格者によるものとする。
・事前調査結果は書面でも発注者に説明すること。
・事前調査結果を作業場に備え付け、掲示すること。
・工事に係る部分の床面積の合計が80㎡以上の建築物の解体工事、請負金額100万円以上の建築物の改修工事等の事前調査を実施したときは、その結果を工事開始日までに石綿事前調査報告システムにより労働基準監督署および県(大津市内は大津市)に報告すること。

※38 石綿含有建材の事前調査

※39 官公署その他への届出工事施工にあたって、建築基準法、労働基準法、労働安全衛生規則、消防法その他関係法令を遵守し、工事に伴う協議や諸手続きは、発注者の承諾のもと受注者が責任をもって遂行を行うこと。工事完成までに必要な官庁等への届出等は、労務・費用共、受注者の負担とする。
本工事に関連して実施される国、県または関係団体の調査等に協力すること。

※40 その他

種目

適用

項目

特記事項

5 動力設備

工事範囲及び説明

高(低)圧引込み口より、受電設備(開閉器)に至るまでとする。

電 気 方 式 相 線 式 V
施 工 方 法 地 中 架空
使 用 電 線 6kV EM-CE 6kV EM-CET 600V EM-CE 600V EM-CET OE DV
負 担 金 要 不 要
そ の 他

6 拡声設備

工事範囲及び説明

高圧引込線接続より、各機器取付け及び低圧配電盤取付け完了までとする。

電 気 方 式 1次側 3相3線式6,600V、2次側 3相 3線式210V 単相 線式 V
形 配 電 盤 高圧配電盤 フレーム独立開放型 キュービクル
変 圧 器 3相 単相
母 線 KIP PDC 銅棒
付 属 品 ・ 予 備 品 電力ヒューズ(組) フック棒(大・小) 絶縁マット
B 種接地抵抗値は、関西電力と打合せた値とする。

7 電灯・動力幹線設備

工事範囲及び説明

既設電灯盤L-1から新設電灯盤L-1-Aを経てL-1-Bの取付けまでとする。

電 気 方 式 3相3線式210V 単相 3線式 105/210V
分 電 盤 電灯・動力分電盤(露出型 2面 埋込型 面)
施 工 方 法 天井内配線
使 用 電 線 EM-1E OC DV 600V EM-CE 600V EM-CET EER EEF FP-C
そ の 他

8 受変電設備

工事範囲及び説明

1次側 3相3線式6,600V、2次側 3相 3線式210V 単相 線式 V
屋 内 型 フレーム独立開放型 キュービクル
高 圧 配 電 盤 高 圧 配 電 盤 低 圧 配 電 盤
3 相 単 相
KIP PDC 銅棒
電力ヒューズ(組) フック棒(大・小) 絶縁マット
B 種接地抵抗値は、関西電力と打合せた値とする。

9 電灯・動力幹線設備

工事範囲及び説明

既設電灯盤L-1から新設電灯盤L-1-Aを経てL-1-Bの取付けまでとする。

電 気 方 式 3相3線式210V 単相 3線式 105/210V
分 電 盤 電灯・動力分電盤(露出型 2面 埋込型 面)
施 工 方 法 天井内配線
使 用 電 線 EM-1E OC DV 600V EM-CE 600V EM-CET EER EEF FP-C
そ の 他

10 電灯・動力幹線設備

工事範囲及び説明

既存照明器具をLED器具に更新。

施 工 方 法 CPE管、PF管、天井内配線
使 用 電 線 EM-1E 600V EM-CE 600V EM-CET EEF FP-C
照 明 器 具 資材による
配 線 器 具 凡例による
照 度 測 定 の 他

5 動力設備

工事範囲及び説明

動力盤より機器までの配管配線とする
漏電遮断器回路は、他の接地線に接続せず単独接地とする。
3相3線式210V 3相 線式 V

EM-1E HIV OW DV 600V EM-CE 600V EM-CET EER FP-C

6 拡声設備

工事範囲及び説明

既設機器の更新を行う。

施 工 方 法 電 気 方 式
使 用 電 線 電 気 方 式
機 器 仕 様 EM-1E HIV HP MVVS EM-AE (EM-HP)
そ の 他 資 材 参 照

7 電話設備

工事範囲及び説明

保安器取り付け及び引込み口よりこれに至る配管、保安器および交換機、端子盤を経て各電話機に至る配管、配線、機器取付け、調整までとする。

施 工 方 法 電 子 ボ タ ン 式 電 子 交 換 式
方 式 使 用 電 線

8 電気時計表示設備

工事範囲及び説明

既設時計の移設に伴う配管、配線、機器取付け、調整までとする。

施 工 方 法 EM-AE 芯ビニルコード
使 用 電 線 既 設 品
機 器 仕 様

9 通信信号設備

工事範囲及び説明

継ぎ増修増につき入退室管理システムの配管配線を行う。

施 工 方 法 CP管、ラック、天井内配線
使 用 電 線 EM-CPEES(市内対ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケール) CPV(制御用EPゴム絶縁ビニルシースケール) (EM-AE) EM-UTP
機 器 仕 様 資 材 参 照

10 テレビ共視聴設備

工事範囲及び説明

アンテナより末端整合器までの配管、配線、器具取付け、調整までとする。

施 工 方 法 施 工 方 法
使 用 電 線 EM-S-5GFB EM-S-7GFB
機 器 仕 様 地上デジタル波対応機器とする。
電 界 強 度 測 定 施工前に測定し、各局毎の電界強度測定値を提出する。
アンテナ位置は建築意匠、強度等を考え監督職員と協議する。

11 自動火災報知設備

工事範囲及び説明

既設配管配線の改修および工事場所の感知器脱着を行う。
なお、図示なくも建築構造上取付けの必要が生じたときは、監督職員の指示に従い本工事において取付ける。
感知器等を脱着した後は、動作確認を行うこと。

施 工 方 法 CPE管、ラック
使 用 電 線 EM-1E HIV HP EM-AE
機 器 仕 様 既 設 品

12 ガス漏れ警報設備

工事範囲及び説明

受信盤より末端感知器までの配管、配線、器具取付け、調整までとする。
メーカー責任施工とし、所轄消防署と協議の上、完全に施工する。なお、図示なくも建築構造上取付けの必要が生じたときは、監督職員の指示に従い本工事において取付ける。

施 工 方 法 施 工 方 法
使 用 電 線 EM-1E EM-AE EM-CPEE
機 器 仕 様

13 防火戸自閉設備

工事範囲及び説明

運動制御盤より末端感知器・自閉器具までの配管、配線、器具取付け、調整までとする。
なお、メーカーの責任施工とし、建築工事とよく打合せの上、施工する。

施 工 方 法 施 工 方 法
使 用 電 線 EM-1E HIV HP EM-AE EM-HP
機 器 仕 様

14 消防保護設備

工事範囲及び説明

突針取付けより接地極埋設までの配管配線接地測定を行う。
なお、メーカーの責任施工とし、建築工事とよく打合せの上、施工する。
JISA4201に準じて施工する。

施 工 方 法 突 針
試 験 用 端 子
使 用 導 線

15 自家発電設備

工事範囲及び説明

機器据付より試運転調整までとする。

施 工 方 法 施 工 方 法
定 用 電 線 容量 kVA 電 圧 V 連 続 時 間 運 転
使 用 機 器 仕 様 日本内燃発電設備協会認定合格品とする。
配 管 材 料

16 機械設備

工事範囲及び説明

警備保障会社用受信盤より各受口までの配管を行う。
警備保障会社と事前に打合せを行い、支障の無いように施工する。
なお、警備計画の変更、建築構造上の変更等により配管ルートに変更が生じた場合で軽微なものは監督職員の指示により本工事により行う。

施 工 方 法

使用機材製造者指定

本工事に使用する機器材料は、下記に指定する製造者のものを使用のこと。ただし、同等品を使用する場合には、建築課所定の様式により承諾を得て使用のこと。

適用

機材名

製造業者

電線類

JIS規格等適合品製造者

ケーブル類

JIS規格等適合品製造者

電線管類

JIS規格等適合品製造者

高圧開閉器

高圧遮断器

変圧器

コンデンサ

キュービクル

配分電盤

新岩村電機

大正電機

名神電機

配線用遮断器

東芝

パナソニック

富士電機

三菱電機

照明器具

東芝ライテック

パナソニック

三菱電機

配線器具

神保電器

東芝ライテック

パナソニック

未来工業

放送機器

パナソニック

T O A

JVCケンウッド

時計

表示器

アイホン[既設]

テレビ共聴機器

火災報知機器

ホーヤ[既設]

ガス漏れ警報器

防火戸自閉機器

自家発電機器

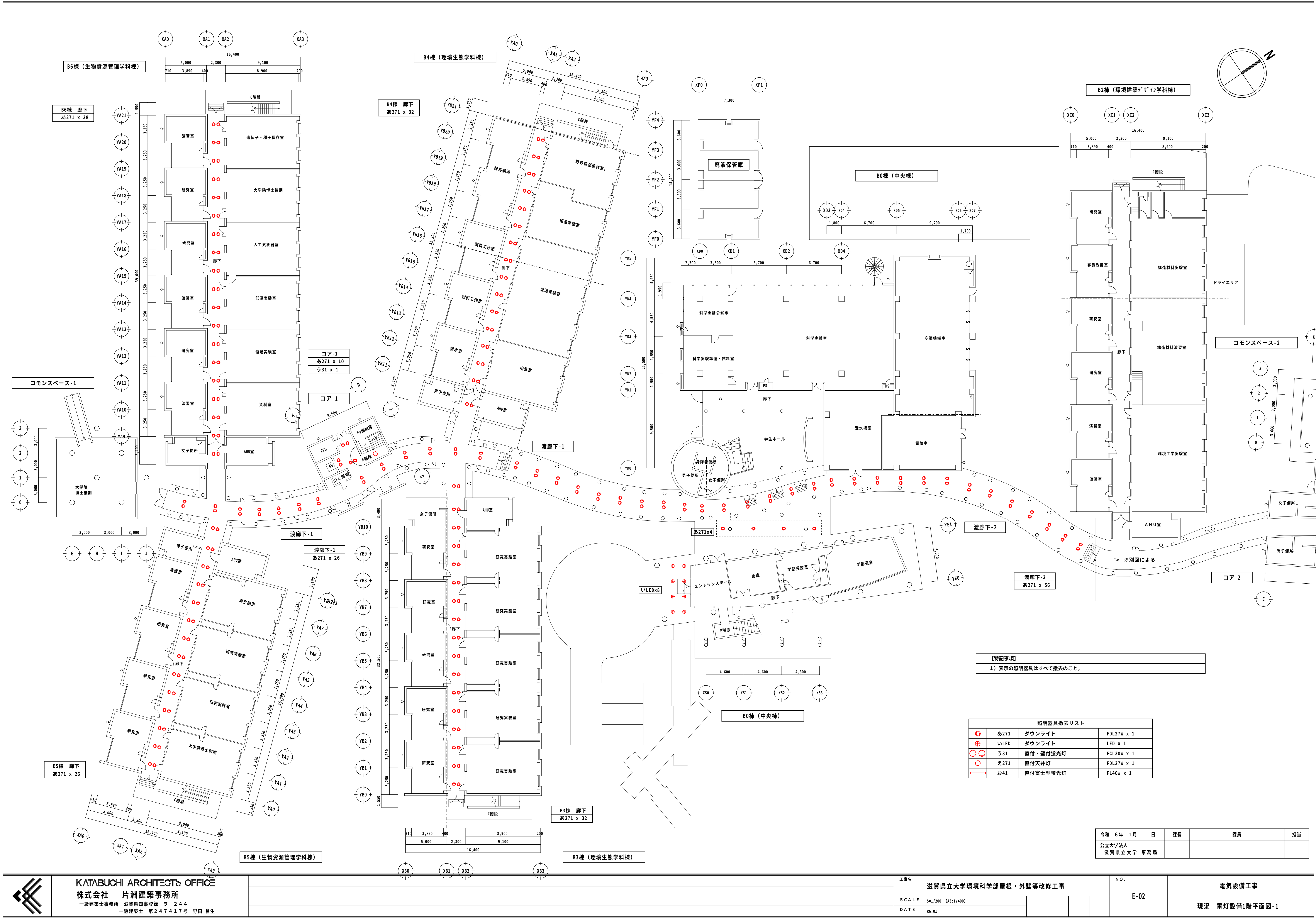
蓄電池

※工事図記号(凡例)は別図()による。

No. 1 滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事

19 枚の内 電気設備工事特記仕様書

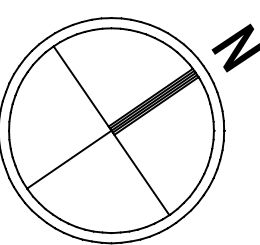
令和5年 12月



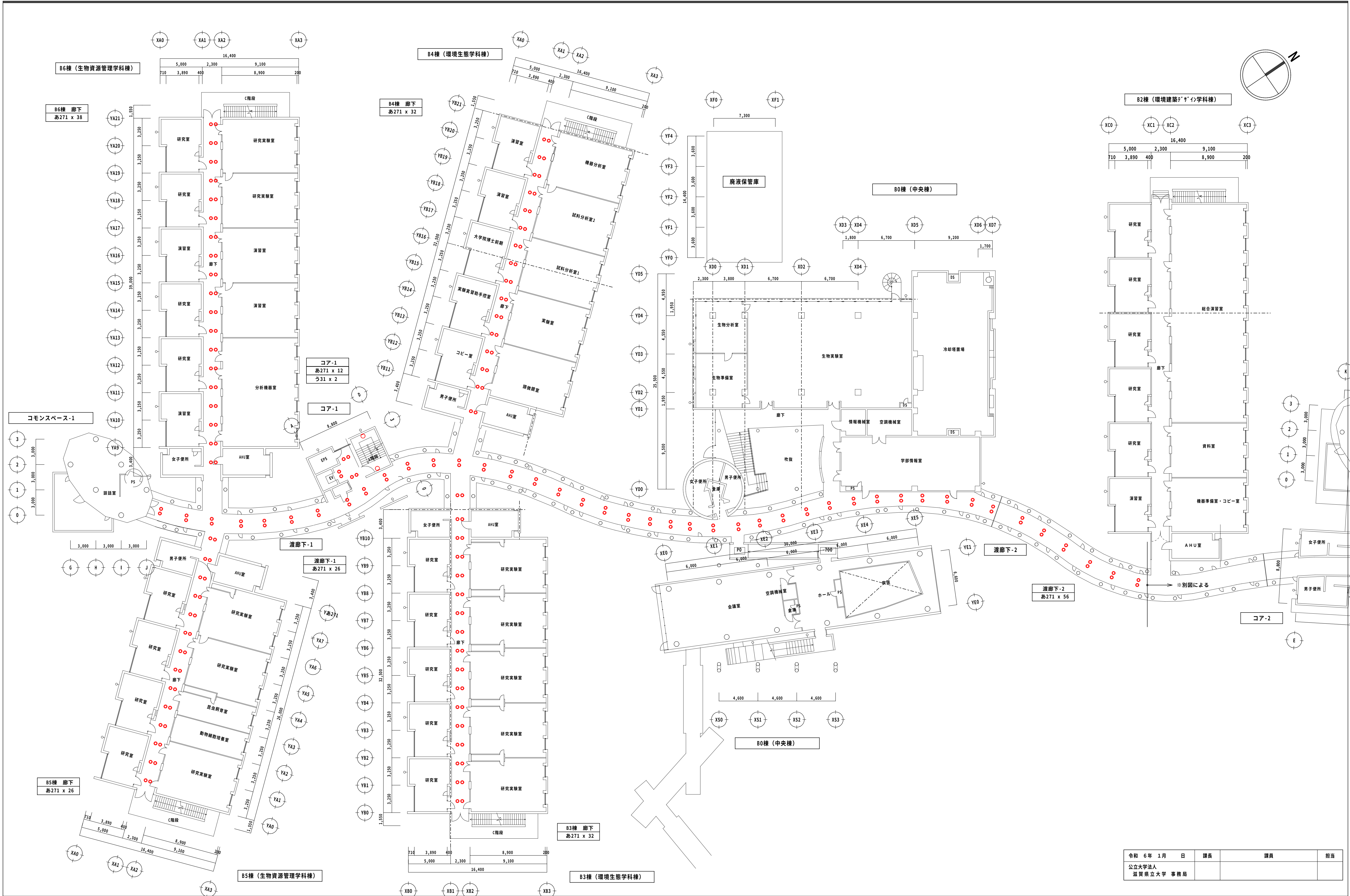
【特記事項】
1) 表示の照明器具はすべて撤去のこと。

照明器具撤去リスト			
あ271	ダウンライト	FDL27W x 1	
いLED	ダウンライト	LED x 1	
う31	直付・壁付蛍光灯	FCL30W x 1	
え271	直付天井灯	FDL27W x 1	
お41	直付富士型蛍光灯	FL40W x 1	

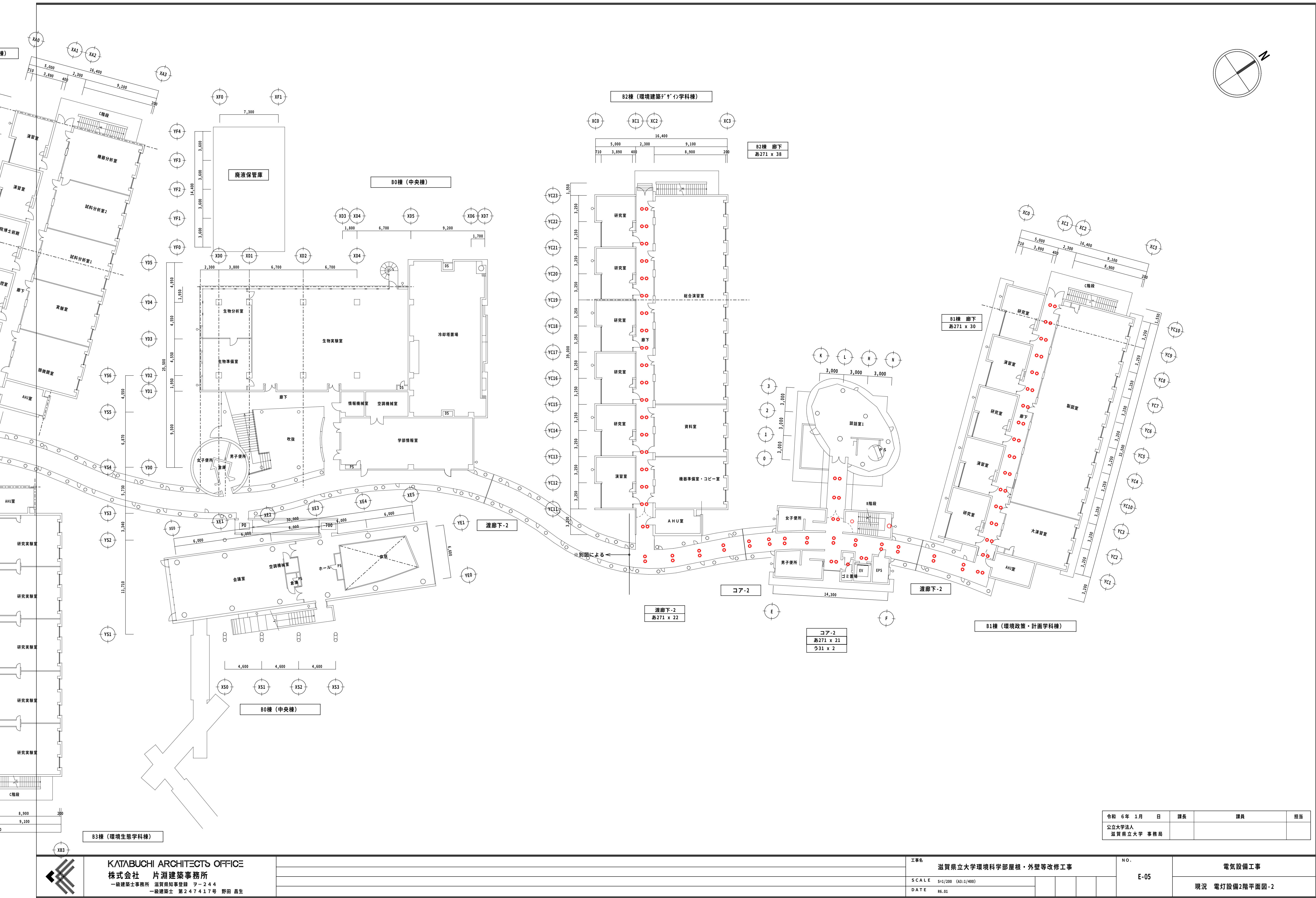
令和 6年 1月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



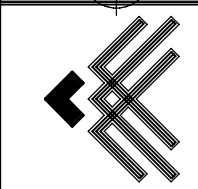
 KATABUCHI ARCHITECTS OFFICE 株式会社 片淵建築事務所 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 ラー244 一級建築士 第247417号 野田 昌生	工事名	滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事				NO. E-03	電気設備工事
	SCALE	S=1/200 (A3:1/400)					現況 電灯設備1階平面図-2
	DATE	R6.01					



令和 6年 1月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



令和 6年 1月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



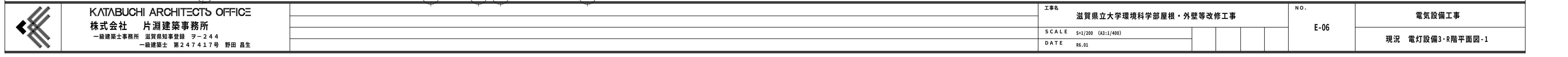
KATABUCHI ARCHITECTS OFFICE
株式会社 片淵建築事務所
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第244号
一級建築士 第247417号 野田 昌生

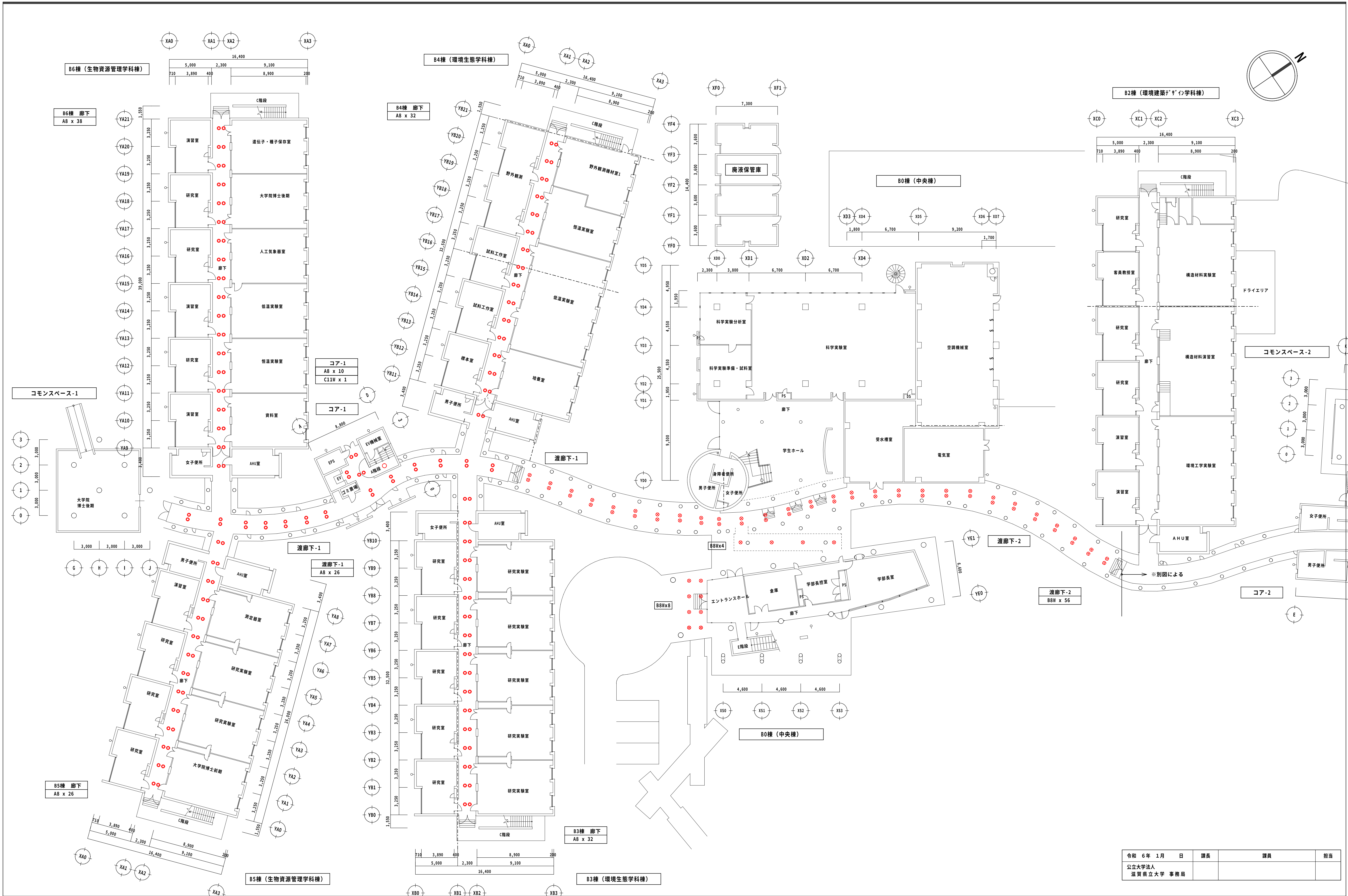
工事名 滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事
SCALE S=1/200 (A3:1/400)
DATE R6.01

NO.
E-05

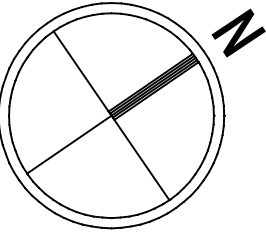
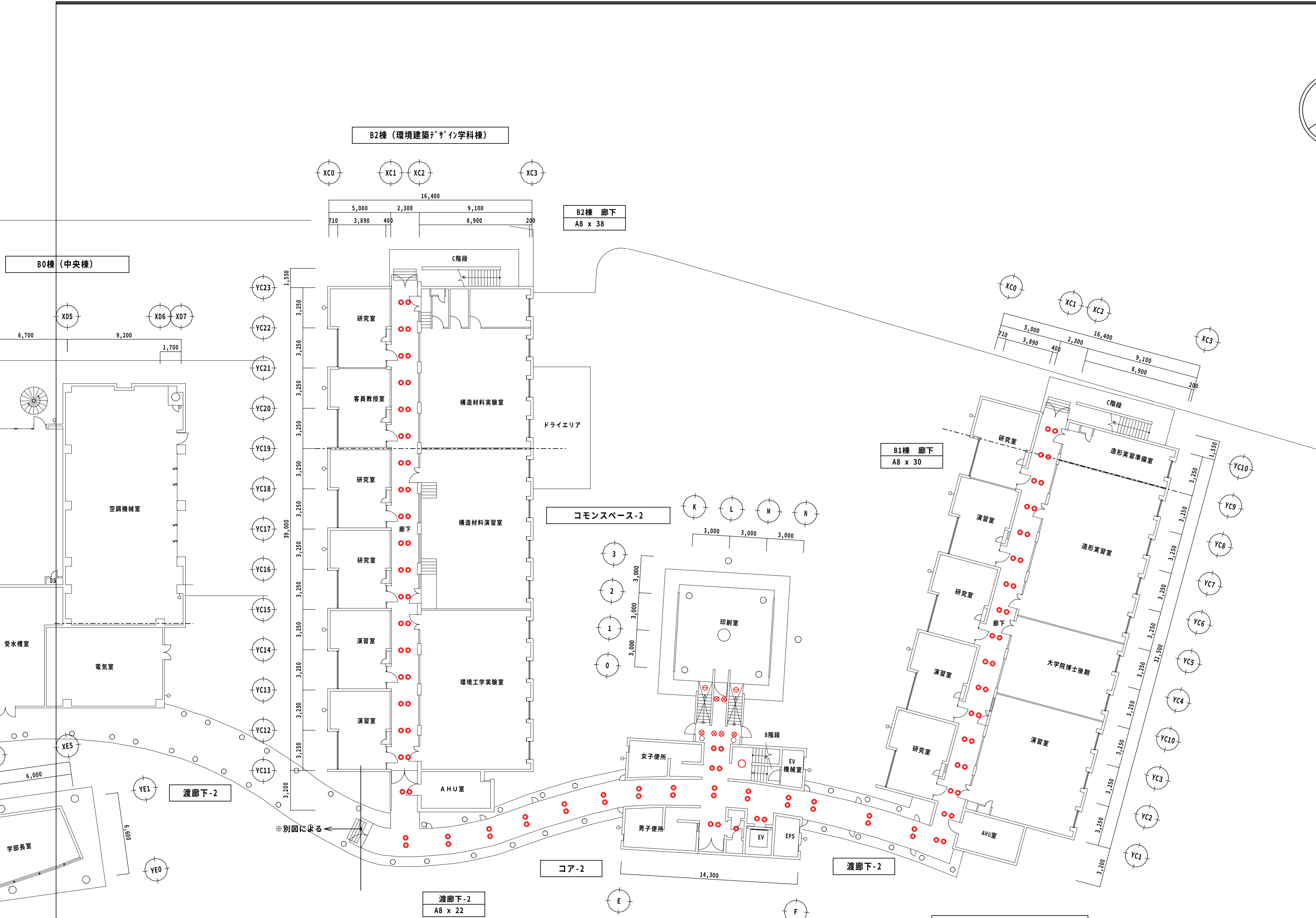
電気設備工事

現況 電灯設備2階平面図-2



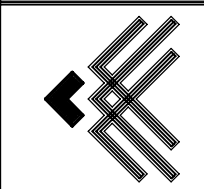


令和 6年 1月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



A 8	マルミナLEDダウンライト100形	B 8 W	軒下用ダウンライト 100形
LED内蔵<ランコア (DとE) タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 光源寿命：40000時間 (光束維持率85%) 3000K、Ra85、面発光タイプ (やわらかな光) 照射光束：7051mm、消費電力：7.6W、電圧：100～242V 材質：アルミダイカスト (ホワイトつや消し仕上) カバー：アクリル (乳白つや消し仕上) 埋込穴：φ150		LED内蔵<ランコア (DとE) タイプ>、電源ユニット内蔵、軒下用 (防雨型) 3000K、Ra85、面発光タイプ、一般光色タイプ、光源光束角15度 照射光束：9201mm、消費電力：7W、電圧：100～242V 光源寿命：40000時間 (光束維持率85%) 材質：アルミダイカスト (ホワイトつや消し仕上) 反射板 (上部)：プラスチック (ホワイト) カバー：アクリル (透明)、埋込穴：φ150	
参考品番： ダウンライトXND1061PLE9		参考品番： ダウンライトXNW1063WLE9	
C 1 1 W	LEDシーリングライト 30形丸形蛍光灯1灯器具相当	D 1 0 W	LEDダウンシーリング 100形電球1灯器具相当
演色性 (3500K)、Ra83 照射光束9651mm、消費電力10.7W、電圧100V 防湿型・防雨型、低電圧タイプ、ネジ込み方式 プラスチック (ホワイト) カバー：アクリル (乳白)		電球色 (2700K)、Ra83 照射光束6281mm、消費電力9.3W、電圧100V 低電圧タイプ、防雨型、天井埋付型 本体：アルミダイカスト (ブラチマメタリック)	
参考品番： LGW51705WCF1		参考品番： LGW51693LE1	
E 2 1 W	直付形40形 防湿型・防雨型 W150		
一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力20.6W、定格出力電圧、電圧100～242V 本体：ステンレス (高反射白色粉体塗装) 防湿型・防雨型タイプバー：ポリカーボネート (乳白) + アクリルコーティング 光源寿命40000時間 (光束維持率85%) IP23防湿型、昼白色 (5000K)、Ra83 電源スイッチはライトバー側に内蔵		LSS9MP/RP-4-30LN	

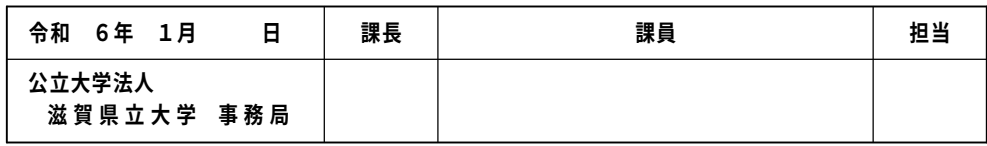
令和 6年 1月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			

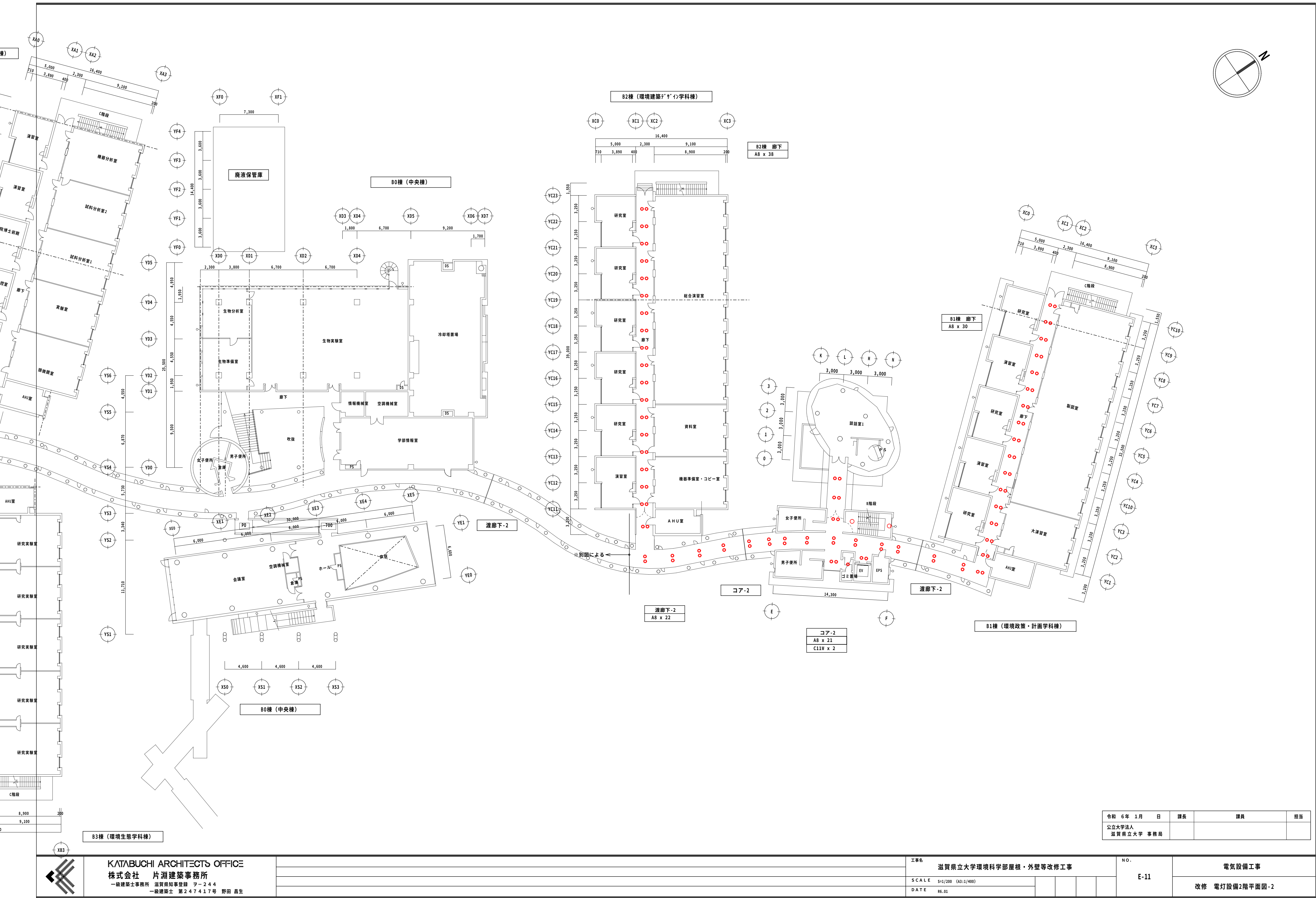


KATABUCHI ARCHITECTS OFFICE
株式会社 片淵建築事務所
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第244号
一級建築士 第247417号 野田 昌生

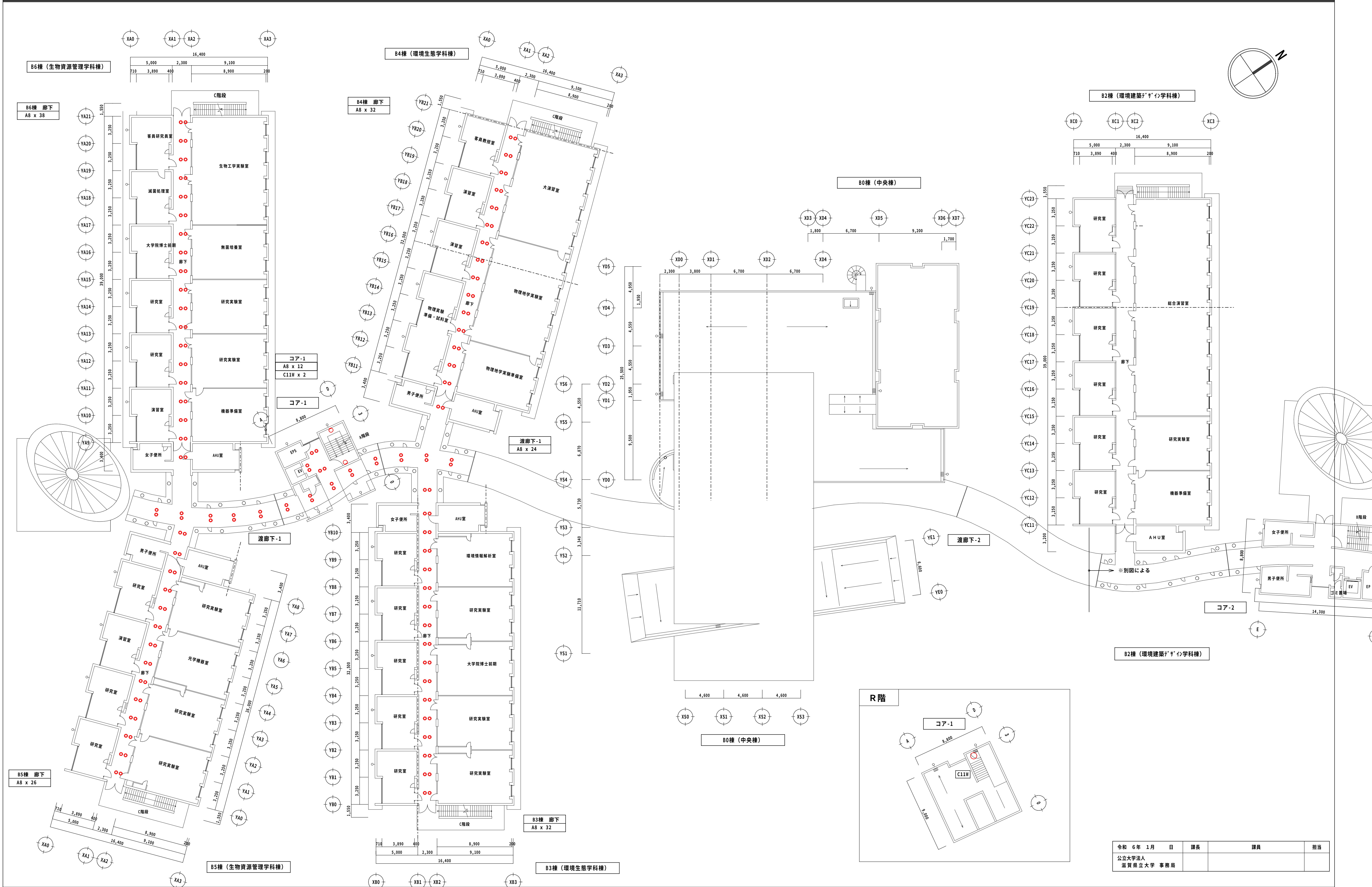
工事名 滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事
SCALE S1/200 (A3:1/400)
DATE R6.01

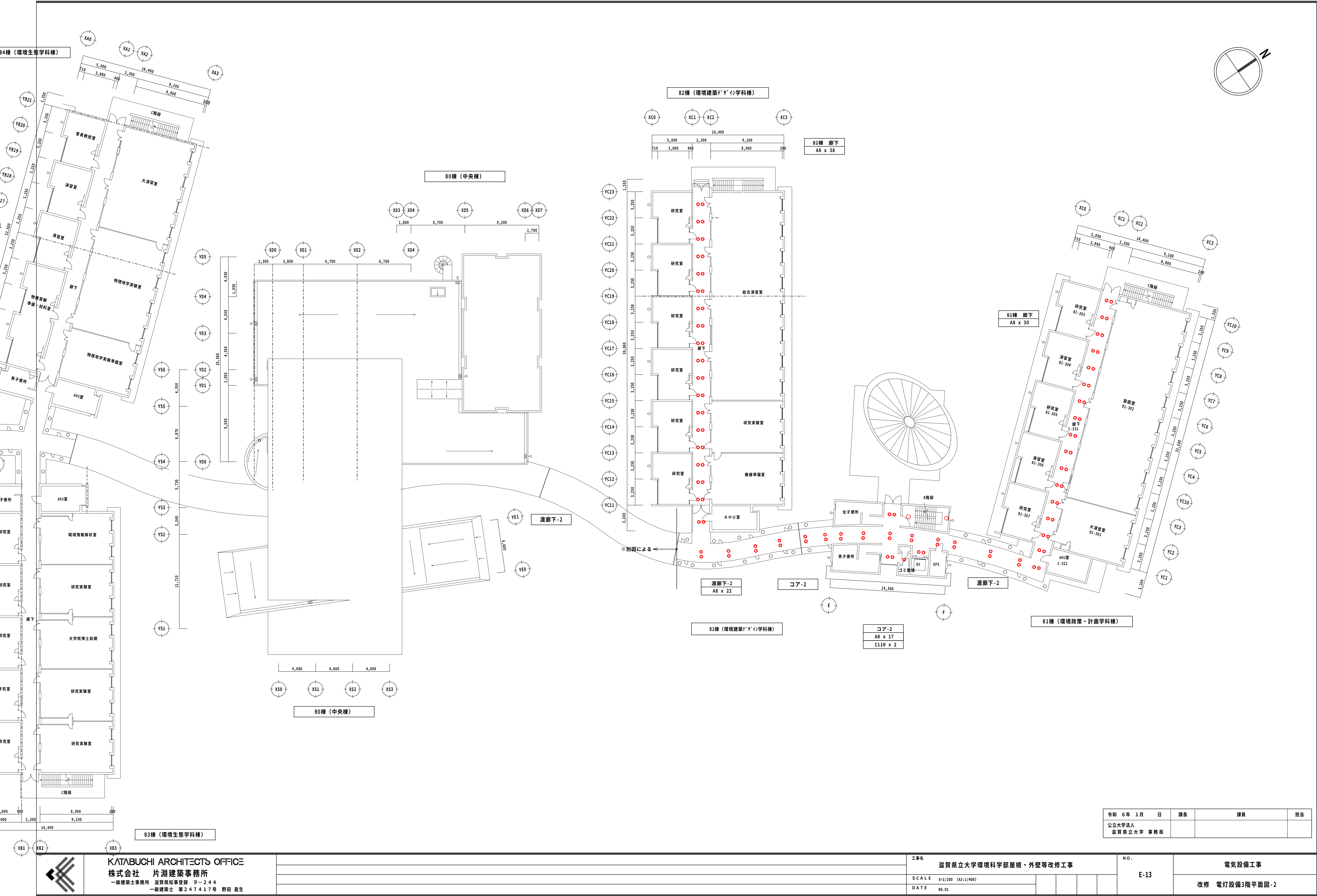
NO. E-09
電気設備工事
改修 電灯設備1階平面図-2
照明器具配置図



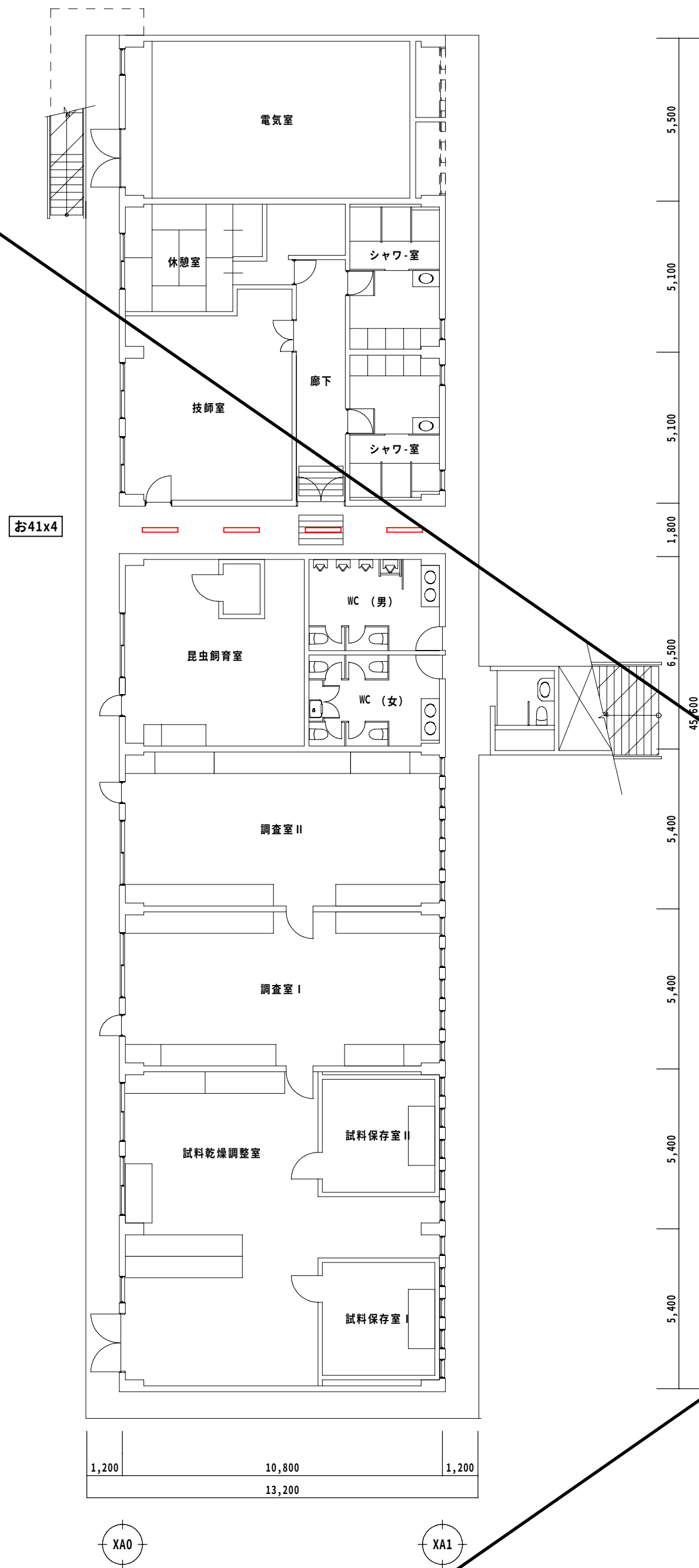


 KATABUCHI ARCHITECTS OFFICE 株式会社 片淵建築事務所 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 ラー244 一級建築士 第247417号 野田 昌生	工事名	滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事				NO. E-11	電気設備工事
	SCALE	S=1/200 (A3:1/400)					改修 電灯設備2階平面図-2
	DATE	R6.01					

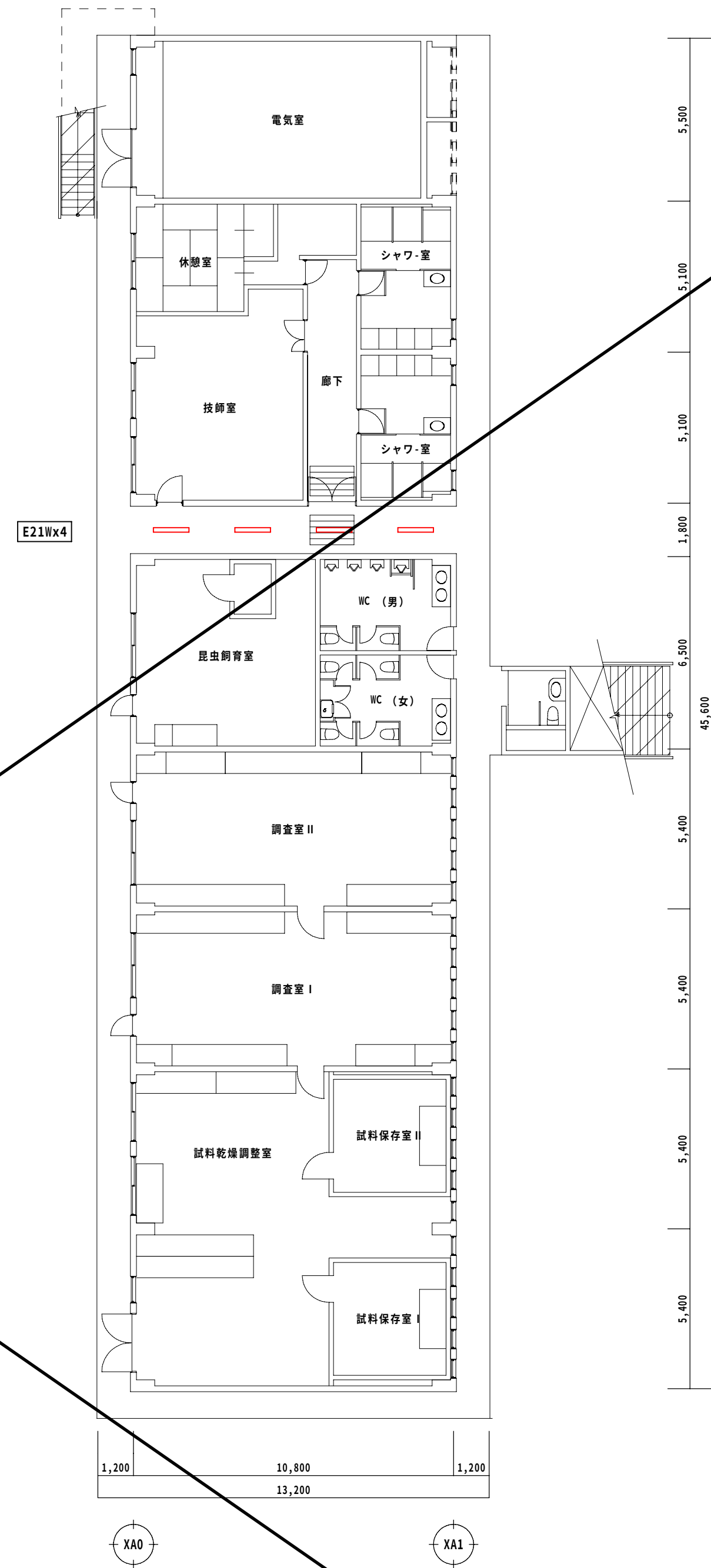




令和 6年 1月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



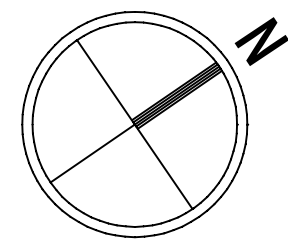
現況 圃場実験施設棟 (1F)



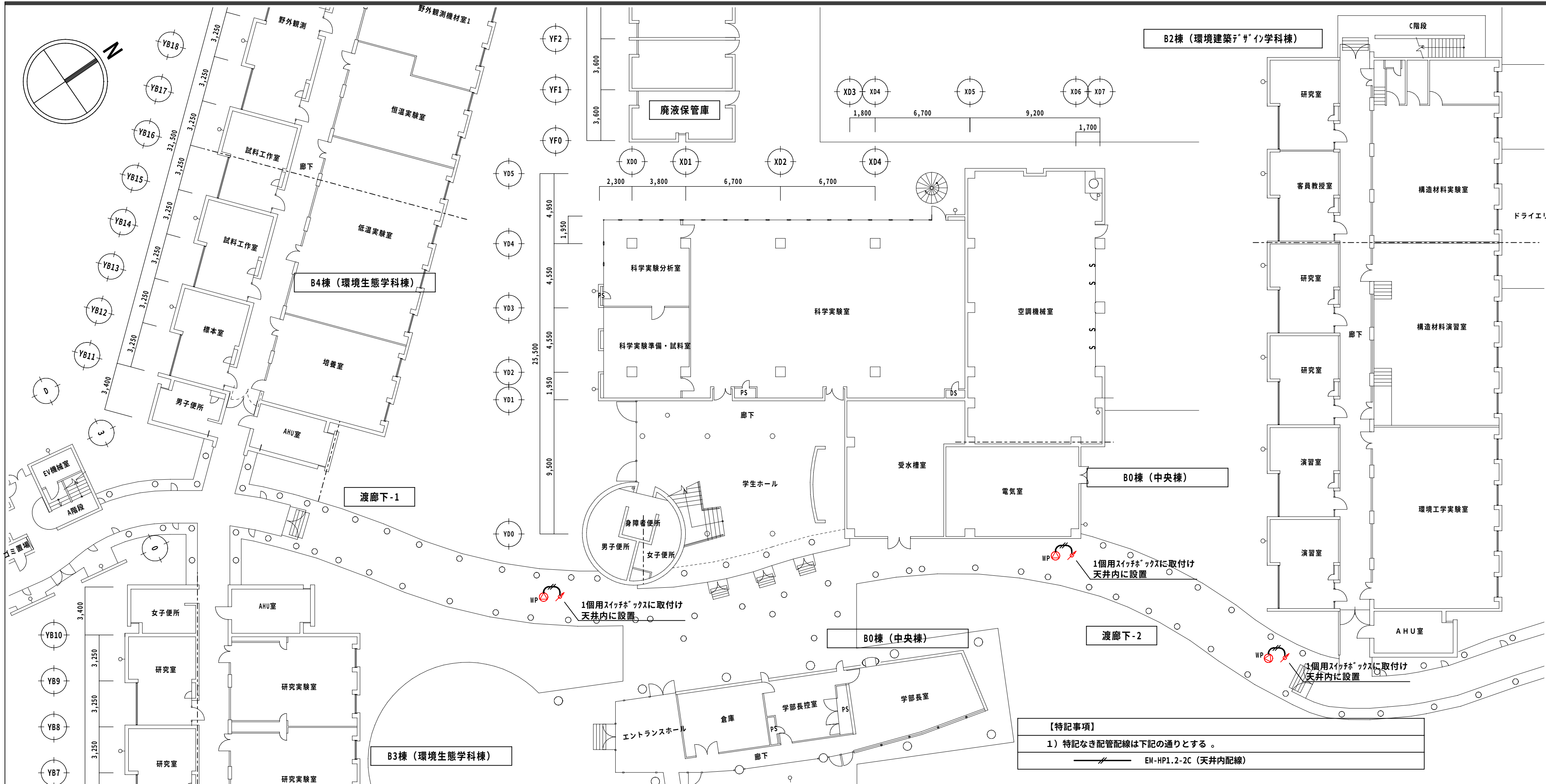
改修 圃場実験施設棟 (1F)

【特記事項】
1) 表示照明器具はすべて撤去のこと。

照明器具撤去リスト			
○	あ271	ダウンライト	FDL27W x 1
⊕	いLED	ダウンライト	LED x 1
○	う31	直付・壁付蛍光灯	FCL30W x 1
⊖	え271	直付天井灯	FDL27W x 1
—	お41	直付富士型蛍光灯	FL40W x 1



令和 6 年 1 月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



改修 1階平面図

WP

天井埋込型スピーカー（防滴型）

3 W時・L純
消防法規定の測定で
92 d B (A) 以上
(1 W時：M級)

120

Φ180

定 格 入 力

3W (3.3 kΩ), 1W (10 kΩ)

出力音圧レベル

88 dB (1W, 1m)

周 波 数 特 性

180 Hz ~ 20 kHz

ス ピ ー カ ー

8 cm防滴コーン型

仕 上

枠・ボディ：樹脂 オフホワイト
パンチングネット：ステンレス

そ の 他

防水性能：IPX4

アッテネーター

120

70

18.4

34

入 力 容 量

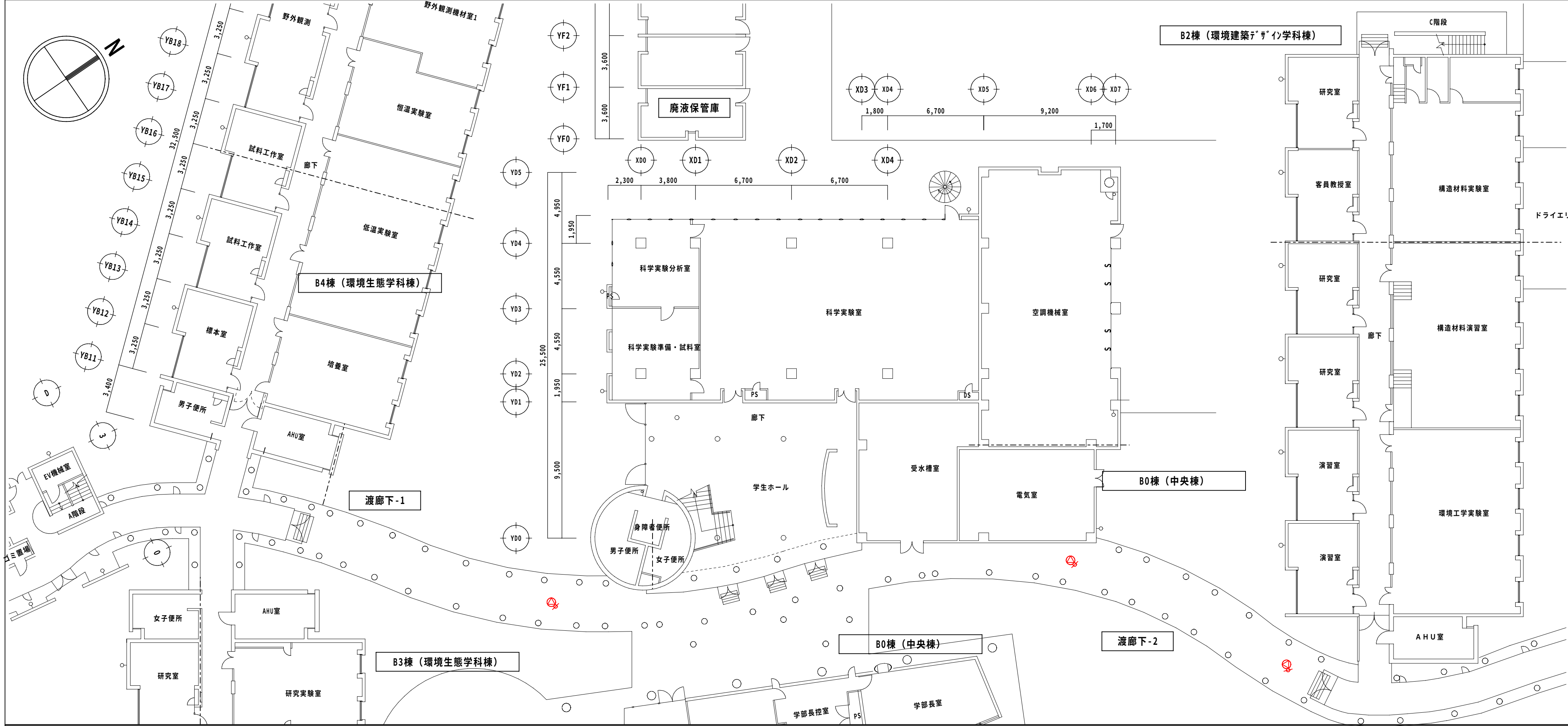
0.5 ~ 6 W

音 量 切 換

5段階切換

仕 上

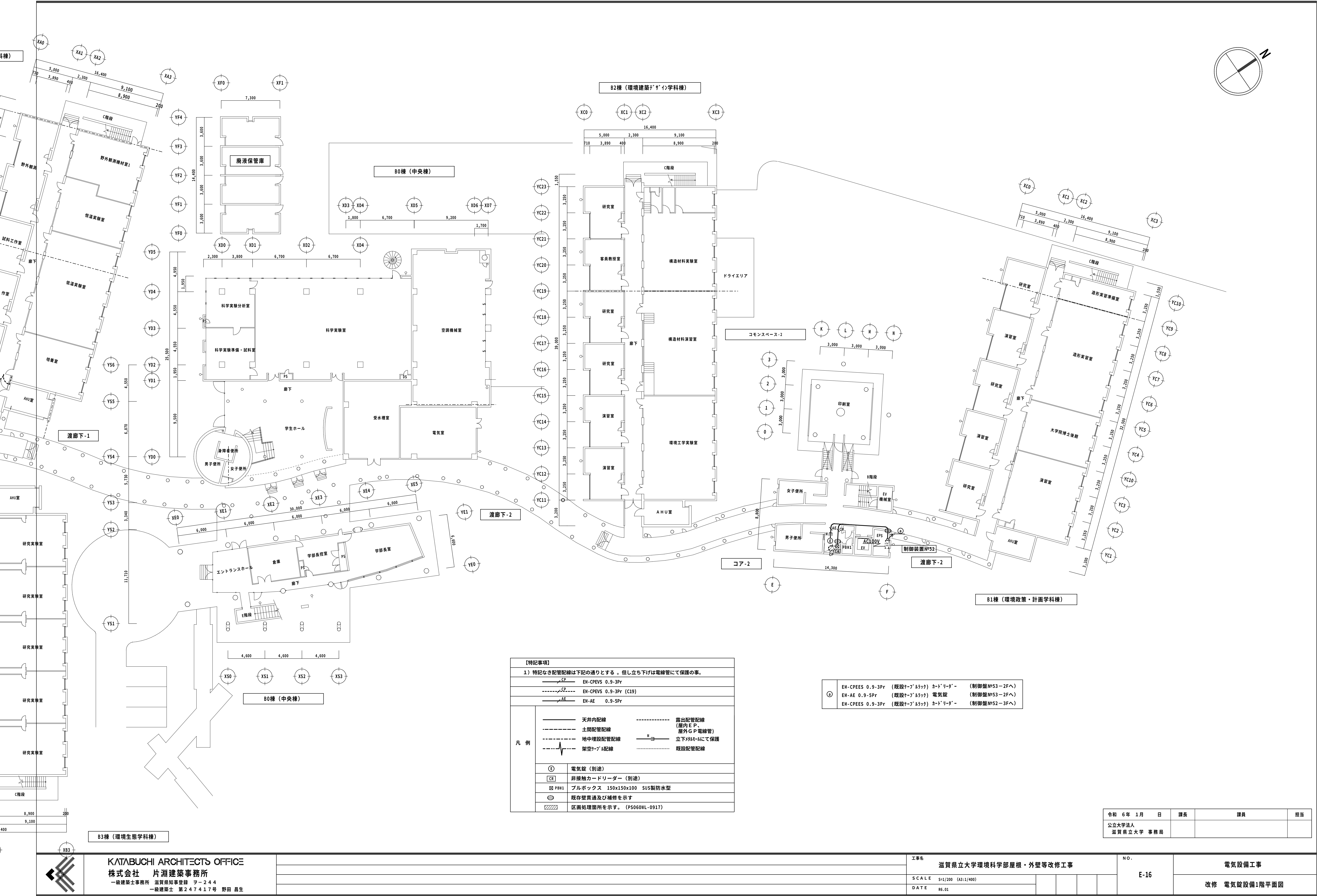
プレート：アルミ



現況 1階平面図

【特記事項】
1) 表示のスピーカーはすべて撤去のこと。

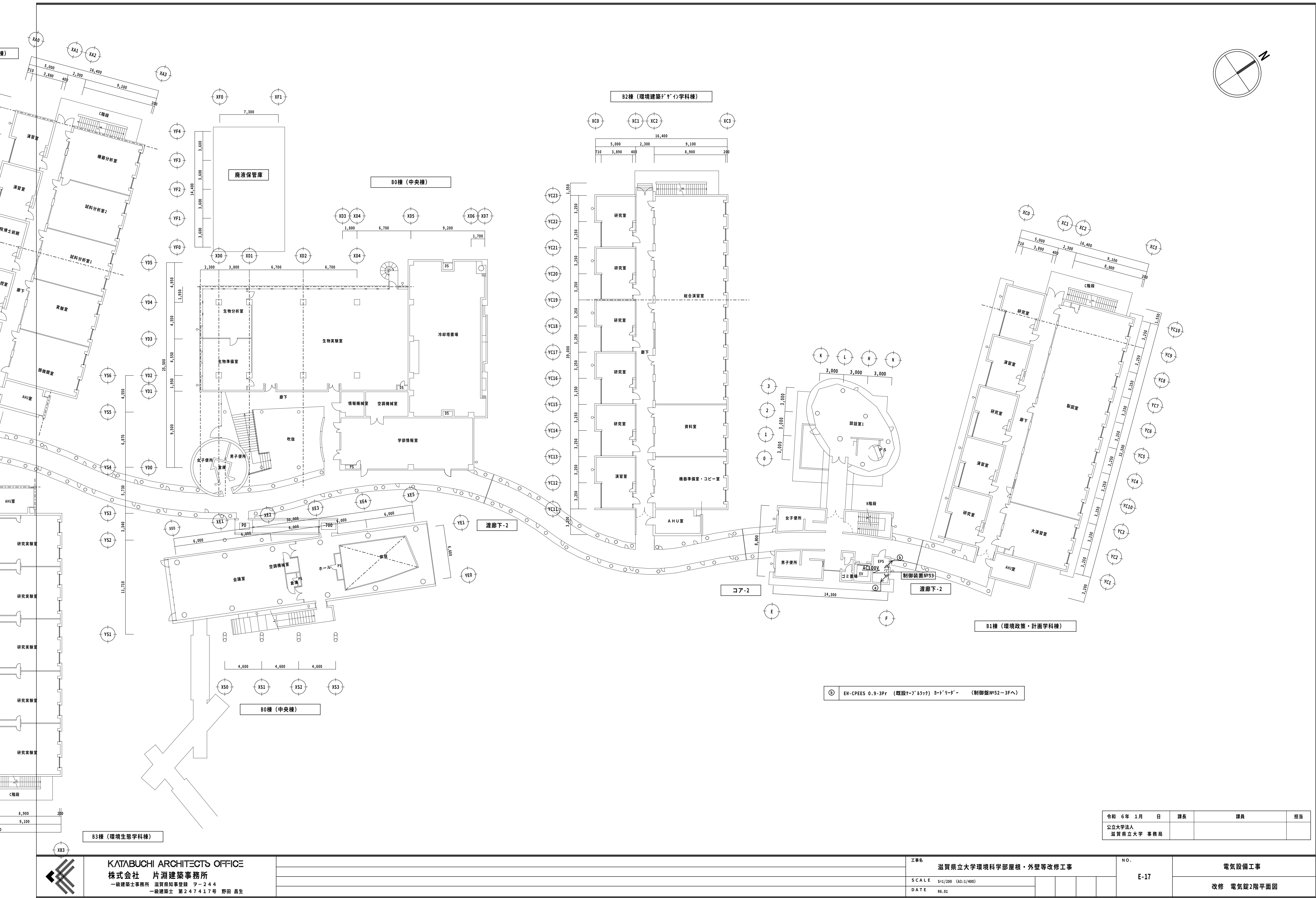
令和 6年 1月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



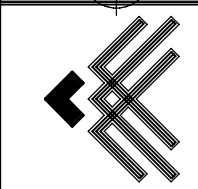
【特記事項】	
1) 特記なき配管配線は下記の通りとする。但し立ち下げは電線管にて保護の事。	
	EN-CPEVS 0.9-3Pr
	EN-CPEVS 0.9-3Pr (C19)
	EN-AE 0.9-5Pr
凡 例	
	天井内配線
	土間配管配線
	地中埋設配管配線
	架空ケーブル配線
	露出配管配線 (屋内E P、 屋外G P電線管)
	立下りケーブルにて保護
	既設配管配線
⑤	電気錠 (別途)
CB	非接触カードリーダー (別途)
PBW1	プルボックス 150x150x100 SUS製防水型
⊗	既存壁貫通及び補修を示す
////	区画処理箇所を示す。(PS060WL-0917)

⑤	EN-CPEES 0.9-3Pr (既設ケーブルラック) カットリターゲ	(制御盤№53-2Fへ)
	EN-AE 0.9-5Pr (既設ケーブルラック) 電気錠	(制御盤№53-2Fへ)
	EN-CPEES 0.9-3Pr (既設ケーブルラック) カットリターゲ	(制御盤№52-3Fへ)

令和 6年 1月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



令和 6年 1月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			

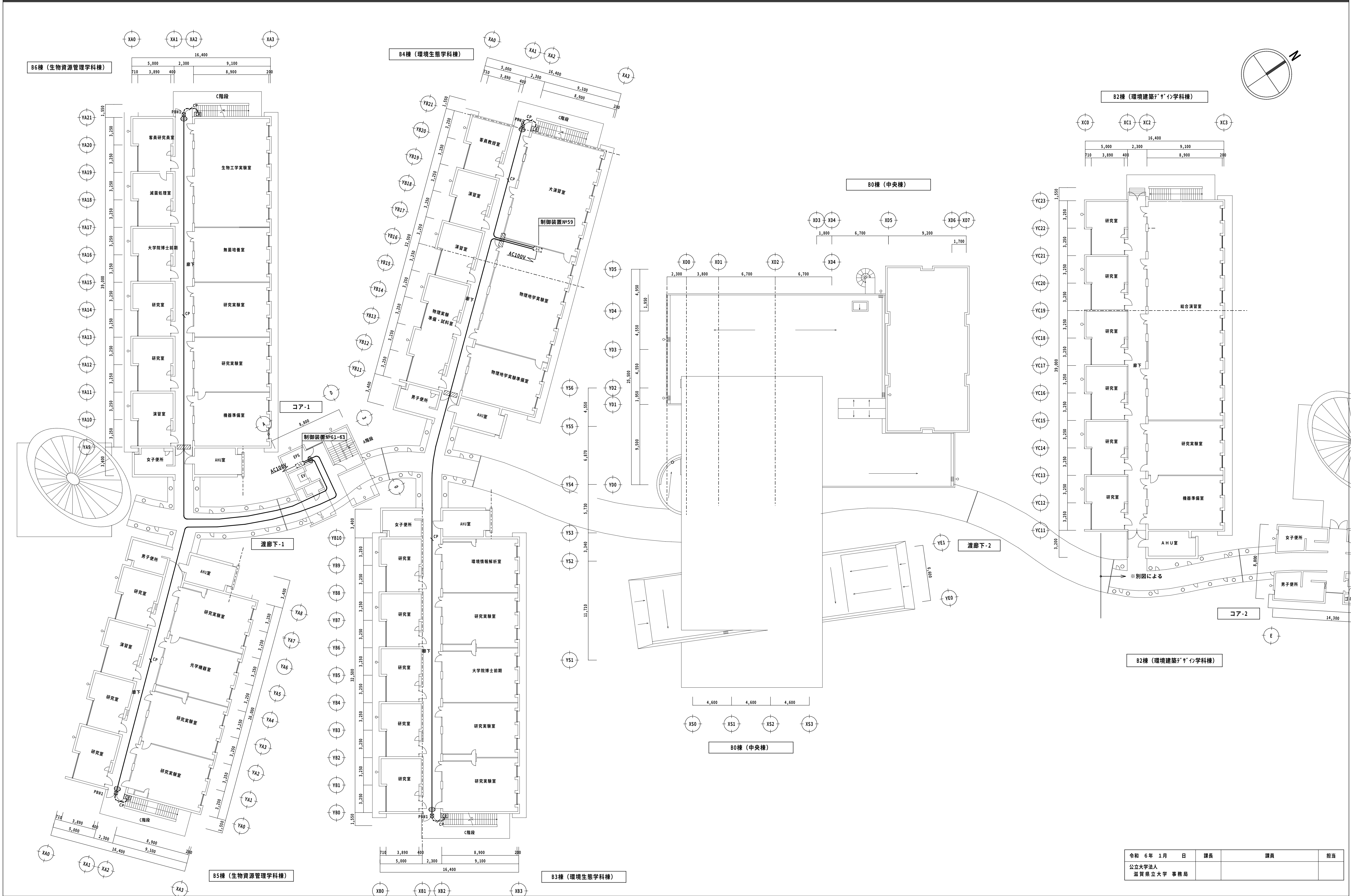


KATABUCHI ARCHITECTS OFFICE
株式会社 片淵建築事務所
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第2444号
一級建築士 第247417号 野田 昌生

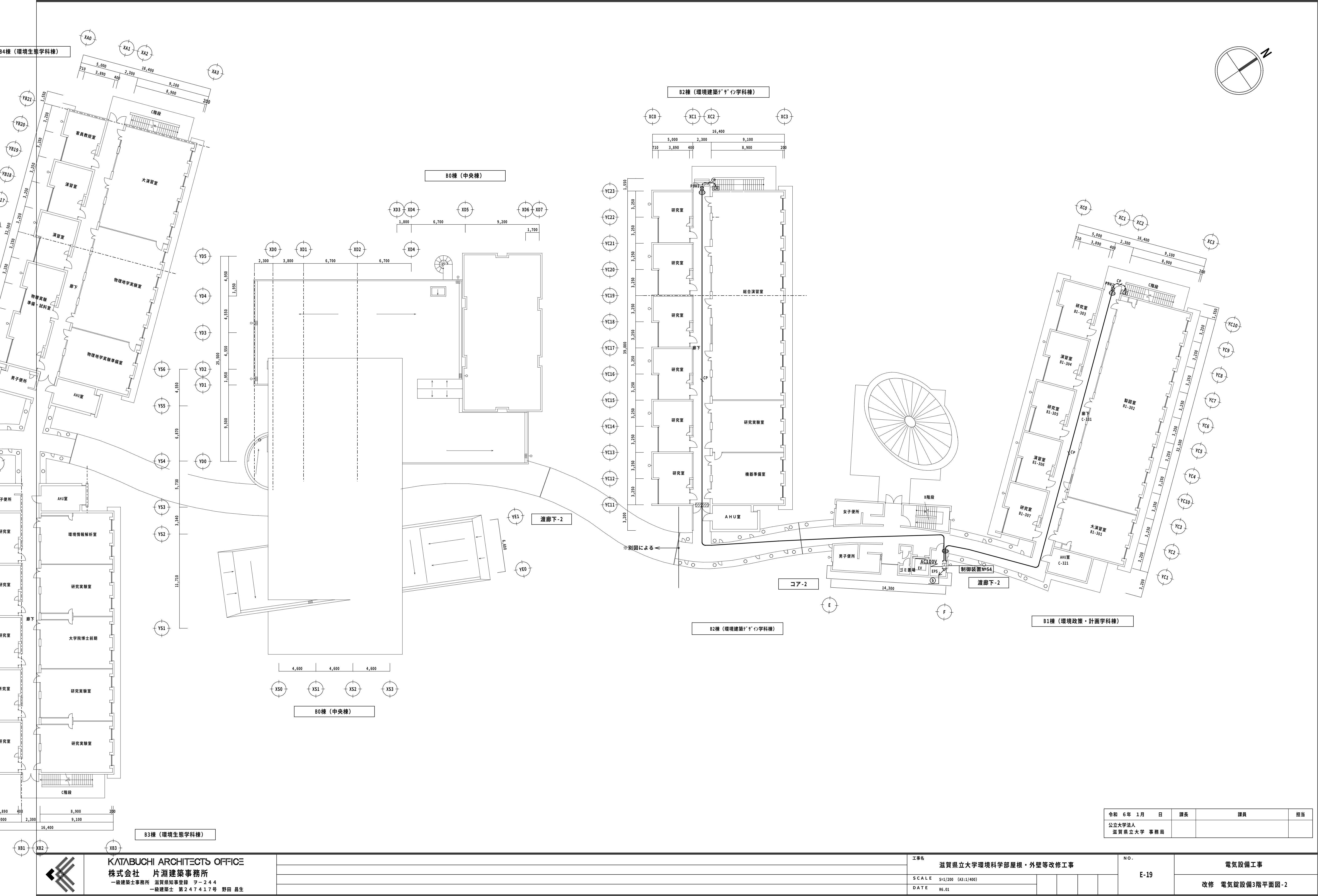
工事名 滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事
SCALE S=1/200 (A3:1/400)
DATE R6.01

NO.
E-17

電気設備工事
改修 電気錠2階平面図



令和 6 年 1 月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			



令和 6年 1月 日	課長	課員	担当
公立大学法人 滋賀県立大学 事務局			

	工事名	滋賀県立大学環境科学部屋根・外壁等改修工事
	SCALE	S1/200 (A3:1/400)
	DATE	R6.01

NO.	E-19
電気設備工事	改修 電気設備3階平面図-2